

鴨川市人口ビジョン
アンケート調査報告書

鴨川市

平成27年10月

鴨川市人口ビジョン アンケート調査報告書

目次

I 前提事項	1
1. 統計調査の整理.....	1
1) 鴨川市の性別人口.....	1
2) 5歳階級別人口の割合.....	1
3) 婚姻率.....	1
2. 結婚と出産に関する全国調査の概要.....	2
1) 結婚と出産に関する全国調査（18～50歳の独身者）.....	2
2) 結婚と出産に関する全国調査（妻が50歳未満の夫婦）.....	2
II 結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査	3
1. 概要.....	3
1) 調査対象.....	3
2) 配布・回収.....	3
2. アンケートの構成.....	3
3. 集計結果.....	4
1) 結果の概要.....	4
2) 集計結果.....	5
III 高校生、専門学校生及び大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査	51
1. 概要.....	51
1) 調査対象.....	51
2) 配布・回収.....	51
2. アンケートの構成.....	51
3. 集計結果.....	52
1) 結果の概要.....	52
2) 集計結果.....	53
IV 市民意識調査からの希望出生率の分析	75
参考	77
1. 結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査票.....	77
2. 高校生、専門学校生及び大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査票.....	81

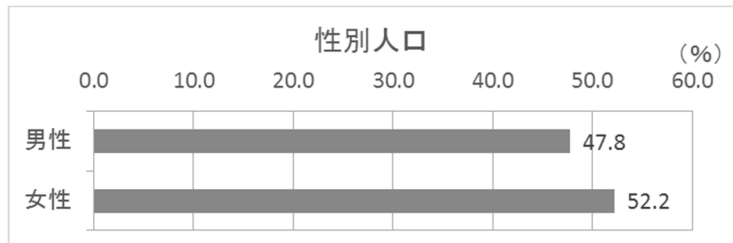
I 前提事項

1. 統計調査の整理

アンケート調査に関連する項目について、既存の統計調査結果を整理する。

1) 鴨川市の性別人口

平成 27 年 4 月 1 日現在の本市の人口は 34,729 人であり、男性が 16,594 (47.8%)、女性が 18,135 人 (52.2%) である。

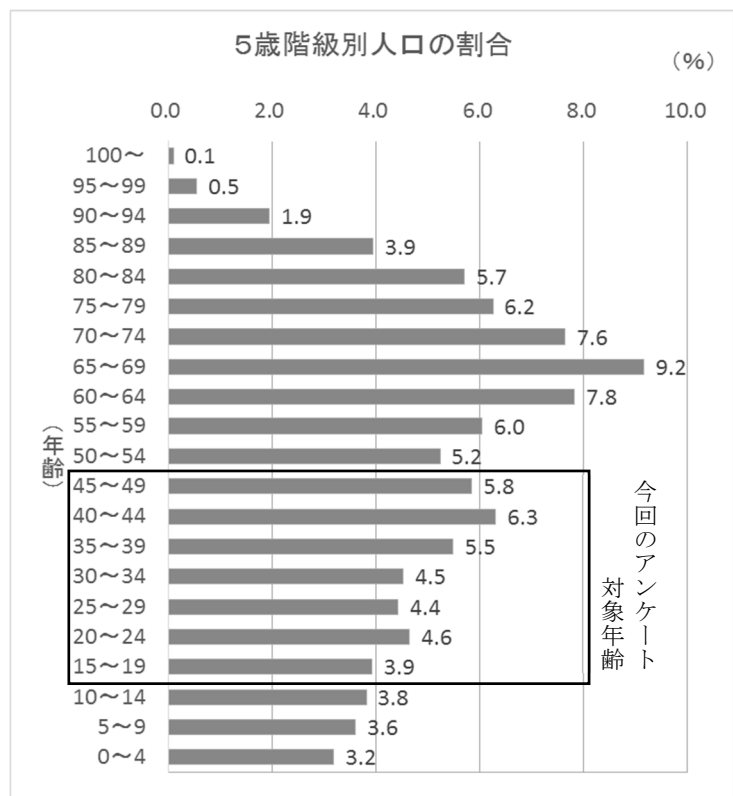


出典：平成 27 年住民基本台帳

2) 5 歳階級別人口の割合

平成 27 年 4 月 1 日現在の 5 歳階級別人口の割合をみると右図のとおりであり、65～69 歳が最も多く、年齢が下がるにつれ人口の割合も少なくなる傾向にある。

今回のアンケート対象年齢 (16～49 歳) においては、40～44 歳が最も多い。

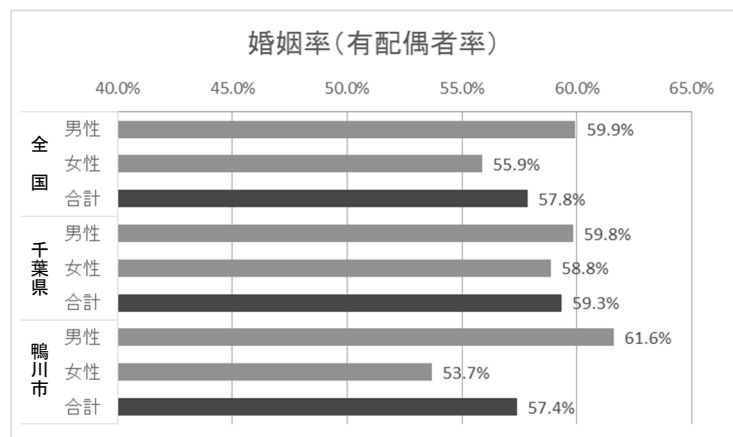


出典：平成 27 年住民基本台帳

3) 婚姻率

本市の婚姻率は、男性が 61.6%であり全国や千葉県より高く、女性が 53.7%で全国や千葉県より低くなっている。

全体としては全国平均とほぼ同程度の 57.4%である。



出典：平成 22 年国勢調査

2. 結婚と出産に関する全国調査の概要

今回実施したアンケート調査結果（結婚や出産に関する意向）と全国的な意向を比較するため、国立社会保障・人口問題研究所が2010（平成22）年6月実施した「第14回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」の結果を抜粋する。

1) 結婚と出産に関する全国調査（18～50歳の独身者14,248人を対象。有効回収率74.3%）

○結婚の意欲

- ・18～34歳の未婚者で結婚意欲のある男性は86.3%、女性は89.4%であり、過去調査でも9割前後を維持している。

○なぜ結婚しないのか

- ・18～24歳では「まだ若い」「必要性を感じない」など結婚をしない理由が多く、25～34歳では「適当な相手にめぐり会わない」「結婚資金が足りない」など結婚できない理由が多い。

○希望する結婚年齢

- ・18～34歳の未婚者の平均希望結婚年齢は男性が30.4歳、女性が28.4歳であり、過去調査からわずかに上昇の傾向にある。

○子ども数についての希望

- ・希望する子どもの数の平均値は男性が2.04人、女性が2.12人である。過去調査から男性はわずかに減少、女性はわずかに増加の傾向にある。

2) 結婚と出産に関する全国調査（妻が50歳未満の夫婦9,050人を対象。有効回収率86.7%）

○理想子ども数・予定子ども数

- ・平均理想子ども数は2.42人であり、平均予定子ども数は2.07人である。過去調査からわずかに減少の傾向にある。

○理想の子ども数を持たない理由

- ・「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」60.4%を占め最も多い。次いで「高年齢で生むのはいやだから」35.1%、「欲しいけれどもできないから」19.3%である。妻の年齢別にみると30歳未満では経済的理由が高く、30歳代以上では年齢・身体的理由が高くなっている。

○予定の子ども数を実現できない可能性、その理由

- ・実現できない可能性があるとの回答が78.4%である。その理由は「年齢や健康上の理由で子どもができない」41.6%、「収入が不安定なこと」30.5%、「自分の夫の仕事の事情」20.0%となっている。

Ⅱ 結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査

1. 概要

1) 調査対象

【調査地域】 鴨川市全域

【調査対象】 市内在住の18～49歳の男女（未婚者及び既婚者）1,000名

【抽出方法】 住民基本台帳より無作為抽出

【調査方法】 郵送による配布及び回収によるアンケート調査

【調査期間】 平成27年7月23日発送、8月4日回収期限（最終回収日9月16日まで延長）

2) 配布・回収

【配布数】 1,000

【回収数】 270

【回収率】 27.0%

2. アンケートの構成

調査項目	内容	問
基本事項	・性別、年齢、出身地、居住地区、居住形態、就業状態、職種、通勤・通学先、家族構成	問1
結婚の状況と意識	・結婚の有無	問2
	・（未婚者のみ）交際の有無	問3
	・（〃）今後の結婚意向（予定や希望年齢）	問4、5
	・（〃）結婚に対する阻害要因	問6
	・（既婚者のみ）パートナーについて	問7、8
出産・子育ての状況と意識	・出産意向、理想とする子供の数	問9
	・子供を生みたい理由、生みたくない理由	問10、11
	・現在の子供の人数、将来の子供の人数（予定）	問12、13
	・理想の子どもの数よりも将来の子供の数が少なかった理由	問14
	・鴨川市の子育て環境に対して満足している点、不満点	問15
	・子供をもつ理想の年齢よりも実際の年齢が遅かった理由	問16、17
結婚・出産・子育てへの支援、ワークライフバランス	・結婚しやすい環境づくりへの支援策	問18
	・出産しやすい環境づくりへの支援策	問19
	・子育てしやすい環境づくりへの支援策	問20
	・出産・子育てへの職場の支援	問21、22
定住意識	・鴨川市の住みよさに関するイメージ	問23
	・将来的な鴨川市での定住意向	問24
	・定住促進のための効果的な支援策	問25
その他	・自由意見	

3. 集計結果

1) 結果の概要

■結婚に関する希望

- ・未婚者のうち結婚したいと考えている人は65.2%となっており、婚期は20代後半から30代前半と考えている人が65.7%となっている。ただし、現在交際相手がいない人が72.3%を占めている。
- ・結婚しやすい環境づくりに向け、雇用環境の改善や結婚に対する社会保障等の充実、出会いの場の提供が求められている。

■出産・子育てに関する希望

- ・理想の子ども的人数は2～3人が多く、平均は2.25人となっているが、現実的には2人が多く、将来の予定人数の平均は1.94人となっている。
- ・その要因としては、経済的な問題や年齢の問題が挙げられている。
- ・本市の子育て環境については、「どちらともいえない」が58.9%と最も多いが、「不満」「とても不満」が21.2%で、「とても満足」「満足」の12.2%を上回っている。
- ・出産しやすい環境づくりに向けては、経済的支援や産休・育休制度の充実を求める声が多い。
- ・子育てしやすい環境づくりに向けては、保育所等の充実、経済的支援、育児休暇の充実を求める声が多い。

■定住に関する希望

- ・本市に住み続けたいとする定住意向は47.4%と、非定住意向の18.5%を上回っている。
- ・定住を促進する環境づくりに向けては、子どもに係る経済的支援（医療費、保育費、教育費等）の充実を望む声が多く、次いで減税や住宅にかかる費用の補助が望まれている。

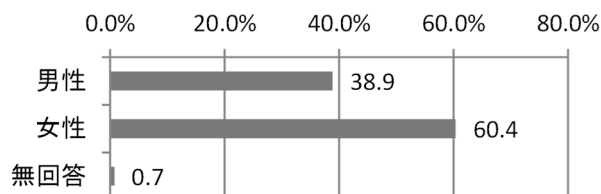
2) 集計結果

問1. あなたご自身のことについて、お答えください。

(1) 性別

・性別は、「男性」が38.9%、「女性」が60.4%となっています。

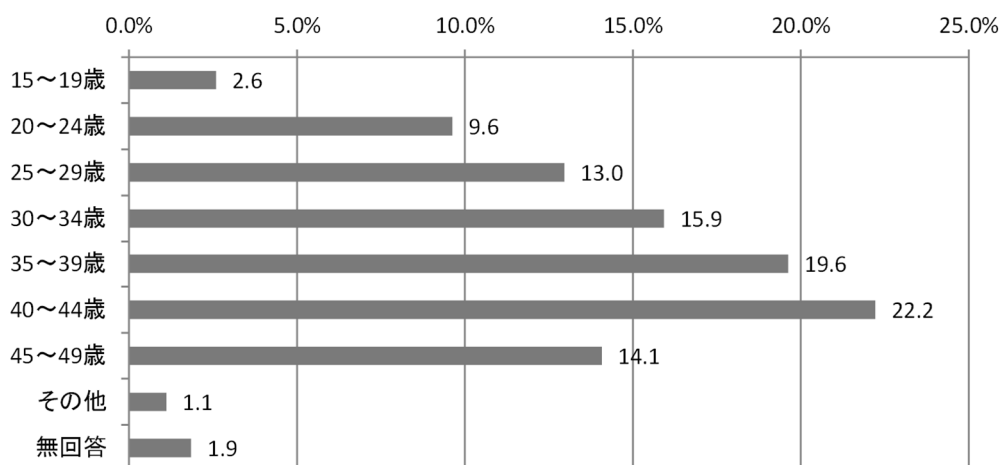
	件数	%
1 男性	105	38.9
2 女性	163	60.4
無回答	2	0.7
総数	270	100.0



(2) 年齢

・年齢は、「40～44歳」が22.2%と最も多く、次いで「35～39歳」が19.6%となっています。

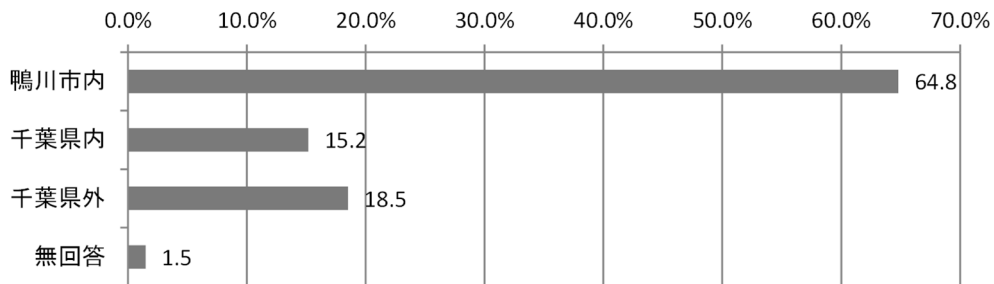
	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 15～19歳	0	7	0	7	2.6
2 20～24歳	9	17	0	26	9.6
3 25～29歳	11	24	0	35	13.0
4 30～34歳	15	28	0	43	15.9
5 35～39歳	22	31	0	53	19.6
6 40～44歳	26	34	0	60	22.2
7 45～49歳	18	20	0	38	14.1
その他	2	1	0	3	1.1
無回答	2	1	2	5	1.9
総数	105	163	2	270	100.0



(3) 出身地

・出身地は、「鴨川市内」が64.8%と最も多く、次いで「千葉県外」が18.5%となっています。

	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 鴨川市内	71	104	0	175	64.8
2 千葉県内	16	25	0	41	15.2
3 千葉県外	17	33	0	50	18.5
無回答	1	1	2	4	1.5
総数	105	163	2	270	100.0



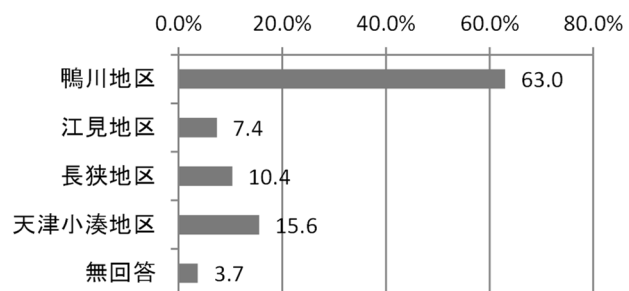
「千葉県内」「千葉県外」の内訳

千葉県内 (41)		千葉県外 (50)	
南房総市	7	東京都	11
館山市	6	愛知県	2
勝浦市	4	神奈川県	6
市原市	3	茨城県	2
君津市	2	埼玉県	3
匝瑳市	2	山口県	2
富津市	2	山形県	3
木更津市	2	鹿児島県	2
その他	13	北海道	3
		秋田県	2
		福岡県	2
		その他	12

(4) 居住地区

・居住地区は、「鴨川地区」が63.0%と最も多くなっており、次いで「天津小湊地区」が15.6%となっています。

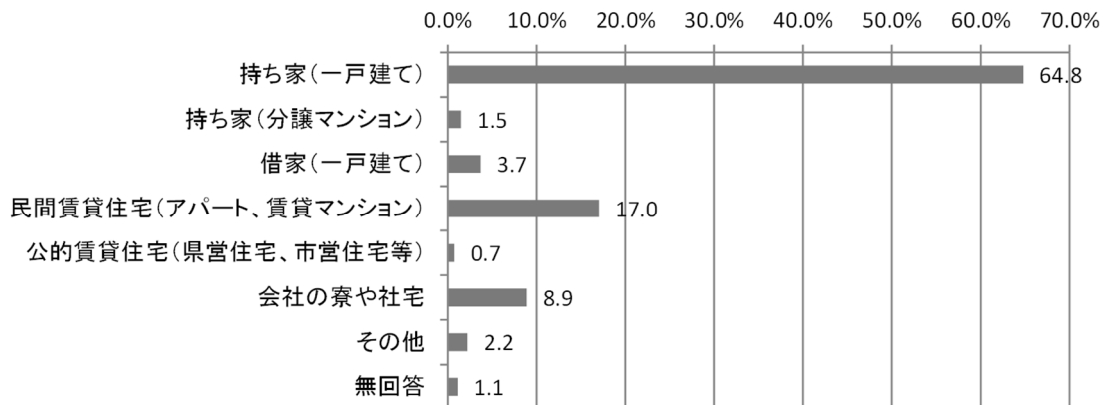
	件数	%
1 鴨川市地区	170	63.0
2 江見地区	20	7.4
3 長狭地区	28	10.4
4 天津小湊地区	42	15.6
無回答	10	3.7
総数	270	100.0



(5) 居住形態 (1つだけ)

- ・居住形態は、「持ち家 (一戸建て)」が 64.8%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅 (アパート、賃貸マンション)」17.0%となっています。

	件数	%
1 持ち家 (一戸建て)	175	64.8
2 持ち家 (分譲マンション)	4	1.5
3 借家 (一戸建て)	10	3.7
4 民間賃貸住宅 (アパート、賃貸マンション)	46	17.0
5 公的賃貸住宅 (県営住宅、市営住宅等)	2	0.7
6 会社の寮や社宅	24	8.9
7 その他	6	2.2
無回答	3	1.1
総数	270	100.0



「その他」の内容

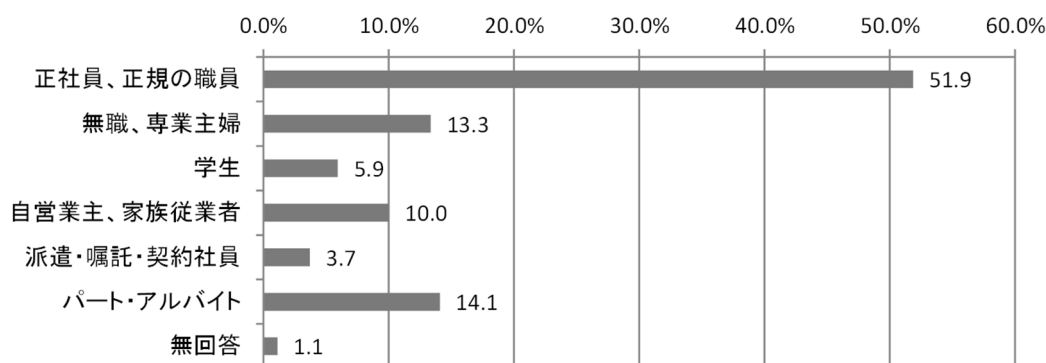
- ・親の持ち家 (5)、施設入所 (1)

(6) 就業状態 (1つだけ)

- ・就業状態は、「正社員、正規の職員」が 51.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」14.1%となっています。

	件数							総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答			
1 正社員、正規の職員	72	68	0	59	80	1	140	51.9	
2 無職、専業主婦	4	32	0	10	25	1	36	13.3	
3 学生	6	10	0	16	0	0	16	5.9	
4 自営業主、家族従業者	17	10	0	6	21	0	27	10.0	
5 派遣・嘱託・契約社員	2	8	0	5	5	0	10	3.7	
6 パート・アルバイト	4	34	0	15	23	0	38	14.1	
無回答	0	1	2	1	1	1	3	1.1	
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0	

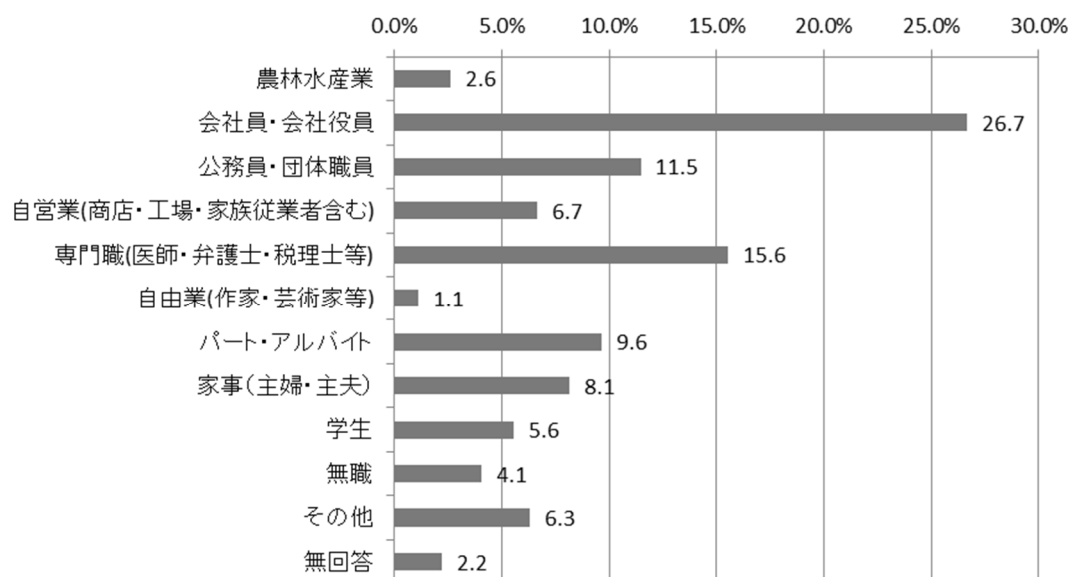
※未婚…問2で「1. 未婚」「2. 以前結婚していた」と回答した者
既婚…問2で「3. 既婚又は近々結婚の予定がある」と回答した者



(7) 職種 (1つだけ)

・職種は、「会社員・会社役員」が26.7%と最も多く、次いで「専門職(医師・弁護士・税理士等)」が15.6%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 農林水産業	5	2	0	1	6	0	7	2.6
2 会社員・会社役員	38	34	0	32	40	0	72	26.7
3 公務員・団体職員	20	11	0	5	25	1	31	11.5
4 自営業(商店・工場・家族従業者含む)	12	6	0	4	14	0	18	6.7
5 専門職(医師・弁護士・税理士等)	13	29	0	21	21	0	42	15.6
6 自由業(作家・芸術家等)	0	3	0	1	2	0	3	1.1
7 パート・アルバイト	1	25	0	12	14	0	26	9.6
8 家事(主婦・主夫)	0	22	0	1	21	0	22	8.1
9 学生	6	9	0	15	0	0	15	5.6
10 無職	3	8	0	8	3	0	11	4.1
11 その他	6	11	0	9	7	1	17	6.3
無回答	1	3	2	3	2	1	6	2.2
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0



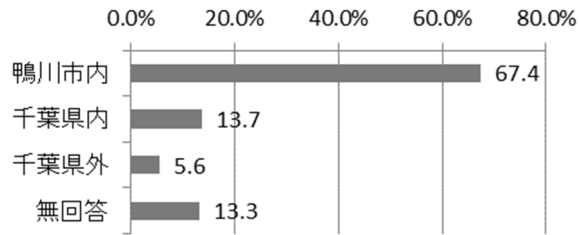
「その他」の内容

・介護職 (2)、看護補助 (1)、サービス業 (1)、作業所 (1)、心身障害者施設 (1)、セラピスト (1)、調理師 (1)、農業無職 (1)、保育士 (1)、美容業 (1)、その他 (6)

(8) 通勤・通学先

・通勤・通学先は、「鴨川市内」が67.4%と最も多く、次いで「千葉県内」が13.7%となっています。

	件数	%
1 鴨川市内	182	67.4
2 千葉県内	37	13.7
3 千葉県外	15	5.6
無回答	36	13.3
総数	270	100.0



「千葉県内」「千葉県外」の内訳

千葉県内 (37)		千葉県外 (15)	
館山市	7	東京都	8
南房総市	6	神奈川県	3
勝浦市	5	埼玉県	2
千葉市	5	その他	2
君津市	2		
富津市	2		
木更津市	2		
その他	8		

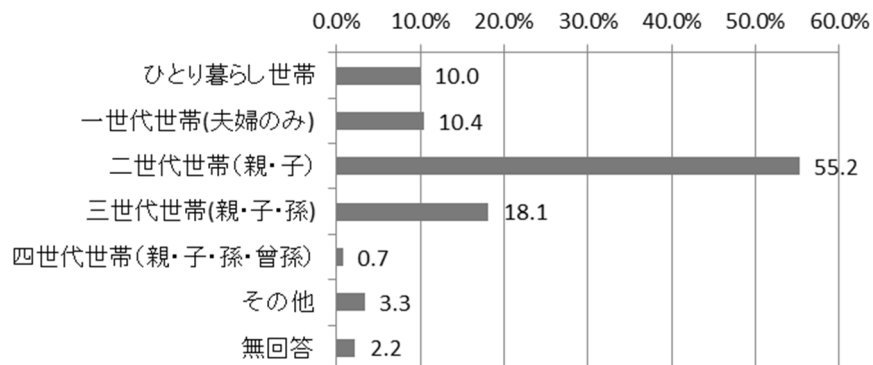
(9) 家族構成

・家族構成は、「二世世代世帯(親・子)」が55.2%と最も多く、次いで「三世世代世帯(親・子・孫)」が18.1%となっています。

	件数	%
1 ひとり暮らし世帯	27	10.0
2 一世世代世帯(夫婦のみ)	28	10.4
3 二世世代世帯(親・子)	149	55.2
4 三世世代世帯(親・子・孫)	49	18.1
5 四世代世帯(親・子・孫・曾孫)	2	0.7
6 その他	9	3.3
無回答	6	2.2
総数	270	100.0

「その他」の内容

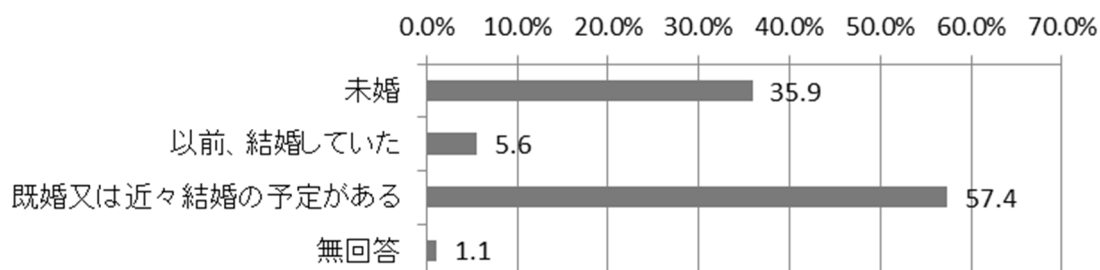
・親族以外と同居(2)、親二世代孫(1)、母子(1)、子(1)、内縁(1)、その他(3)



問2. あなたは「結婚」していますか？【1つに○】

・婚姻状況は、「既婚又は近々結婚の予定がある」が57.4%と最も多く、次いで「未婚」が35.9%となっています。

	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 未婚	36	60	1	97	35.9
2 以前、結婚していた	1	14	0	15	5.6
3 既婚又は近々結婚の予定がある	66	88	1	155	57.4
無回答	2	1	0	3	1.1
総数	105	163	2	270	100.0

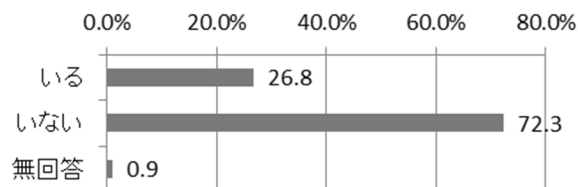


問3. 現在、交際されている方はいらっしゃいますか？【1つに○】

※問2で「1. 未婚」「2. 以前、結婚していた」と回答した方112名が対象

・交際相手は、「いない」が72.3%と多く、「いる」が26.8%となっています。

	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 いる	8	22	0	30	26.8
2 いない	29	51	1	81	72.3
無回答	0	1	0	1	0.9
総数	37	74	1	112	100.0

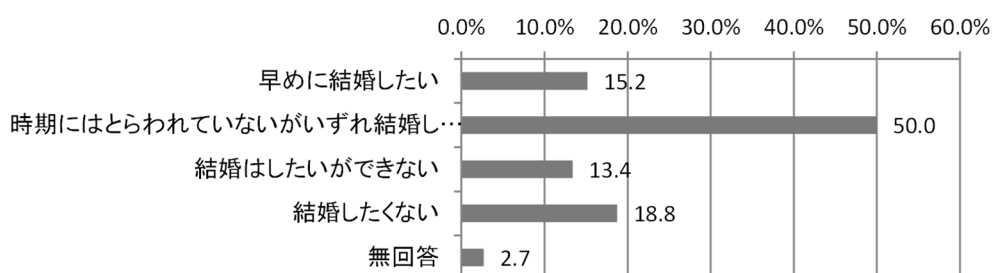


問4. 「結婚」についてのあなたのお気持ちをお聞かせください。【1つに〇】

※問2で「1. 未婚」「2. 以前、結婚していた」と回答した方112名が対象

- ・結婚願望は、「時期にはとらわれていないがいずれ結婚したい」が50.0%と最も多く、次いで「結婚したくない」が18.8%となっています。

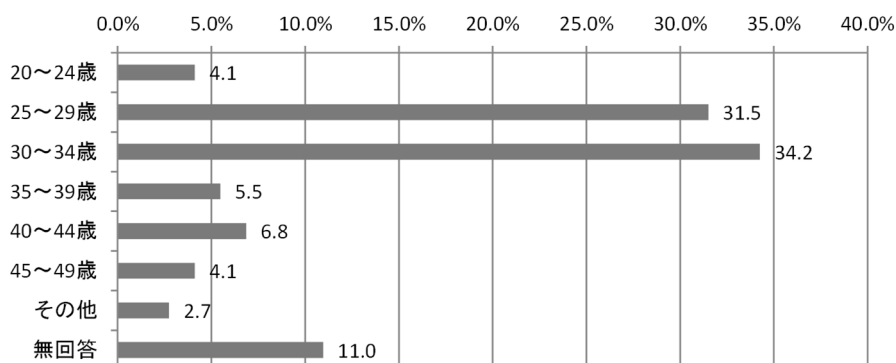
	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 早めに結婚したい	5	12	0	17	15.2
2 時期にはとらわれていないがいずれ結婚したい	20	35	1	56	50.0
3 結婚はしたいができない	3	12	0	15	13.4
4 結婚したくない	9	12	0	21	18.8
無回答	0	3	0	3	2.7
総数	37	74	1	112	100.0



問5. 問4で、「1. 早めに結婚したい」、「2. 時期にはとらわれていないがいずれ結婚したい」と回答した方にお尋ねします。何歳ぐらいで結婚したいですか？（73名が対象）

- ・結婚時期は、「30～34歳」が34.2%と最も多く、次いで「25～29歳」が31.5%となっています。

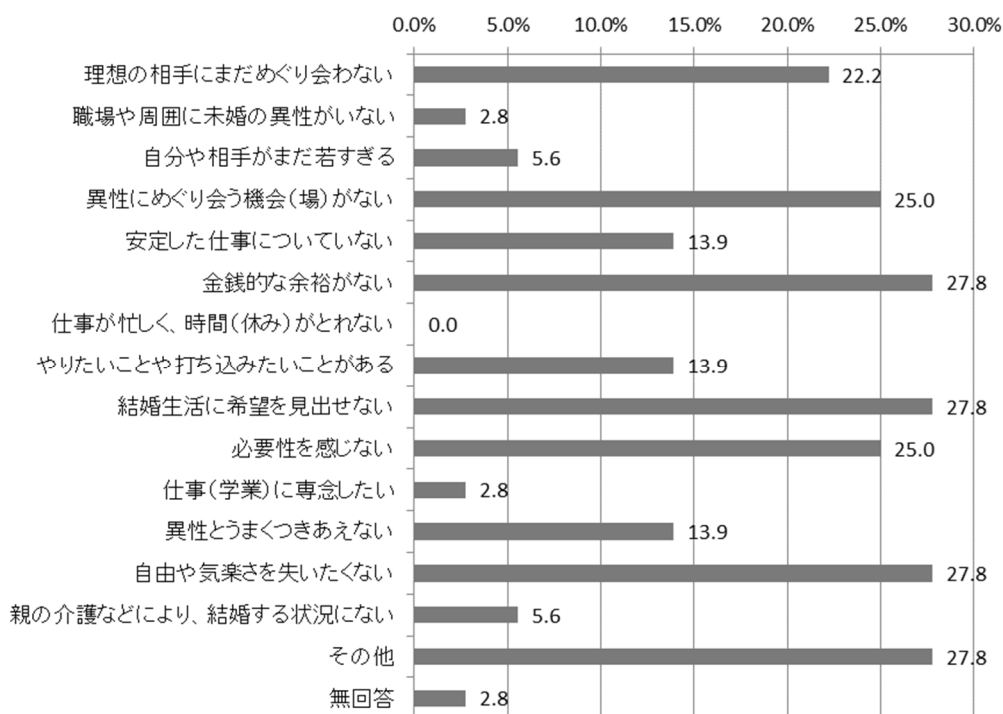
	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 20～24歳	0	3	0	3	4.1
2 25～29歳	6	17	0	23	31.5
3 30～34歳	10	14	1	25	34.2
4 35～39歳	3	1	0	4	5.5
5 40～44歳	3	2	0	5	6.8
6 45～49歳	1	2	0	3	4.1
7 その他	1	1	0	2	2.7
無回答	1	7	0	8	11.0
総数	25	47	1	73	100.0



問6. 問4で、「3. 結婚したいができない」、「4. 結婚したくない」と回答した方にお尋ねします。その理由は何ですか？【主なもの3つまでに○】(36名が対象)

- ・結婚しない理由は、「金銭的な余裕がない」「結婚生活に希望を見出せない」「自由や気楽さを失いたくない」が27.8%と最も多くなっています。

	件数			%
	男性	女性	総数	
1 理想の相手にまだめぐり会わない	1	7	8	22.2
2 職場や周囲に未婚の異性がない	0	1	1	2.8
3 自分や相手がまだ若すぎる	1	1	2	5.6
4 異性にめぐり会う機会(場)がない	2	7	9	25.0
5 安定した仕事についていない	2	3	5	13.9
6 金銭的な余裕がない	4	6	10	27.8
7 仕事が忙しく、時間(休み)がとれない	0	0	0	0.0
8 やりたいことや打ち込みたいことがある	1	4	5	13.9
9 結婚生活に希望を見出せない	3	7	10	27.8
10 必要性を感じない	2	7	9	25.0
11 仕事(学業)に専念したい	1	0	1	2.8
12 異性とうまくつきあえない	1	4	5	13.9
13 自由や気楽さを失いたくない	2	8	10	27.8
14 親の介護などにより、結婚する状況にない	0	2	2	5.6
15 その他	5	5	10	27.8
無回答	1	0	1	2.8
総数	12	24	36	100.0



「その他」の内容

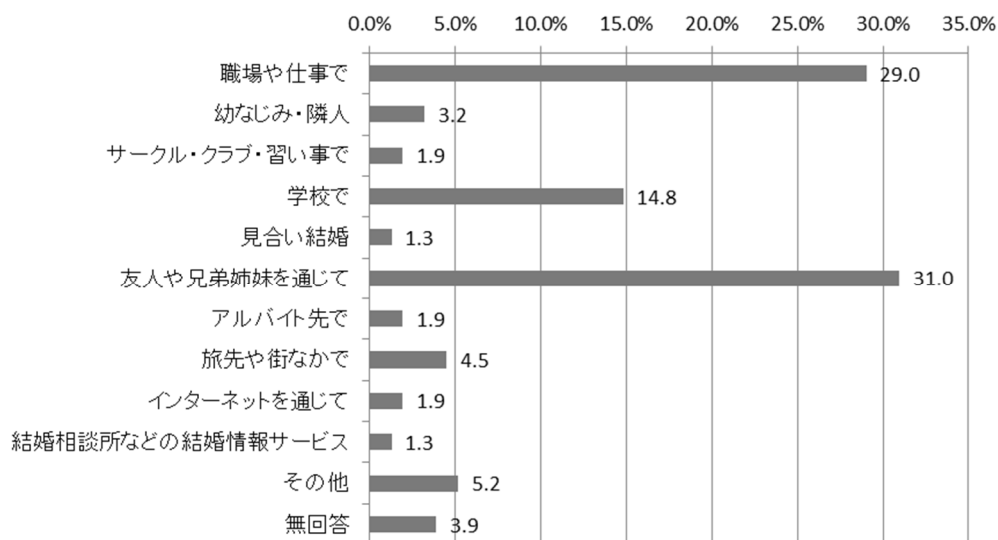
- ・ 1人は楽
- ・ 鴨川市役所の職員ほど収入がない。及び福利厚生がない。
- ・ 交際相手の収入が少なく、私の収入ではやっていけない。
- ・ 最初は、する気があったが、職業を知られたとたん、お見合いをドタキャンされまくり、する気がなくなった。
- ・ 同性同士やアセクシャル同士の結婚など、多様な形が社会に認められるようになったらできるかもしれない。今の“結婚”は意味が狭すぎて、自分がそこに当てはまることができると思えない。でもこれが“結婚”という形である必要はどこまであるのか、疑問。
- ・ 同性の為
- ・ 性的マイノリティ
- ・ 障害者だから

問7. 今のパートナーとはどこで知り合いましたか？【1つに○】

※問2で「3. 既婚又は近々結婚の予定がある」と回答した方 155 名が対象

・パートナーとの出会いは、「友人や兄弟姉妹を通じて」が 31.0%と最も多く、次いで「職場や仕事で」が 29.0%となっています。

	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 職場や仕事で	20	25	0	45	29.0
2 幼なじみ・隣人	1	4	0	5	3.2
3 サークル・クラブ・習い事で	2	1	0	3	1.9
4 学校で	9	14	0	23	14.8
5 見合い結婚	0	2	0	2	1.3
6 友人や兄弟姉妹を通じて	22	25	1	48	31.0
7 アルバイト先で	1	2	0	3	1.9
8 旅先や街なかで	5	2	0	7	4.5
9 インターネットを通じて	1	2	0	3	1.9
10 結婚相談所などの結婚情報サービス	1	1	0	2	1.3
11 その他	2	6	0	8	5.2
無回答	2	4	0	6	3.9
総数	66	88	1	155	100.0



「その他」の内容

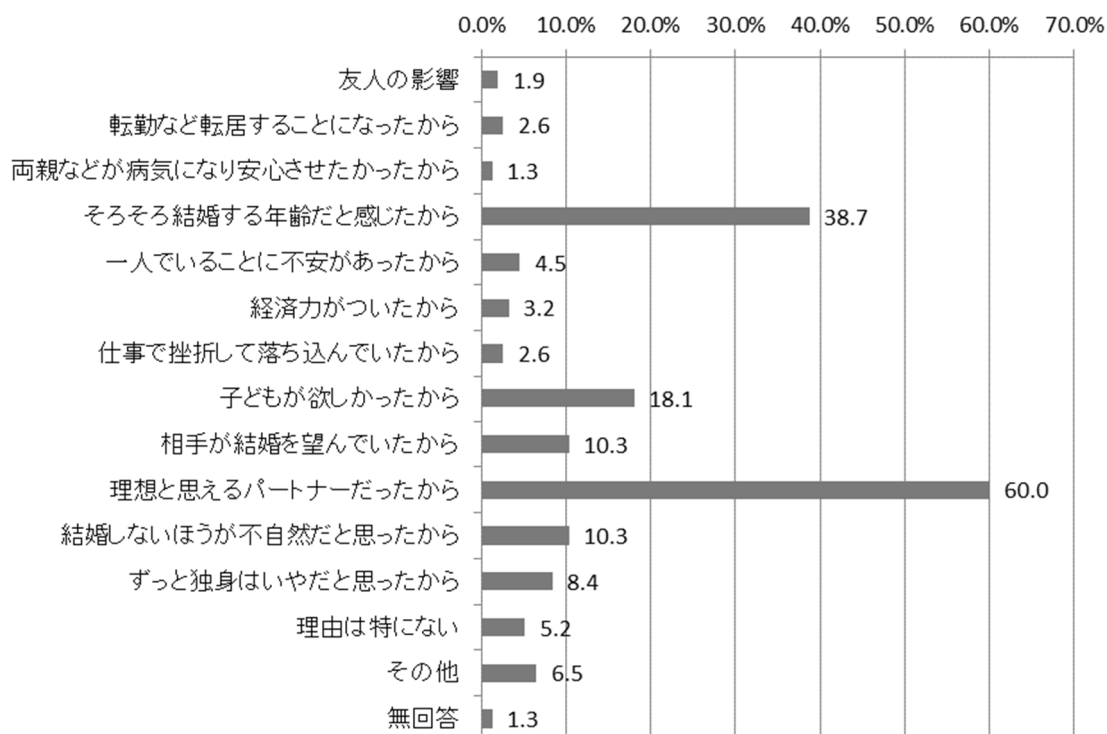
- ・飲み会 (2)
- ・留学中、ホームステイ先で
- ・知人の紹介
- ・前原海岸

問8. 今のパートナーと結婚を決めたきっかけは何ですか？【主なもの3つまでに○】

※問2で「3. 既婚又は近々結婚の予定がある」と回答した方 155 名が対象

- ・結婚を決めたきっかけは、「理想と思えるパートナーだったから」が60.0%と最も多く、次いで「そろそろ結婚する年齢だと感じたから」が38.7%となっています。

	件数			総数	%
	男性	女性	無回答		
1 友人の影響	1	2	0	3	1.9
2 転勤など転居することになったから	1	3	0	4	2.6
3 両親などが病気になり安心させたかったから	1	1	0	2	1.3
4 そろそろ結婚する年齢だと感じたから	30	30	0	60	38.7
5 一人であることに不安があったから	1	6	0	7	4.5
6 経済力がついたから	3	2	0	5	3.2
7 仕事で挫折して落ち込んでいたから	1	3	0	4	2.6
8 子どもが欲しかったから	8	20	0	28	18.1
9 相手が結婚を望んでいたから	8	8	0	16	10.3
10 理想と思えるパートナーだったから	44	48	1	93	60.0
11 結婚しないほうが不自然だと思ったから	10	6	0	16	10.3
12 ずっと独身はいやだと思ったから	5	8	0	13	8.4
13 理由は特にない	2	6	0	8	5.2
14 その他	1	9	0	10	6.5
無回答	0	2	0	2	1.3
総数	66	88	1	155	100.0



「その他」の内容

- ・子どもを授かった (7)
- ・ずっと一緒にいたかったから
- ・好き

問9. 理想とする子どもの数は何人ですか？【1つに〇】

- ・理想の子どもの人数は、「2人」が45.2%と最も多く、次いで「3人」が31.5%となっています。
- ・理想の子どもの人数の平均は、2.25人となっています。

		件数						総数	%
		男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1	1人	3	2	0	3	2	0	5	1.9
2	2人	53	68	1	55	67	0	122	45.2
3	3人	27	57	1	25	59	1	85	31.5
4	4人	5	5	0	1	9	0	10	3.7
5	5人以上	2	7	0	0	9	0	9	3.3
6	いなくてもいい	11	19	0	25	5	0	30	11.1
無回答		4	5	0	3	4	2	9	3.3
総数		105	163	2	112	155	3	270	100.0

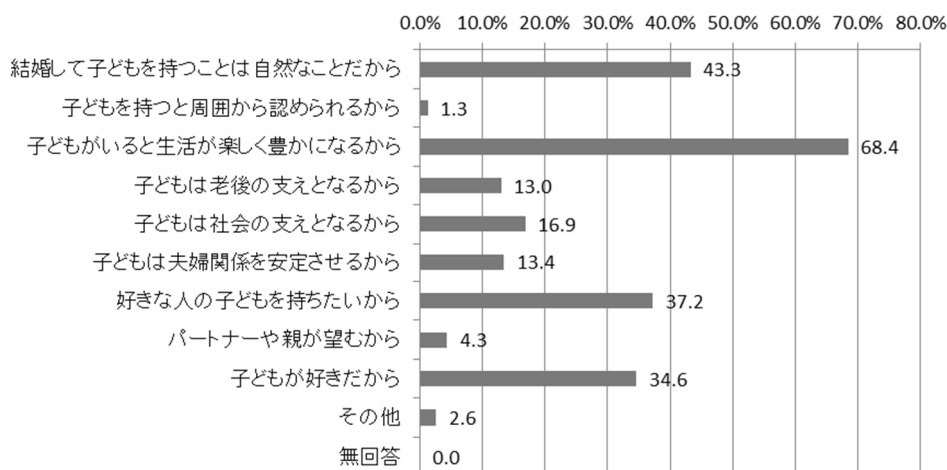


問 10. 子どもを欲しいと思う理由は何ですか？【主なもの3つまでに○】

※問9で「1. 1人」から「5. 5人以上」と回答した方 231 名が対象

- ・子どもが欲しいと思う理由は、「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」が 68.4%と最も多く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が 37.2%となっています。

	件数	%
1 結婚して子どもを持つことは自然なことだから	100	43.3
2 子どもを持つと周囲から認められるから	3	1.3
3 子どもがいると生活が楽しく豊かになるから	158	68.4
4 子どもは老後の支えとなるから	30	13.0
5 子どもは社会の支えとなるから	39	16.9
6 子どもは夫婦関係を安定させるから	31	13.4
7 好きな人の子どもを持ちたいから	86	37.2
8 パートナーや親が望むから	10	4.3
9 子どもが好きだから	80	34.6
10 その他	6	2.6
無回答	0	0.0
総数	231	100.0



「その他」の内容

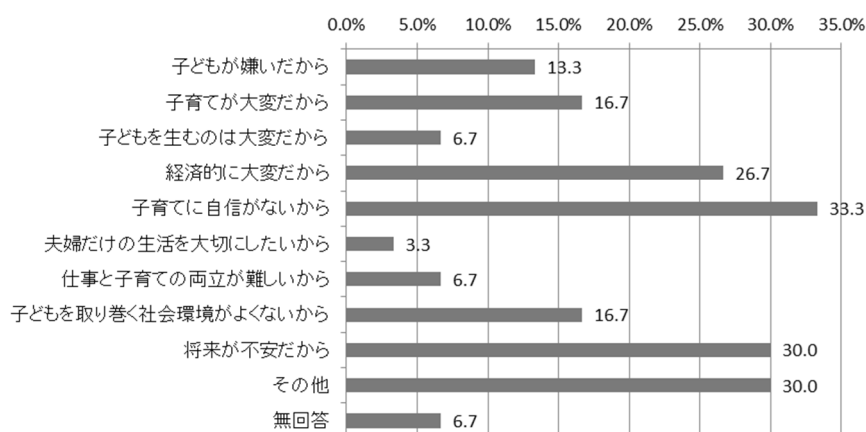
- ・ 3人育ててみて2人ぐらいが良いと思うから
- ・ 子どもと趣味を分かち合いたい
- ・ 子どもがお互い助けあえるから
- ・ 技術・田・山を継いでもらいたいから
- ・ 子ども同士の社会性を育てる

問 11. いなくてもいいと思う理由は何ですか？【主なもの3つまでに○】

※問9で「6. いなくてもいい」と回答した方30名が対象

- ・子どもがいなくてもいいと思う理由については、「子育てに自信がないから」が33.3%と最も多く、次いで「将来が不安だから」が30.0%となっています。

		件数	%
1	子どもが嫌いだから	4	13.3
2	子育てが大変だから	5	16.7
3	子どもを生むのは大変だから	2	6.7
4	経済的に大変だから	8	26.7
5	子育てに自信がないから	10	33.3
6	夫婦だけの生活を大切にしたいから	1	3.3
7	仕事と子育ての両立が難しいから	2	6.7
8	子どもを取り巻く社会環境がよくないから	5	16.7
9	将来が不安だから	9	30.0
10	その他	9	30.0
	無回答	2	6.7
	総数	30	100.0



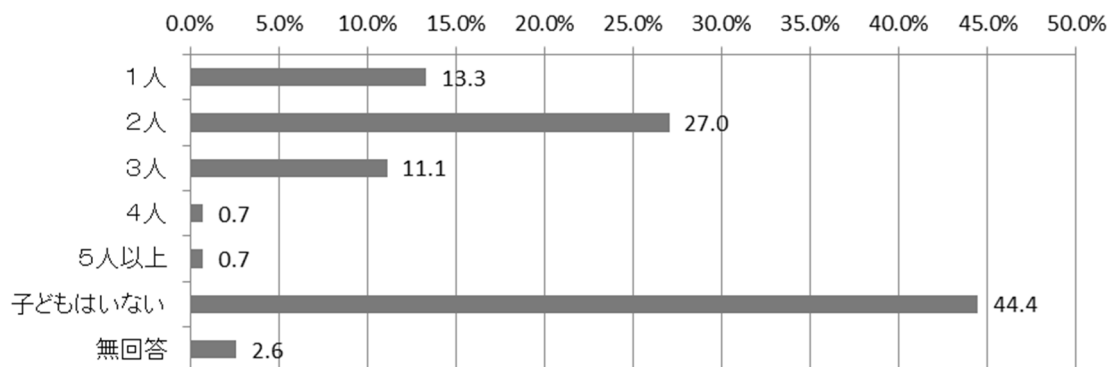
「その他」の内容

- ・自分が親だと子どもにいやがられるから
- ・まず結婚しない
- ・病気のためあきらめました。養子などのシステムが分からず、この年まで主人と2人暮らしです。以前世間の人（仕事先）に、子無しと言われ、主人以外と話す事はありません。子どもはいたほうが良いと思っていますが…育ててみたいです。産めないのです！
- ・彼女の体が弱く、育児に耐えられないから
- ・里親に興味があるので
- ・欲しくても、できない人もいますので、この質問は良くないと思います。
- ・今の日本に新たな命を生み出すのは、その子にとってかわいそう。せめて核のゴミ捨て場とかを決めてからにして欲しい。
- ・出産経験ありの為

問 12. 現在、あなたには何人のお子さまがいらっしゃいますか？【1つに○】

- ・現在の子どもの人数は、「子どもはいない」が 44.4%と最も多く、次いで「2人」が 27.0%となっています。
- ・現在の子どもの人数の平均は、1.10 人となっています。

		件数			総数	%
		未婚	既婚	無回答		
1	1人	9	26	1	36	13.3
2	2人	5	68	0	73	27.0
3	3人	0	29	1	30	11.1
4	4人	0	2	0	2	0.7
5	5人以上	0	2	0	2	0.7
6	子どもはいない	93	27	0	120	44.4
無回答		5	1	1	7	2.6
総数		112	155	3	270	100.0

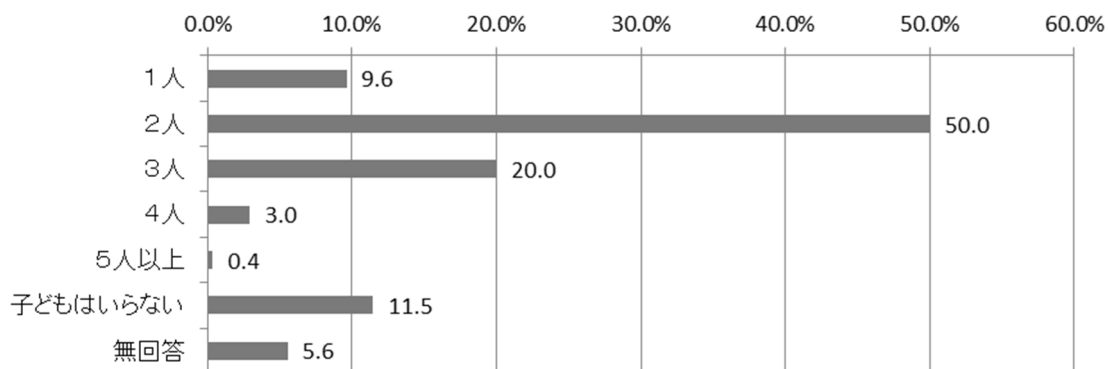


問 13. あなたは、将来、全員で何人の子どもを持つ予定ですか？【1つに○】

- ・将来の子どもの予定人数は、「2人」が 50.0%と最も多く、次いで「3人」が 20.0%となっています。
- ・将来の子どもの予定人数の平均は、1.94 人となっています。

		件数			総数	%
		未婚	既婚	無回答		
1	1人	8	18	0	26	9.6
2	2人	52	83	0	135	50.0
3	3人	18	35	1	54	20.0
4	4人	1	7	0	8	3.0
5	5人以上	0	1	0	1	0.4
6	子どもはいない	26	5	0	31	11.5
無回答		7	6	2	15	5.6
総数		112	155	3	270	100.0

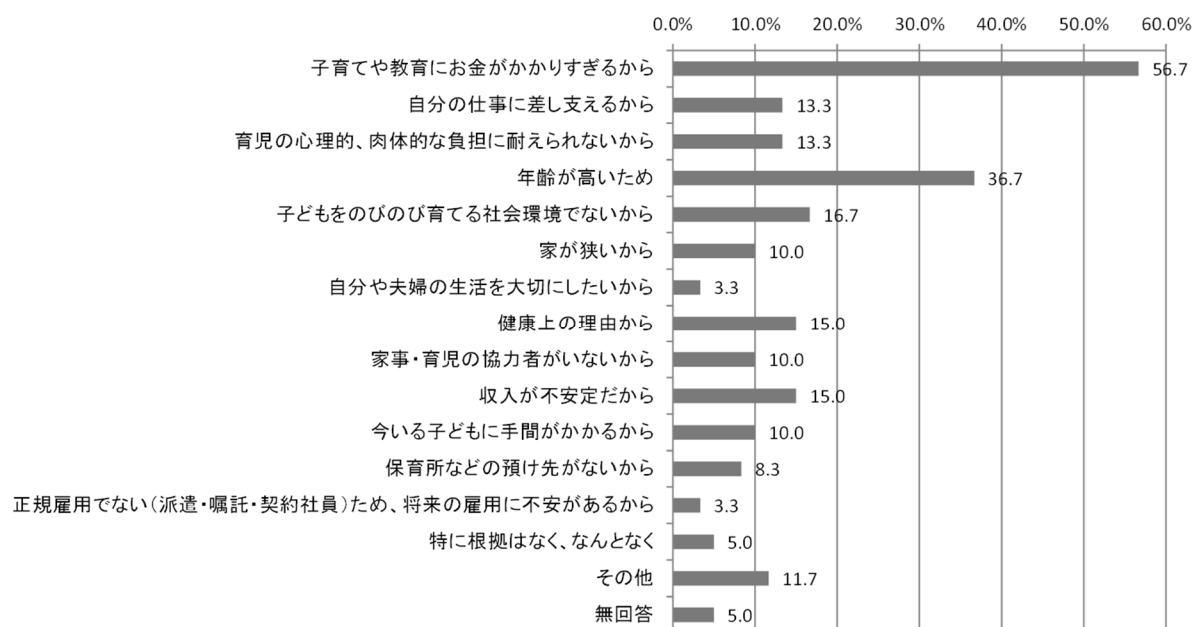
子どもの数 理想×予定		理想とする子どもの数						総計	
		1人	2人	3人	4人	5人以上	いなくて もいい		無回答
予定の 子ども の数	1人	4	14	7	0	0	1	0	26
	2人	0	97	27	3	4	2	2	135
	3人	0	3	48	2	1	0	0	54
	4人	0	0	1	5	2	0	0	8
	5人以上	0	0	0	0	1	0	0	1
	子どもは いない	1	2	2	0	0	26	0	31
	無回答	0	6	0	0	1	1	7	15
総計		5	122	85	10	9	30	9	270



問 14. 問9の「理想の子どもの数」より、問13の「将来に持ちたい子どもの数」が少なかった方にお尋ねします。その理由は何ですか？【あてはまるものすべてに○】（60名が対象）

・理想の子どもの数より、将来の子どもの予定人数が少なかった理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が57.6%と最も多く、次いで「年齢が高いため」が37.3%となっています。

	件数	%
1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	34	56.7
2 自分の仕事に差し支えるから	8	13.3
3 育児の心理的、肉体的な負担に耐えられないから	8	13.3
4 年齢が高いため	22	36.7
5 子どもをのびのび育てる社会環境でないから	10	16.7
6 家が狭いから	6	10.0
7 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	2	3.3
8 健康上の理由から	9	15.0
9 家事・育児の協力者がいないから	6	10.0
10 収入が不安定だから	9	15.0
11 今いる子どもに手間がかかるから	6	10.0
12 保育所などの預け先がないから	5	8.3
13 正規雇用でない（派遣・嘱託・契約社員）ため、将来の雇用不安があるから	2	3.3
14 特に根拠はなく、なんとなく	3	5.0
15 その他	7	11.7
無回答	3	5.0
総数	60	100.0



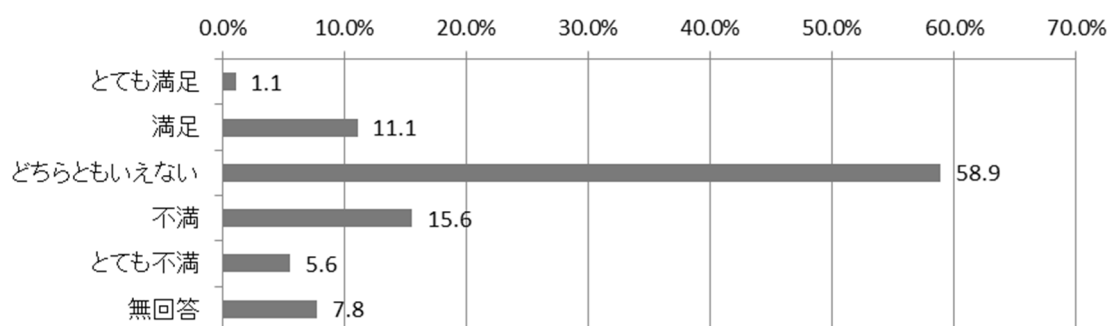
「その他」の内容

- ・相手がいない
- ・離別し、配偶者がいない為
- ・離婚したから
- ・不妊症の為、なかなか子どもができなかった
- ・ほしいけど2人目が出来ないから
- ・相手に子ども（1人）がいたので、自分の子どもは欲しいが、それが難しいため。
- ・病気や通院の時の預け先、小学生（高学年まで）の学童等ないから
- ・2人で夫が満足しているから

問 15. 鴨川市の子育て環境に満足していますか？【1つに○】

- ・子育て環境の満足度は、「どちらともいえない」が58.9%と最も多く、次いで「不満」が15.6%となっています。

		件数			総数	%
		未婚	既婚	無回答		
1	とても満足	2	1	0	3	1.1
2	満足	3	27	0	30	11.1
3	どちらともいえない	83	76	0	159	58.9
4	不満	9	32	1	42	15.6
5	とても不満	2	13	0	15	5.6
無回答		13	6	2	21	7.8
総数		112	155	3	270	100.0



理由

<p>とても満足</p> <p>○自然が豊か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森がたくさん
<p>満足</p> <p>○自然が豊か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで医療も充実しているので満足している。 ・自然が豊かである。(2) ・自然が豊かで、のびのびと育てられる。 <p>○保育環境が整っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預かってくれる環境が整っていると思う。 ・3才児保育が、子ども園の整備で充実してきたので、まあよいかと思います。

- ・一時保育 etc、もっと気軽に子どもも預けられる場所があれば良いと思う。

○医療費の補助がある

- ・赤ちゃんの医療費が無料で助かっている。
- ・医療費補助がある。
- ・医療費に関しては無料で、学童も行っている教育機関があるから。ただ、子どもと一緒にどこか遊びに行ったり買物する場合は、他市町に行くことが多い。レジャー（無料で遊べる、例えば大きい公園など）や、買物がもう少し充実した方がよいと思う。

○その他

- ・子育て当時は母子家庭でした。金銭的支援をいただいていた。職場も子育てに理解もあり、特に不自由はありませんでした。ただ自分は恵まれた環境にいる事ができましたので、そうでない方もいるかと考えます。
- ・今のところ災害がない。

どちらともいえない

○子どもを遊ばせる場所がない

- ・公園が少ない
- ・乳幼児がゆっくり遊べる公園があまりない。
- ・子どもを遊ばせる場所、公園等がない！！作ってほしいです！！
- ・公園、遊具施設の充実を凶ってもらいたい
- ・室内で遊べる所が少ない。公園も少ない。
- ・自分が育てている時は保育所へ入園するのにずいぶん制限があり大変だった。子育てしていくうえで子どもを遊ばせる公園等も少ない。
- ・人口が少ない。子どもが楽しく学べる施設が少ない。〇〇病院に行くと、何んだかんだでお金をとられる。
- ・小さな子ども、小学生ぐらいの子ども達の外での遊び場が少ない。歩道がない所があって、ベビーカーを使っている時、不便でした。
- ・もう少し子どもが遊べる公共の場所があってもいいと思う。
- ・子どもが参加できるスポーツクラブがもっと充実すればいいと思う。自分で情報を集めないと何もわからない。
- ・小湊に子どもの遊べる所がない（支援センターとか）。
- ・子どもが遊べる場所が少ない。（自然が多いから良いでしょうと言われた事があるが、田んぼには勝手に入らず、山などは荒れていて入れる状況ではない。自転車を乗り回せる公園もない。）子どもを預ける場所が西条のみで、満員も多く、慣らしからはじめるので急用で使いたい時に使えない。医療費補助をせめて6年生まで全額無料にしてほしい。3年保育（幼稚園）がほしい。
- ・遊ぶところが少ない。ゴミが多い。

○子どもの医療費補助が不十分

- ・保育園の制度が今年度から変更になり、とても助かるが、医療費は小学3年生から中学3年生までは免除してもらいたい。
- ・子ども医療受給の年齢を上げていただきたい（現在小学3年生までなので！！）
- ・環境は良いが、小学生の医療費が無料ではないから。
- ・他の地区では、子どもの医療費が中学3年生まで助成されているところも多いが、鴨川市では通院になると、小学校3年生までしかされていない。中学卒業までのばしてもらえるといいと思う。
- ・医療費無料は中学生までにしてもらいたい。

○子育てに費用がかかる

- ・保育料、学童のお金が高い。将来の事や今の経済状態などを考えて減税してほしい。子どもがいる家と子どもがいない家、経済的な負担はあきらかに子どもがいる家が多い。
- ・学童料金が低い。
- ・子育てに対して補助金等がもう少しあってもいいと思います。

○子どもを預ける施設がない

- ・子どもを預ける場所がなく、学童保育を立ち上げると言う経験をした。今思うと市が積極的に立ち上げてくれるとよかったと思うから。
- ・1歳以下の託児施設がない。

○その他

- ・地域によって、子どもの数に差がある。その中で果たして子育てができるか不安。
- ・子どもが少なくなっているのはわかりますが、保育園が遠くて、お母さん方が困っていたり、道路に歩道がない為、子どもやお年寄りに、不安があるのでは、と思います。
- ・子ども（長男）が2歳、第2子妊娠してから、子育てが大変になりました。長男が遊び相手を欲しがること、家にいるとぐずることから、一日中公園や支援センターへ行きました。でも遊び相手に会えず、赤子を抱え私が相手をしなければならない。支援センターは、狭いのでグループ行動のママたちがまとまっていると居場所はなくなります。遊べる場所が少ない。情報がつかめない。人と人を繋ぐことが少ないので孤立してしまうから。（全ての母親がそうとは言いません）夫婦ともに、子どもを追いかけることに精一杯。肉体的につらいです。主人は、子どもは勝手に育つものなのにと、今の育児がつらくヘトヘトです。子どもが少ないのか土日、長期休みは外に出ても遊び相手がいません。（出産するたびに歯もろくなり、もう出産できません。）
- ・医療に心配がないのが良い。ただ母子家庭はすべての面において苦しい。学業不振や運動能力の低さなども、幼少期に十分な時間を取れなかったこと、経済状況などが大きく関わっていると思う。スポーツ・習い事・塾…すべてお金がかかり、やりたいと子どもが言っても、やらせてあげられない人が多い。
- ・豊かな自然や人の温かさという点での環境は良いと思うが、子どもが利用する施設や道路整備があまり整っていないように感じる。
- ・自然が豊かなのはいいが、もう少し援助してもらいたい事が出来たら、もっともっと過ごしやすい環境になると思う。
- ・自然に恵まれているが、学習等がとり残されている感がある。近所の子どもの数が把握出来ないほど交流がない。
- ・学童やベビーシッターなど、個々のニーズにあったサービスを求めているから。
- ・統合してしまい不便になった。
- ・環境は良いが人口が減少していて、不便な点が多い。学べることに制限があるように思える。
- ・学校が遠い。
- ・待機児童がいるから。
- ・良い所もあるが目が行き届いてないところもあると思うから。
- ・車社会で、車で移動が当たり前の鴨川。私は運転が不慣れで、出来れば徒歩で生活できる環境が欲しいので。歩道も狭すぎて怖い。
- ・品川区の子育て環境がとても恵まれていた為、こんなに違うものかと思いました。

不満

○子どもの医療費補助が不十分

- ・親子で楽しめる場所が少ない。医療費がかかる。
- ・医療費が10才から負担になる事、年齢をもう少し上げてほしい！！
- ・子どもの医療費受給券の無料（受診）が小学校3年生までで終わること。主要部（大人数のところ）より、少人数学校や保育園には目が行き届いていないと感じる。その学校や園の先生は一生懸命やって下さっていますが、行政機関からは感じられない。
- ・保育料が高い。医療費を高校まで無料にしてほしい。
- ・学童保育の運営を預ける側が行う事。医療費免除が12才までの事。通学路の道幅が狭く、車の通行が多い為、事故等の不安。
- ・妊娠、出産とお金がかかり、高校までは学費無料にはなったが雑費がかかりすぎる。
- ・子ども医療費助成受給券を通院の無料を中学3年まで引き上げて欲しい。中学生は部活などでケガをしやすいため。
- ・子どもの医療費が10歳までというのは少ない、少なくとも義務教育が終わる中学生まで、出来れば学生である高校生まで補助を出してほしい。全額は無理としても、一律300円とかにしてほしい。

○子どもを長く預けられる施設がない

- ・子どもを預けられる時間が保育園で18:00まで、幼稚園ではそれより早い時間まで!?それだからさらに少子化が進むのだと思う。母親が日本の子どもを育てている一人者なのだから、その立場になって考えればいいと思う。

- ・共働きが主流になってきている中で、子どもを預ける保育所などの施設があまりないと思います。また、公園などの子ども達が遊べる場をもう少し多くなるといいと思います。
- ・学童が6時までしかみてもらえないから、残業が多い仕事で迎えに行けないので預けられない。
- ・あずける場所がない。24時間、あずけられる所がほしい。
- ・託児所がない。遊び場がない。
- ・保育園の預かり時間と料金設定がいまいち。雇用されている時間と合っていない。

○子どもが遊ぶ場所が少ない

- ・乳児、幼児の遊べる室内スペースが少ない。公園はもっと少ない。民間と協力してスーパーなどで小さいスペースを増やせないものか。
- ・公園が少ない。全体の子どもの人数が少ない。働く親に優しい環境ではない。
- ・公園が少なすぎる。
- ・子どもが遊ぶ場所が少ない。
- ・遊べる所が少ない。保育施設が少ない。
- ・近くに遊べる場所がない。歩道がない。

○子育てに費用がかかるから

- ・保育料や学童が高額すぎて、夏休みなど働くのにとっても困る。
- ・子育て資金の援助をもっとしてほしい。保育料の援助をもっとしてほしい。

○その他

- ・育児環境に選択肢が少ない。高校に通うのにも不便で選択肢が少ない。
- ・経済面、環境も整っていない。産後孤立する。
- ・もっと自由にのびのびと育てられる様にしてもらいたい。育て方がきつい。昔は多いが、昔の様に自由に生み、自分にあった道に自由に進める様にしたい。
- ・子育て支援センターのおもちゃがあまり充実しておらず、外も使えることが少なく、スタッフも少なく、イベントも頑張っているようだが（託児があって、講演会を聞くとか、リトミックや羊毛フェルトのやり方を教えてくれたり、以前いた市では充実していてとても楽しかった）、親も楽しめるようなものがない。南房総市のようになると有難い。幼稚園が市営のものしかなく、満4才からしか預けられないのもつらい。3才児の1年が苦しい。また、保育園も待機児童がいるので困る。公園も少なく、水遊びできる場所もない。保育園の園開放も、ただ見学だけという感じで、子育て支援の為という感じではなかった。産院も限られており、個室料がとられるため高額になってしまう。子ども服を買うにも近くに店がほとんどなく、困ることが多い。子育て支援センターの開設日も水・土が休みで、土曜日に仕事に行く父をもつ家族としては土曜日でもやってほしいです。
- ・満足できる要素が思い当たらない為。
- ・特色無く、いいかげんな学校教育しかイメージがありません。
- ・病院等は充実していると思うが、税金等は高いと思う。
- ・環境は良いが、買い物する所が少ない。（子ども服など）

とても不満

○不便

- ・保育所、学童、18:00では早すぎる。木更津市は21:00まで見てくれる所“有”
- ・支援センター・ふれあいセンター・市役所、全てが離れすぎ、車がないと行けないところばかり。
- ・学習塾等が少ない、教育費が高いから。
- ・子どもの遊び場が少ない、保育施設が少ない、医療費の受給券の年齢が他市に比べ低い（小3）、子どもの手続きがふれあいセンターしかない。
- ・公園が少ない、子ども医療費助成受給券が小学3年生までで、一番けがしやすい中学生がつかえない。
- ・子どもを遊ばせる場所がない、雨天でもあそべる場所が欲しい（幼児に限らず）、医療費の助成期間が短い。

○補助金等が十分ではない

- ・支援金、補助金が少ない。
- ・医療費が、他の市では中学まで無料なのに、鴨川は小3までだから。学童保育が、市経営でないから。

- ・賃金が安い、物価（家賃等）が高い為。

○その他

- ・子どもがいると面接で言うと、ほぼ断られる。小さい子どもほど！仕事ができても、風邪や発熱などで休む事が多くなると、シフトに入れなくなり、こちらからやめるようにすすめられる。
- ・三世代向けの子育て環境だから。
- ・地域とのつながりが面倒

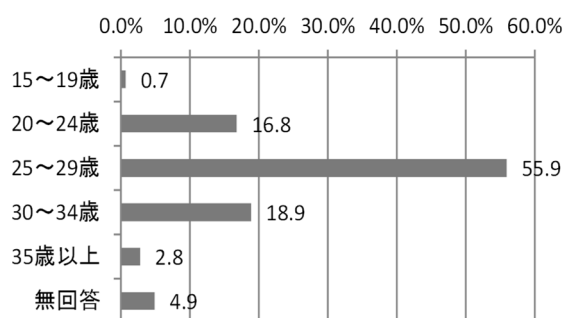
問 16. お子さまをお持ちになる理想の年齢と、実際にお子さまをお持ちになった年齢をお聞かせください。

※問 12 で「1. 1人」から「5. 5人以上」と回答した方 143 名が対象

- ・理想の年齢は、「25～29 歳」が 55.9% と最も多く、次いで「30～34 歳」が 18.9% となっています。
- ・実際の年齢は、「25～29 歳」が 42.7% と最も多く、次いで「30～34 歳」が 23.1% となっています。

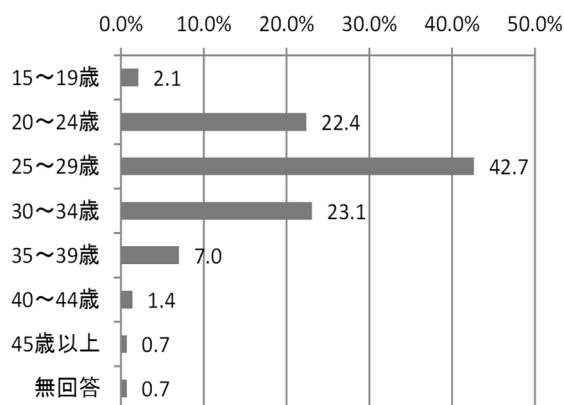
理想の年齢

		件数			総数	%
		男性	女性	無回答		
1	15～19 歳	0	1	0	1	0.7
2	20～24 歳	5	19	0	24	16.8
3	25～29 歳	29	50	1	80	55.9
4	30～34 歳	18	9	0	27	18.9
5	35 歳以上	4	0	0	4	2.8
	無回答	3	4	0	7	4.9
	総数	59	83	1	143	100.0



実際の年齢

		件数			総数	%
		男性	女性	無回答		
1	15～19 歳	0	3	0	3	2.1
2	20～24 歳	8	24	0	32	22.4
3	25～29 歳	24	37	0	61	42.7
4	30～34 歳	19	13	1	33	23.1
5	35～39 歳	6	4	0	10	7.0
6	40～44 歳	1	1	0	2	1.4
7	45 歳以上	1	0	0	1	0.7
	無回答	0	1	0	1	0.7
	総数	59	83	1	143	100.0



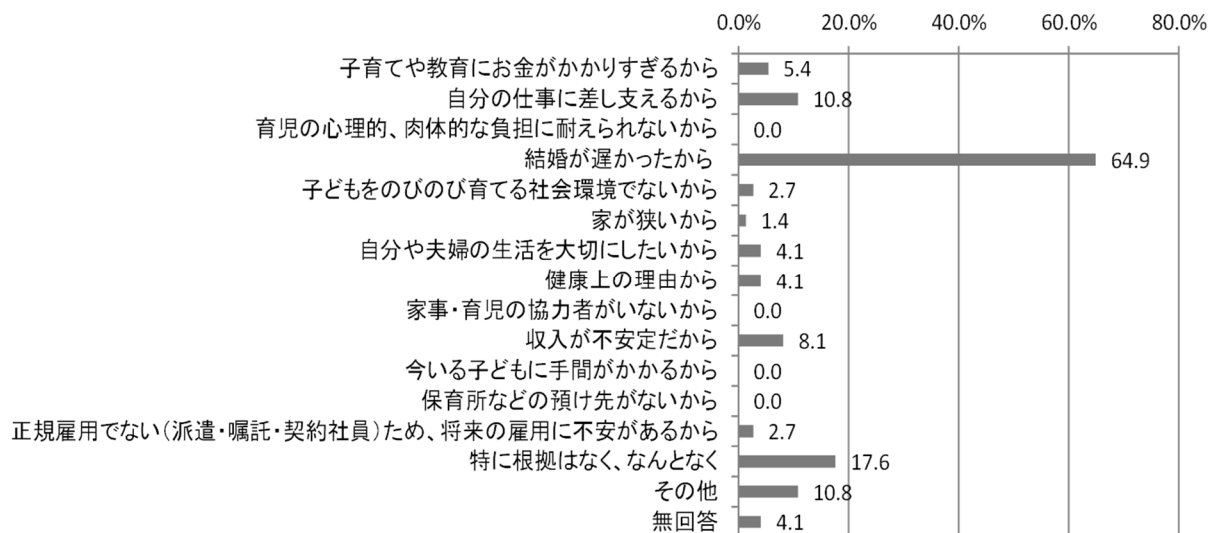
婚期の年齢 理想×現実		理想の年齢						総数
		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	無回答	
実際の年齢	15～19歳	0	1	1	0	0	1	3
	20～24歳	1	15	12	3	0	1	32
	25～29歳	0	8	44	7	0	2	61
	30～34歳	0	0	18	11	2	2	33
	35～39歳	0	0	5	4	1	0	10
	40～44歳	0	0	0	2	0	0	2
	45歳以上	0	0	0	0	1	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	1	1
	総数	1	24	80	27	4	7	143

問 17. 問 16 で、理想としていた年齢と比べて、実際の年齢が遅かった方にお尋ねします。その理由は何ですか？【あてはまるものすべてに○】

※問 16 で理想をしていた年齢と比べて実際の年齢が遅かった方 74 名が対象

- ・理想としていた年齢と比べて、実際の年齢が遅かった理由は、「結婚が遅かったから」が 64.9% と最も多く、次いで「特に根拠はなく、なんとなく」が 17.6% となっています。

	件数	%
1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	4	5.4
2 自分の仕事に差し支えるから	8	10.8
3 育児の心理的、肉体的な負担に耐えられないから	0	0.0
4 結婚が遅かったから	48	64.9
5 子どもをのびのび育てる社会環境でないから	2	2.7
6 家が狭いから	1	1.4
7 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	3	4.1
8 健康上の理由から	3	4.1
9 家事・育児の協力者がいないから	0	0.0
10 収入が不安定だから	6	8.1
11 今いる子どもに手間がかかるから	0	0.0
12 保育所などの預け先がないから	0	0.0
13 正規雇用でない(派遣・嘱託・契約社員)ため、将来の雇用に不安があるから	2	2.7
14 特に根拠はなく、なんとなく	13	17.6
15 その他	8	10.8
無回答	3	4.1
総数	74	100.0



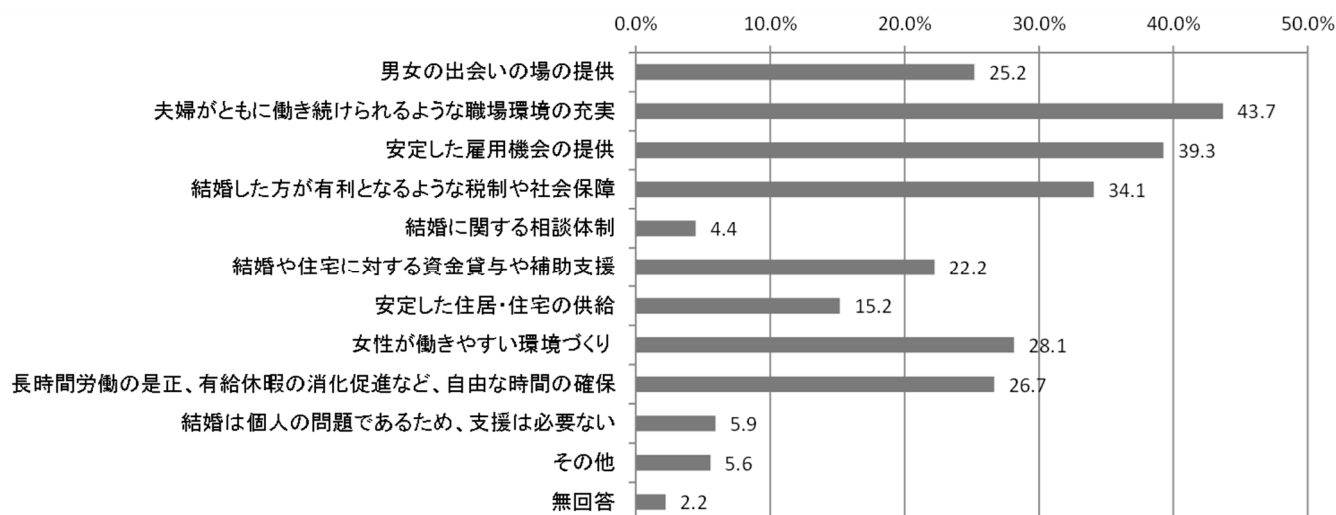
「その他」の内容

- ・親に反対されていたから
- ・子どもができなかったから
- ・結婚していなかったから
- ・良くわからないから。子どもを欲しいと思わなかったから。結婚したいと思わなかったから。結婚も子育ても煩わしいもの、大変なものであろうから。
- ・不妊治療で。
- ・不妊治療による妊娠だった為

問 18. 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか？【主なもの3つまでに○】

- ・結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくる支援としては、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が43.7%と最も多く、次いで「安定した雇用機会の提供」が39.3%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 男女の出会いの場の提供	38	30	0	26	40	2	68	25.2
2 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	40	76	2	47	69	2	118	43.7
3 安定した雇用機会の提供	43	62	1	52	54	0	106	39.3
4 結婚した方が有利となるような税制や社会保障	40	51	1	27	63	2	92	34.1
5 結婚に関する相談体制	5	7	0	5	7	0	12	4.4
6 結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援	22	38	0	26	34	0	60	22.2
7 安定した住居・住宅の供給	18	23	0	18	23	0	41	15.2
8 女性が働きやすい環境づくり	16	59	1	32	44	0	76	28.1
9 長時間労働の是正、有給休暇の消化促進など、自由な時間の確保	22	50	0	40	32	0	72	26.7
10 結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない	8	8	0	6	10	0	16	5.9
11 その他	8	7	0	8	7	0	15	5.6
無回答	4	2	0	2	3	1	6	2.2
全体	105	163	2	112	155	3	270	100.0



「その他」の内容

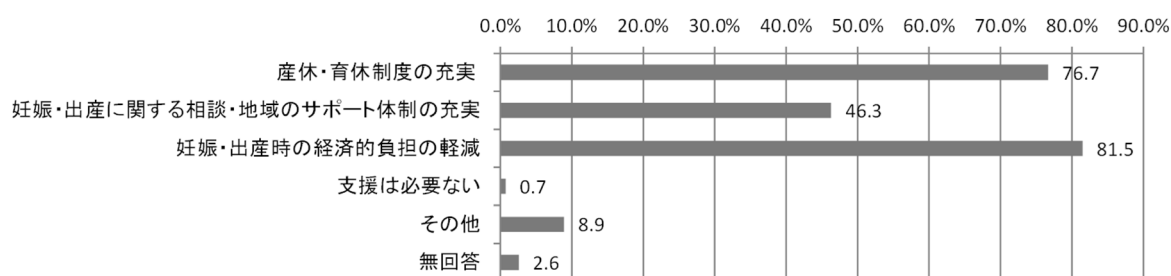
- ・年齢に関係なく出会いの場を頻繁に作ることによって、誰でもあたりまえにその場へ行けるようにする。毎月行うなど。
- ・テレビ（お見合い大作戦）の力をかりる。
- ・賃金の値上げ
- ・ブラック企業を無くす、ブラック企業がホワイト企業を潰すから。
- ・市役所で働き、高額な月収を得なければ、少子化は進む。
- ・妊娠、出産しても、働きやすい職場。上司にもわかってもらいたい。
- ・共働きしないで生活できる収入の確保。最低賃金の是正。
- ・支援するから人はあまえる！！自分自身意識する努力が必要。その為には、学校レベルの教育を見直す必要があると思います。
- ・学校や道路、街並の環境。（子どもが安全に暮らせるか）
- ・子育てしやすい環境にすること。子育てしやすいと思っている夫婦を増やすこと。楽しい、知ること、講座など、結果男女の出会いの場になる。これは子育てがはじまってからの力にもなる。自分も相手も認める事。自己肯定感を上げることをアサーション。
- ・町づくりが必要。おいしいパン屋や落ち着くカフェ。
- ・高齢になると支援がない。
- ・一般的な人の気持ちはわからないが、多様性を認めること。「嫁」の概念から自由になること。

問 19. 出産しやすい環境をつくるには、どのような支援があればよいと思いますか？

【主なもの3つまでに○】

- ・出産しやすい環境をつくる支援としては、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が81.5%と最も多く、次いで「産休・育休制度の充実」が76.7%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 産休・育休制度の充実	71	134	2	91	114	2	207	76.7
2 妊娠・出産に関する相談・地域のサポート体制の充実	48	76	1	55	70	0	125	46.3
3 妊娠・出産時の経済的負担の軽減	83	135	2	84	135	1	220	81.5
4 支援は必要ない	2	0	0	2	0	0	2	0.7
5 その他	5	19	0	9	15	0	24	8.9
無回答	6	1	0	2	4	1	7	2.6
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0



「その他」の内容

- ・国や地域が育てても良いくらいの心構え。
- ・子どもがいることを受け入れ、支え見守ってくれる風土。

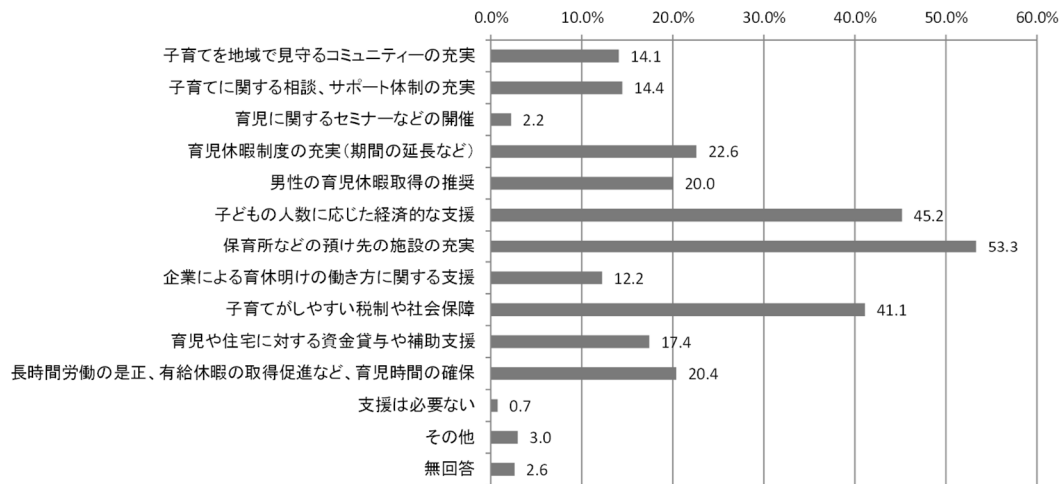
- ・復帰後の子どもの預け先の充実。
- ・出産後の職場復帰支援、病児保育など。
- ・会社の意識改革。
- ・働き方の選択肢。
- ・産休は別として、育休は職場の人間関係に影響するケースが多いので、申請の認可を市単位でして、各職場への通達においてスムーズに育休等が本人の負担なく取れる様にするべき。
- ・妊娠・出産に対する周囲の人々の理解。
- ・病院が少ない！個人病院が少なすぎる。
- ・病児保育施設。
- ・保育施設等の負担の軽減。
- ・交通の便をよくする。
- ・助産院や、自宅出産がしやすい人材や施設が増えるような支援。
- ・妊娠するまで支援がない。
- ・不妊治療のバックアップ、補助。ほしくても妊娠しない人も多いので。
- ・妊娠・出産に対する職場の理解と支援。
- ・助産師さんを増やす。
- ・妊婦検診の負担を0円、出産時0円、税制、社会保障、2人目以上で祝金。
- ・育児の支援、出産後の子育ての環境、かかるお金の支援。
- ・安心して子どもを出産できる様に、学費など将来起こり得る経済的な負担の軽減。
- ・企業がないからお金に困る。

問 20. 子育てしやすい環境をつくるには、どのような支援があればよいと思いますか？

【主なもの3つまでに○】

- ・子育てしやすい環境をつくる支援としては、「保育所などの預け先の施設の充実」が53.3%と最も多く、次いで「子どもの人数に応じた経済的な支援」が45.2%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 子育てを地域で見守るコミュニティの充実	10	28	0	14	23	1	38	14.1
2 子育てに関する相談、サポート体制の充実	16	22	1	19	20	0	39	14.4
3 育児に関するセミナーなどの開催	0	6	0	3	3	0	6	2.2
4 育児休暇制度の充実（期間の延長など）	18	41	2	33	27	1	61	22.6
5 男性の育児休暇取得の推奨	14	40	0	28	26	0	54	20.0
6 子どもの人数に応じた経済的な支援	56	65	1	36	85	1	122	45.2
7 保育所などの預け先の施設の充実	50	92	2	57	86	1	144	53.3
8 企業による育休明けの働き方に関する支援	12	21	0	20	13	0	33	12.2
9 子育てがしやすい税制や社会保障	49	62	0	41	69	1	111	41.1
10 育児や住宅に対する資金貸与や補助支援	18	29	0	18	29	0	47	17.4
11 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保	20	35	0	27	27	1	55	20.4
12 支援は必要ない	2	0	0	2	0	0	2	0.7
13 その他	2	6	0	1	7	0	8	3.0
無回答	5	2	0	2	4	1	7	2.6
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0



「その他」の内容

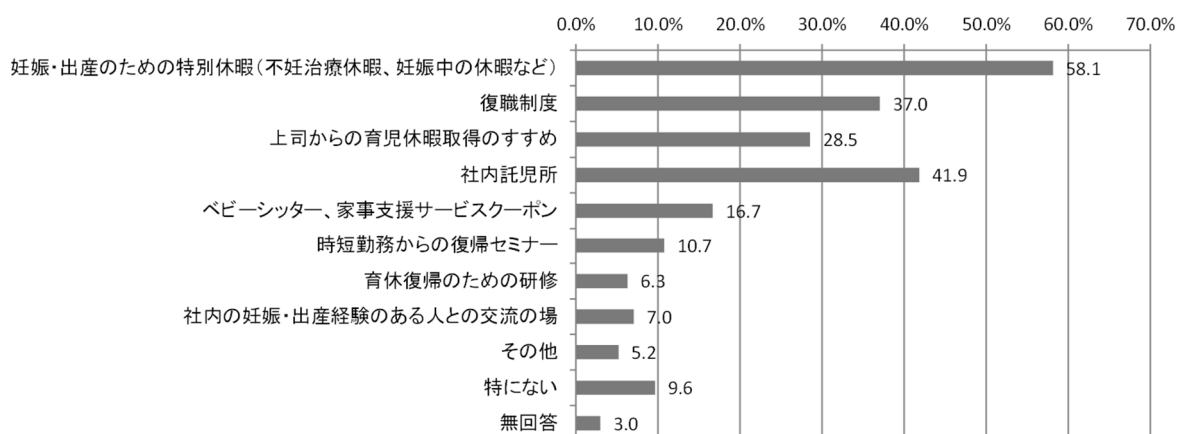
- ・ 保育料は国の地方負担、子育ては国育て、教育費と同じように、子育て費も必要だと思う。何に使うか不明になる子ども手当をバラまくのではなく、子育て（保育）の際の保育料をそのような金額で保障するなどにした方がいいと思う。
- ・ 保育料等が高額すぎる為、入れられないという声が多い。保育料の決め方が理不尽すぎる。同居住者全員の給料を含めて何割という話だが、全ての親が同居の家族に支援してもらっているわけではないので、経済的にかなり親はきびしいと思う。
- ・ 幼・保の学区ごとの父母や子ども同士の交流会等のイベント、他県から来ている人などは、幼・保に入るまで、あまり同年齢の子どもと交流できる場が少ない。
- ・ 病児保育の充実。
- ・ 短期で預けられる場所の充実、定期検診以外の時期の相談やセミナー。
- ・ 子どもがのびのびと遊べる、自然環境や公園などの場づくり。
- ・ 鴨川市は公園が少ない！遊具も少ない！
- ・ スクールバスを出すべき！（小学校、鴨川小）、変な人がいる時は、どうしたらいいのか、何かあってからでは後の祭。
- ・ 父親版PTAのおやじの会の充実。
- ・ 子どもを授かる前から知ることが必要です。自分の気持ち、自己肯定感の上げ方。自分も他人も認める事。子どもの心と体の成長。父親も母親も、おじいちゃん、おばあちゃんも、母親の気持ちと現状。PTAの活動を軽減する。目的必要性を見直す。

問 21. あなたが職場に求める出産・子育て支援の制度や取組は何ですか？

【主なもの3つまでに○】

・職場に求める出産・子育て支援の制度や取組としては、「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」が 58.1%と最も多く、次いで「社内託児所」が 41.9%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）	58	97	2	66	89	2	157	58.1
2 復職制度	40	60	0	46	54	0	100	37.0
3 上司からの育児休暇取得のすすめ	29	47	1	30	46	1	77	28.5
4 社内託児所	31	81	1	44	68	1	113	41.9
5 ベビーシッター、家事支援サービスクーポン	11	34	0	12	32	1	45	16.7
6 時短勤務からの復帰セミナー	5	23	1	15	14	0	29	10.7
7 育休復帰のための研修	6	10	1	10	7	0	17	6.3
8 社内の妊娠・出産経験のある人との交流の場	6	13	0	7	11	1	19	7.0
9 その他	4	10	0	8	6	0	14	5.2
10 特にない	19	7	0	10	16	0	26	9.6
無回答	5	3	0	3	4	1	8	3.0
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0



「その他」の内容

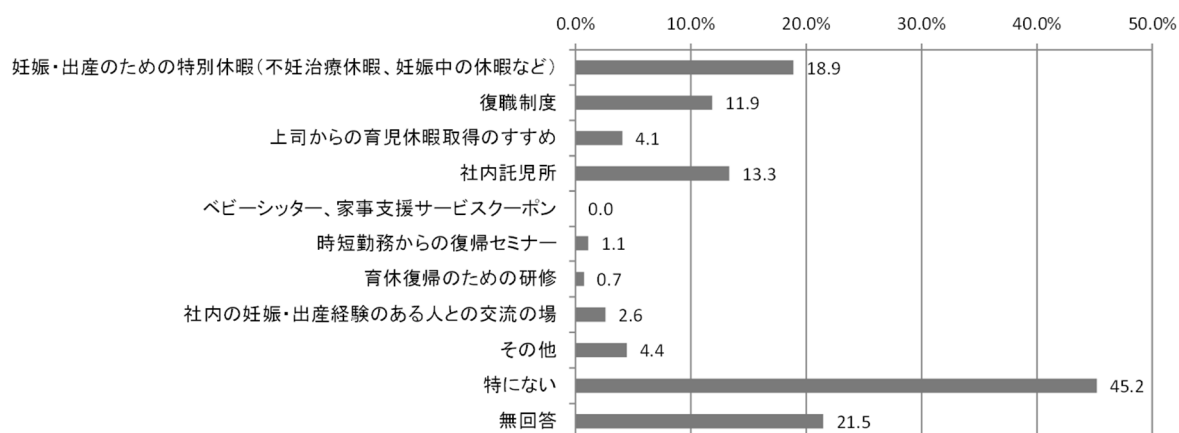
- ・全ての学校で学童や延長保育。
- ・急な発熱などにもフレキシブルに対応できる体制づくり。
- ・育休をとるとクビになる。
- ・出産＝退職と考えている男性上司が多いので、企業向けのセミナー等。
- ・常勤職員でも時短勤務や休暇が取りやすいような体制ができるとよいと思う。
- ・妊婦にやさしい職場・いたわりの環境。
- ・時短勤務などを取りやすい社内風土。
- ・子育て中の人、職と子育てが両立できるような勤務体制の確保。
- ・制度もですが、周囲の人の理解・協力がいる。
- ・祝い金など、経済的な支援。
- ・育休中の経済的支援。

問 22. 今の職場や以前の職場では、出産・子育て支援の制度や取組を利用できましたか？

【あてはまるものすべてに○】

- ・ 出産・子育て支援の制度や取組の利用実績は、「特にない」が 45.2%と最も多く、「無回答」も 21.5%となっていますが、利用できたものの中では、「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」が 18.9%と最も多く、次いで「社内託児所」が 13.3%となっています。

	件数	%
1 妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）	51	18.9
2 復職制度	32	11.9
3 上司からの育児休暇取得のすすめ	11	4.1
4 社内託児所	36	13.3
5 ベビーシッター、家事支援サービスクーポン	0	0.0
6 時短勤務からの復帰セミナー	3	1.1
7 育休復帰のための研修	2	0.7
8 社内の妊娠・出産経験のある人との交流の場	7	2.6
9 その他	12	4.4
10 特にない	122	45.2
無回答	58	21.5
総数	270	100.0



「その他」の内容

- ・ どのような制度があるのか不明。
- ・ 利用できなかった。
- ・ ツワリがひどくて仕事ができないのですが、有給や疾病届けなど、薦めてくれます。
- ・ 育休。
- ・ 病児保育室（職場の）、土曜午後の預かり保育。
- ・ 仕事の都合上、経済的理由上、辞めるか、無理して仕事するしかない。

問 23. 総合的にみて、鴨川市は住みよいところだと感じますか？【1つに○】

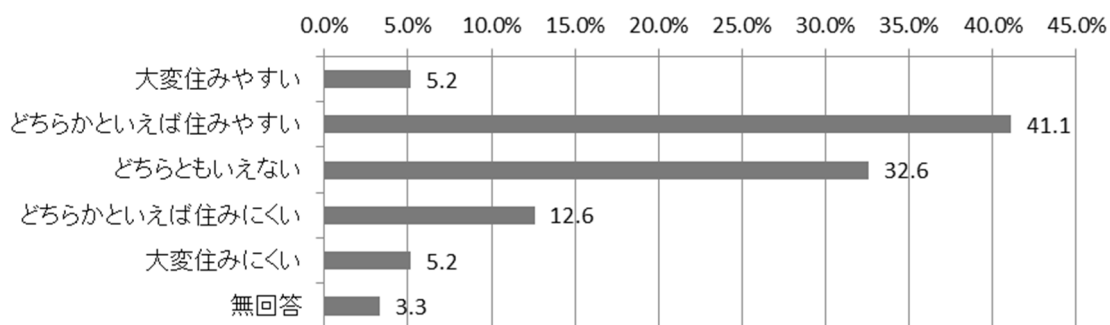
・総合評価としては、「どちらかといえば住みやすい」が41.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が32.6%となっています。

		件数						総数	%
		男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1	大変住みやすい	7	7	0	7	7	0	14	5.2
2	どちらかといえば住みやすい	43	66	2	45	66	0	111	41.1
3	どちらともいえない	31	57	0	34	54	0	88	32.6
4	どちらかといえば住みにくい	13	21	0	18	14	2	34	12.6
5	大変住みにくい	5	9	0	5	9	0	14	5.2
	無回答	6	3	0	3	5	1	9	3.3
	総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0

		出身地 件数				総数	%
		鴨川市内	千葉県内	千葉県外	無回答		
1	大変住みやすい	10	1	3	0	14	5.2
2	どちらかといえば住みやすい	75	15	19	2	111	41.1
3	どちらともいえない	57	15	14	2	88	32.6
4	どちらかといえば住みにくい	18	7	9	0	34	12.6
5	大変住みにくい	8	1	5	0	14	5.2
	無回答	7	2	0	0	9	3.3
	総数	175	41	50	4	270	100.0

住みやすさ×子育て環境 (件数)	子育て環境の満足度						総数
	とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満	無回答	
大変住みやすい	2	5	5	1		1	14
どちらかといえば住みやすい	0	17	70	16	2	6	111
どちらともいえない	0	8	59	14	2	5	88
どちらかといえば住みにくい	0	0	16	10	4	4	34
大変住みにくい	0	0	5	1	7	1	14
無回答	1	0	4	0	0	4	9
総数	3	30	159	42	15	21	270

住みやすさ× 出産しやすい環境づくり (件数)	出産しやすい環境づくりへの支援(複数回答)						総数
	産休・育休制度の充実	妊娠・出産に関する相談・地域のサポート体制の充実	妊娠・出産時の経済的負担の軽減	支援は必要ない	その他	無回答	
大変住みやすい	10	5	9	0	1	0	14
どちらかといえば住みやすい	88	56	95	1	6	0	111
どちらともいえない	71	44	75	0	9	0	88
どちらかといえば住みにくい	26	13	26	0	6	1	34
大変住みにくい	10	5	12	1	2	0	14
無回答	2	2	3	0	0	6	9
総数	207	125	220	2	24	7	270

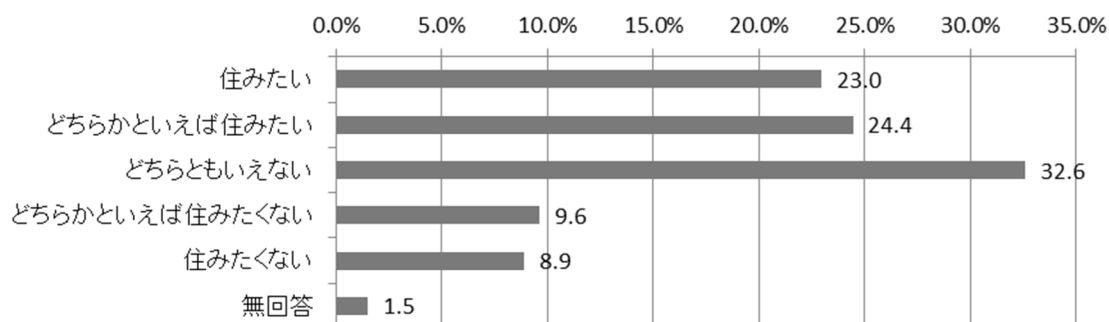


問 24. あなたは、ずっと鴨川市に住みたいと思いますか？【1つに○】
また、その理由もお書きください。

・定住意向は、「どちらともいえない」が32.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みたい」が24.4%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 住みたい	34	27	1	17	44	1	62	23.0
2 どちらかといえば住みたい	26	39	1	31	35	0	66	24.4
3 どちらともいえない	30	58	0	38	50	0	88	32.6
4 どちらかといえば住みたくない	8	18	0	12	13	1	26	9.6
5 住みたくない	6	18	0	12	12	0	24	8.9
無回答	1	3	0	2	1	1	4	1.5
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0

	出身地 件数				総数	%
	鴨川市内	千葉県内	千葉県外	無回答		
1 住みたい	53	4	3	2	62	23.0
2 どちらかといえば住みたい	43	10	11	2	66	24.4
3 どちらともいえない	53	19	16	0	88	32.6
4 どちらかといえば住みたくない	13	3	10	0	26	9.6
5 住みたくない	10	4	10	0	24	8.9
無回答	3	1	0	0	4	1.5
総数	175	41	50	4	270	100.0



定住意向×子育て環境 (件数)	子育て環境の満足度						総数
	とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満	無回答	
住みたい	3	14	25	15	0	5	62
どちらかといえば住みたい	0	12	40	9	3	2	66
どちらともいえない	0	2	69	9	4	4	88
どちらかといえば住みたくない	0	1	11	6	5	3	26
住みたくない	0	1	12	3	3	5	24
無回答	0	0	2	0	0	2	4
総数	3	30	159	42	15	21	270

定住意向× 出産しやすい環境づくり (件数)	出産しやすい環境づくりへの支援(複数回答)						総数
	産休・育休制度の充実	妊娠・出産に関する相談・地域のサポート体制の充実	妊娠・出産時の経済的負担の軽減	支援は必要ない	その他	無回答	
住みたい	47	31	52	0	3	2	62
どちらかといえば住みたい	55	28	55	1	3	1	66
どちらともいえない	62	43	70	0	11	2	88
どちらかといえば住みたくない	25	10	20	0	5	0	26
住みたくない	16	13	22	1	2	0	24
無回答	2	0	1	0	0	2	4
総数	207	125	220	2	24	7	270

定住意向×住みやすさ (件数)	住みやすさ					無回答	総数
	大変住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	大変住みにくい		
住みたい	10	37	10	2	0	3	62
どちらかといえば住みたい	1	43	19	1	0	2	66
どちらともいえない	2	26	47	12	0	1	88
どちらかといえば住みたくない	0	4	6	12	4	0	26
住みたくない	0	1	6	6	10	1	24
無回答	1	0	0	1	0	2	4
総数	14	111	88	34	14	9	270

「理由」の内容

住みたい

○自然環境が豊か

- ・自然環境が豊か。(3)
- ・土地・建物・田んぼがあるから。
- ・環境の良い所だからです。(2)
- ・他にも住んでみたいが、気候、環境が良いので、それに土地もあるので残って住む。
- ・交通の便が不便なところもあるが、海は近いし、緑は多いので良いと思う。

○災害が少ない

- ・災害が少ない。気候が良く自然がある。医療が充実している。
- ・災害が少ない。地元だから。

○生まれ育った地元だから

- ・生まれも育ちも鴨川市なので。(5)
- ・両親がいるので。
- ・自宅があるから。(2)
- ・生まれた場所であり、育てられた場所であり、働く場所であり。(2)
- ・家を持ち、子どもの実家にしたいから。
- ・小さいころから生まれ育ち、お互いの親も市内にいる。普通に生活するには穏やかな環境でとてもいいと思うので。子どもを育てるのに、祖父母や近所のおじいちゃんおばあちゃんに囲まれ、助けられているので。
- ・生まれ育ったふるさとはやっぱり気持ちが落ち着く！
- ・今までずっと暮してきていますが、不便と思ったことが一度もないため。ただ家賃が少し高いと思う。

○便利である

- ・自然豊かで、ほどよくお店もあるので。
- ・医療の充実はこれから歳をとることを考えるとかせない。大きな災害がなく、温暖でどこかで住みやすい所だが、高齢化を考えるともっとインフラ整備をしたらいいと思う。
- ・他市（近隣）に比べ子育てしやすい環境だと思う。
- ・自然や人間関係、職場に恵まれているから。
- ・大きな施設はないが、衣・食・住はだいたい揃っているのだからいいと思う。自然に恵まれているので子どもたちものびのびできるから。
- ・環境が良い。ただ、税金等、経済面で生き抜いていくには厳しい現実がある。
- ・自然環境が素晴らしいから。行政的に言うと、あまりいい市ではない。市民税は高いし、雇用する会社が少なすぎる。他の場所に出て行った人は、帰って来ても、働く場所がないし、賃金が安い為に帰って来られない。移住したい人も同様の理由で住むことが出来ない。

○その他

- ・出来る事なら鴨川市内に住みたいが、彼女が難病指定の病気にかかっている、特定の病院にかかっている。結婚したらその病院の近くに引っ越す予定なので、鴨川市内に住み続けるのは難しい。
- ・他に住みたいと思う所がない。
- ・他の地域に住んだことがないので比べられない為

どちらかといえば住みたい

○自然環境が豊か

- ・自然の豊かさ。
- ・田舎だが、落ち着く。
- ・自然環境は良い。
- ・自然が多く、食べ物もおいしく、海もあり、都内にも行こうと思えば行けるし、良い所だと思います。
- ・海と山が好きだから。
- ・景色がキレイだから。医療施設が充実しているから。
- ・温暖、自然、医療環境の充実。
- ・しっかりした雇用があれば住み子育てしたい。自然の美しさ、食べ物の豊かさ、いいところだと思っています。
- ・自然も多いし、子どもには住みやすいと思います。
- ・自然が豊かで、移住者も多いので、地元の方々も理解がある。
- ・自営でやっているし、鴨川の自然とかはとてもいいと思うから。
- ・のんびりしているから。

○地元だから、コミュニティができていくから

- ・生まれ育ったところだから。(3)
- ・生まれた場所が一番に落ち着くから。
- ・妻の実家に住んで子どもも鴨川が地元となったため。
- ・生まれも育ちも鴨川なので、他を知っていたら、又考えが違ってもいいかもしれない。海・山があり、子育てには最適かと思う。

- ・両親もいるし、生まれた土地なので、住みたいが、今後どうなるかわからない。
- ・20年以上も住めば…
- ・持ち家だから。(2)
- ・出身地でもあり、友人も市内に多いので。
- ・大学4年間以外はずっと鴨川に住んでいる為、住みなれた町で生活していきたいと思っています。結婚することになれば、市外で生活することになると思いますが、老後はまた鴨川に戻ってきたいです。
- ・子どもが築いてきた友達関係をこわしたくないから。
- ・子どもが未就園の時は育児環境に不満はあったが、小学生になった今は良い人間関係に支えられ住みやすいと感じるようになった。

○生活しやすい

- ・交通の便がいい。(JRや高速バス)
- ・医療の充実と学校環境の安定があるから。
- ・大きな病院があり、生活に必要な施設も整っているから。欲をいえば、もう少し娯楽施設があってもいいと思う。
- ・海が近くにあるので住み続けたいが、もう少し交通の便が良くなってほしいと思う。
- ・転勤による居住なので、いずれ離れないといけない状況にはなるとは思いますが、住み続けていくには、よいところだと思っています！！
- ・意外とお店が多い。
- ・とても住み心地はよいのですが、千葉や東京に赴く際、時間も料金もかかり、交通機関の本数も少ない為、少々迷ってしまう部分があります。
- ・居心地がいい。
- ・特に不便がない。

○転居は考えていない

- ・他の場所に行く理由もない。
- ・子持ちバツイチ、実家に父母同居、介護が待っており、他に行くところなどない。
- ・特別な理由がない限り、年齢的にも今の居住地からの転出は考えていないから。

どちらともいえない

○自然環境は良いが、車がないと生活不便

- ・海や山、気温など環境としては申し分ない素敵な場所だと思う。館山や勝浦に比べると消極的というか、活気がない気がする。行政も意欲的な感じはしない。惰性的？
- ・良い所だと思う。環境も良く、一生住める場所だと思うが、雪山がない、山が高くないから、他の場所にも住みたい。
- ・老後住むにはのんびりと自然に囲まれた中で生活するには良いが、現在は不便な点もある。交通の便などが悪い。
- ・車がないと不便。自然環境は良い。
- ・車がないと生活できないから。子育て環境が変わらないから。山にヒルがいるから。子どもが大きくなれば、その後のことはこれからで良くわからない。

○交通の便が悪い

- ・高速道路が便利に利用できれば、1か2です。鴨川インターが出来る事を切に望みます。
- ・交通の便が悪すぎる。どこへ行くにも遠いし、高速に乗るまでに非常に時間がかかる。
- ・たまに東京など出掛けると鴨川にもどってきてやっぱり鴨川はいーなーと思うが、毎日住んでいるとやっぱり色々不便。自分の家が山奥だから。
- ・高速道路がないので、都心へのアクセスが悪いので、ずっと住みたいとは思わない。
- ・リゾート地としては、最高だと思います。しかし都心までの交通の便を考えると決して住みやすいとはいえない。それは、連休には渋滞があり、道路も二車線しかない。

○実家がある、家を建てた

- ・実家があるから
- ・実家の両親の近く…。
- ・夫が出身地の帰省を望む為
- ・住む環境は、あまりよいとはいえませんが、家を建ててしまったから
- ・生れ育った土地なので、住みたいと思うが、社会制度や育児をしていく過程で移住するメリットがあれば、移住も考える。

- ・鴨川にずっと住んでいるので、都会に出たい気持ちもあります。最終的には鴨川に戻ってくるとは思います。

○就学・就業の関係で未定

- ・学校と仕事の関係。
- ・夫の仕事でどうなるかわからない。
- ・仕事の関係で離れることも考える。
- ・転勤があるのでわからない。
- ・環境は良いが、教育（特に進学先）の面で、子どもが生まれて大きくなったら考える必要がありそう。

○生活が不便

- ・趣味の鉄道に乗るのに不便だから。○○TVが映らない。
- ・不便
- ・道が狭い。ショッピングモールが少ない。
- ・海が近くて空気がきれいなところはとても気に入っているが、生活がやや不便（店が少ない）
- ・ファミリー向けの賃貸が少なく、あっても家賃が高い。今後、収入が少なくなった時など、不安あり、社会人の子どもも一人暮らしを希望していますが、収入が少なく、今は同居しています。
- ・今お借りしている家がいつまで借りられるかわからない

○税金等が高い

- ・住み始めたばかりの為、ガス料金が安い。
- ・まだ、鴨川…長狭に慣れない！わからない事も多い。地元ではないので、自家の町と比べると…むこうが良い。子どもの医療費は、むこうは高校生まで無料。鴨川は4年生からお金がかかる。
- ・人口が少ないので仕方ないと思いますが、税金や水道代が高いので、土地が安くても、他の土地に住むのと負担はかわらない。
- ・税金の問題
- ・高齢になったら、住みやすいとは言えない気がする。地元に戻ることも考えている。
- ・年をとった時、近くに店がなかったり、医療費が高かったり、不便な事が多いから。
- ・休日を過ごす場所がない。水が高い！

○コミュニティの問題

- ・まだ、来て1年と少しなので、なんとも言えません。友達がなくて、近所の人、お年寄りばかり。義両親は、すぐ近くにいますが、友達のようにはいかないので、同年代の人との交流がほしいです。
- ・友人・知人などがいない。近所に若い人がいない。
- ・ずっと住みたい理由はないが、住みたくない理由もない。転勤や結婚など、理由があれば、出ていく。
- ・いろいろな意味で“やさしさ”がないから。
- ・都会のほうが楽

どちらかといえば住みたくない

○交通の便が悪い

- ・交通の便がよくない。(3)
- ・実家から遠い。交通の便が悪い。ゴミ袋代が高い。
- ・出身が神奈川のため、鴨川は少し田舎すぎる。都心に出るのに交通の便が悪く、少し不便。
- ・都心までの交通アクセスの不便、時間がかかりすぎる！JRは特にひどい！高速も鴨川まで延びれば、便利だと思う！
- ・東京などへ行くのに不便のため。鴨川→品川・東京まで直行便のバスがあるとよい。
- ・交通の不便さ、低賃金、物価の高値、128号線の改善。

○就学・就業の場が少ない

- ・田舎すぎる。良い進学校がない。
- ・高校が少なくその先の専門学校、大学へ行くのも交通の便が悪い。

- ・働く所が少なすぎる。娯楽施設がない。車がないと生活できない。賃金が安い。ファッションビルがない。交通の便が悪い。
- ・職場に近い所に住みたい
- ・仕事がない。出会いがない。交通が不便。
- ・仕事が少なく、生活費が高い。

○遊ぶ場所などが少ない

- ・若者向けの施設がない。
- ・買い物に不便（子どものもの）
- ・子どもが遊ぶ公園がほとんどないし、交通渋滞がひどすぎる！！
- ・遊ぶ所が少ない。自家近くに住みたいから。

○生活しづらい

- ・医療費（子ども）がかかる。交通面では、高速まで遠い。
- ・物や税金等が高いので、年金になった時に支出がどうなるか心配な為
- ・不便。制度・サービス・施設・交通・安全等、いずれも不満。
- ・田舎な所はとても気に入っているが、その割に家賃が高く、住民税も高く、都会に出るには有料道路を通らなければならない。
- ・地域コミュニティ、自治会、その他の「つながり」が都市部に比べて多い。

住みたくない

○交通の便が悪い

- ・交通の便が不便だから。
- ・物価の高さ。公共交通機関の不便さ。高速道路が無い。すべてにおいて住みにくい。
- ・車を持っていないと生活が不便。職場から家までの道のりに街灯は少なく、夜道がこわい。商業施設も少ない。
- ・暮らしづらいから。東京まで出ようにも時間がかかる、移動に時間がかかっては目的が達成しづらい。リゾート地としては良い所だと思うが、職場がなければ住みたくはない。
- ・たまに帰省するくらいがちょうどよい。車がないとどこにも行けないし、職があまりないから。
- ・一時的に住むには、非常に良いところだが、交通の便が不便であり、一生は住めない。
- ・車が無いと不便だけど、時間や季節によっては車だと不便になる。
- ・東京からアクセスが悪いから。(2)

○働く場がない

- ・高い所得を得られる職場がないから。
- ・就きたい仕事（会社）がないから
- ・安定した職場がない。市役所で雇ってくれるなら鴨川に永住してもよい。

○生活しづらい

- ・コンビニや、若者が気軽に遊べる所がない。電車で少し行って遊べる場所があるわけでもない。
- ・魅力的な飲食店、商業施設がないから。
- ・同じ海沿いなら湘南、逗子に住みたい。
- ・必要なお店等がなく、館山まで行ったり、千葉駅まで出たりと遠出をしなければならないから。
- ・自然がたくさんなのは良いが田舎すぎて不便。
- ・住みにくい、生活が不便。
- ・子育てがしづらい環境だから。
- ・人のウワサ話し、不幸事、ほっておいてあげたい事もペラペラ話す人がおり、そのエネルギーで疲れます。

○その他

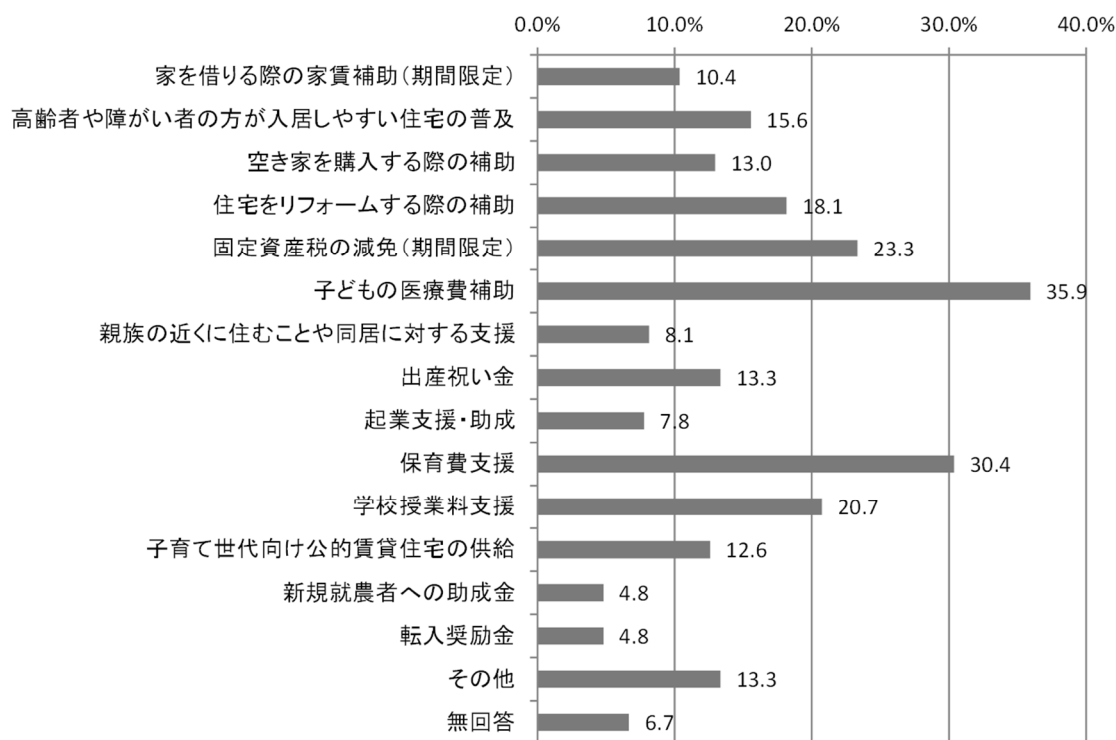
- ・地元に戻りたいから。(2)
- ・いずれは、館山に帰る為。

問 25. 鴨川市に住みたくするために、あるいは、ずっと住み続けたくするために、効果的な支援はどれだと思いますか？【主なもの3つまでに○】

- ・住み続けたくするための効果的な支援としては、「子どもの医療費補助」が 35.9%と最も多く、次いで「保育費支援」が 30.4%となっています。

	件数						総数	%
	男性	女性	無回答	未婚	既婚	無回答		
1 家を借りる際の家賃補助（期間限定）	11	17	0	15	13	0	28	10.4
2 高齢者や障がい者の方が入居しやすい住宅の普及	12	29	1	20	22	0	42	15.6
3 空き家を購入する際の補助	15	20	0	12	23	0	35	13.0
4 住宅をリフォームする際の補助	17	31	1	20	29	0	49	18.1
5 固定資産税の減免（期間限定）	25	37	1	20	42	1	63	23.3
6 子どもの医療費補助	39	57	1	29	67	1	97	35.9
7 親族の近くに住むことや同居に対する支援	9	13	0	11	11	0	22	8.1
8 出産祝い金	16	20	0	11	24	1	36	13.3
9 起業支援・助成	10	11	0	12	8	1	21	7.8
10 保育費支援	32	48	2	29	52	1	82	30.4
11 学校授業料支援	20	36	0	18	38	0	56	20.7
12 子育て世代向け公的賃貸住宅の供給	13	21	0	16	17	1	34	12.6
13 新規就農者への助成金	4	9	0	6	7	0	13	4.8
14 転入奨励金	7	6	0	6	7	0	13	4.8
15 その他	14	22	0	14	22	0	36	13.3
無回答	7	11	0	14	3	1	18	6.7
総数	105	163	2	112	155	3	270	100.0

	出身地 件数				総数	%
	鴨川市内	千葉県内	千葉県外	無回答		
1 家を借りる際の家賃補助（期間限定）	23	2	3	0	28	10.4
2 高齢者や障がい者の方が入居しやすい住宅の普及	25	8	7	2	42	15.6
3 空き家を購入する際の補助	25	3	7	0	35	13.0
4 住宅をリフォームする際の補助	34	8	6	1	49	18.1
5 固定資産税の減免（期間限定）	45	9	7	2	63	23.3
6 子どもの医療費補助	70	13	13	1	97	35.9
7 親族の近くに住むことや同居に対する支援	18	1	3	0	22	8.1
8 出産祝い金	22	5	8	1	36	13.3
9 起業支援・助成	17	0	3	1	21	7.8
10 保育費支援	54	12	12	4	82	30.4
11 学校授業料支援	39	8	9	0	56	20.7
12 子育て世代向け公的賃貸住宅の供給	15	9	10	0	34	12.6
13 新規就農者への助成金	10	1	2	0	13	4.8
14 転入奨励金	6	4	3	0	13	4.8
15 その他	16	8	12	0	36	13.3
無回答	11	3	4	0	18	6.7
総数	175	41	50	4	270	100.0



「その他」の内容

- ・交通の便や利便性の改善、都心へのアクセスの改善 (5)。
- ・期間限定ではなく有料道路の有料を無料にする。
- ・商業施設を増やす。
- ・街に活気があれば。
- ・公的資金でのCATV導入。
- ・若い人、同年代と交流したい。
- ・若い人達も働きやすい場所等をつくってほしい。
- ・中央との仕事を経済格差の是正。
- ・働く場所を増やす。賃金の値上げ。
- ・職場を増やす、働く会社が無い。
- ・転職や就職が難しいので再就職の支援。
- ・働くところが少ない。仕事をえらべない。
- ・地元企業の賃金（月収）を市役所と同等にする。特に40代以上。
- ・新築の補助、促進。
- ・自分の家が持てる様になる為の支援。
- ・安価な土地（宅地）、安いタクシー。
- ・家賃を下げる。他の地域と比べて高いので。
- ・市民税が高すぎる。袖ヶ浦市を見習え！
- ・様々な経済的支援、年収が変動しやすい職業の人の市県民税の安定など。
- ・住民税の軽減(2)。
- ・減税及び雇用の拡大、生活する上での金銭的支援。
- ・下水、道路、水道の整備。
- ・草かりヘルパー。
- ・介護タクシー等、福祉関係、ソフト事業の充実。
- ・土日、行政サービスが受けられる。
- ・効果的な支援はないと思う。

あなたのご自由な意見やアイデアをお聞かせください。

雇用環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚を妨げている最大のネックは経済力だと思う。所得があまりに低ければ、そもそも交際対象にならない。また交際が続いても低所得であることが結婚を思いとどまらせる。鴨川市には病院（の専門職）、市役所を除き、高い所得を望める働き口がない。どんなに婚活パーティを開催したところで、根本的な要因を解決しなければ焼石に水なのではないか。中～高所得者を移住させた方が早い。元々、東京の大手企業で働いていたが、結婚を機に鴨川へやってきた。東京へのアクセスが悪く、通勤が難しかった為、会社を辞めざるを得なかった。始発の「わかしお」は9時半過ぎにしか東京駅に着かない。また、帰りのわかしおも本数が少な過ぎて、19時の特急を逃すと21時まで特急がない。片道2時間を有効に使うにはバスは選択肢にならない。雇用のない鴨川にわざわざ仕事を辞めてまで移住する人が限りなく少ない。ところが東京で働く人を住ませるにはあまりにアクセスが悪い。せめて9時の始業に間に合う特急がほしい。せっかく首都圏できれいな海に面した土地でありながら、非常にもったいないと思う。正直、一刻も早く鴨川を出たい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が都会へでていくのは、地元の仕事がなく、魅力がないからだと思います。地元にいるお年寄りの方もイキイキ生活していける鴨川市になれば、ずっと安心して住み続けたいかならないのでしょうか？
	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと就職の場が増えるとよい。賃金が安い、補助がないとつらい。市内の空き家などを、なんとかして、子どもが増えるとよい（住んでくれる人を増やす）。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共料金等は少し上げてほしい。病院だけではない、もう少しちがった職種の会社等があるといいと思うので、起業などを誘致してみても良いのではと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの施設の増設や支援をするのは、いいのですが、若者が住みたくなくなるような町ではないと思います。若い人は、都会で働かざるをえない環境だと思います。東京などで専門的に勉強をしても、それを活かせる職場がないので、地元で就職したくても、できません。賃金も安いし、これでは結婚どころではありません。自分一人生活していくのがやっとです。消費税など税金は高くなるのに賃金は安いまま、働く場所もなく、鴨川を出ようか考え中です。鴨川に住んでいるのは、実家が鴨川だから、今はこれだけの気がします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が移住して、それぞれの店を持つこと。スーパーマーケットやホームセンターも必要だが、住んでいて「今日はどの店へ行こうかな？」と考えるのが小さな幸せ。手に職をもった若者、センスある若者に移住してもらえよう助成金、空き家の提供などが必要なのではないかと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した収入が得られるような仕事がないと地元に戻れない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が多く、同時に子育て支援について考えるのは大変かと思いますが、自分と同世代の人々は多くが上京などをして離れてしまっています。若い世代の人が離れずに、仕事のできる場所にすることも将来的な人口減少を抑えることに繋がるのではないかと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・このままでは美しい里山がなくなってしまう気がします。高齢化した農業を変えるためにも、新規就農者、酪農、漁港関係の支援、助成金が必要だと思います。東京近郊でこんなに自然豊かで歴史がある場所を継続させないのはもったいないです。第1次産業から第6次産業につながるような本格的な取り組みをしないと、衰退していきただけだと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市の外れでは支援にならないと思います。せめて駅から歩いて10分ぐらい。支援はないけど企業を鴨川市に呼ぶべきだと思う。でなければ若い人は出ていってしまうと思う。まず仕事！
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで子育てにはとても良い環境だと思いますが、社会人となった時、家族を養うために必要な収入を確保するための仕事が豊富にあると定住者も増えると思う。現在、市外へ通勤していますが、市内で良い仕事があれば家族との時間も増え、もっと子育てに参加できるが・・・。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会にむけて、定年退職後に無理なく働ける場の提供。介護に高齢者を、例えば高齢者の外出の付き添いや掃除の手伝いなど。学校の統合などで高齢者が子どもとふれあう機会がなくなってしまったので、地域で高齢者と子どもがかかわれる場所や機会があればいいのでは。

新たな魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> 私は生まれてからずっと鴨川市民でいて、引っ越す事もなくこの土地で生活していて海と山があり、自然がある環境に生まれ満足しています。
	<ul style="list-style-type: none"> 休日はほとんど市外に出かけます。公園は君津や富津の方が充実しているからです。水族館と病院以外の何か“ここにしかないもの（イベント等）”が必要だと思います。他所と同じでなくてもいいなら、私なら楽市楽座のような商業特区にします。毎週土日、1日商店街を勝浦の朝市のようにしますね。何でも有で。
	<ul style="list-style-type: none"> 他市町のいいところをどんどんとり入れてみてはどうか？若い世代が引っ越してきやすいようにすれば高齢化にも多少対応できていくのでは？水族館には人がくるが、とどまらず、あくまでレジャーなので、とどまる様に日常生活に必要で、実あるレジャーがあるといいと思う。映画館などあるといい。自然には恵まれており、上記のような+αがあるといい。子どもと一緒にいかに親やじいじ、ばあばが住み暮らせるかをメインに考えていてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> 他市町村へのアクセスの充実を図ってもらいたい。鴨川市民を対象とした『宝くじ』の公布、賞金の分配。『鴨川Day』の制定—食品や飲食品のスーパーセール、各店舗の活性化を図る。労働者の休日制度→鴨川に住んでいて良かったと思える1日を作る。観光姉妹都市への旅行時の優遇制度。保養施設の利用料金助成。医療費助成制度—鴨川市民チケットの提示（生活しやすい町づくり）
	<ul style="list-style-type: none"> 小湊中の跡地をそのままにしておくのはもったいないので、子どもの遊び場として支援センターにしてみたらどうですか？
	<ul style="list-style-type: none"> 観光客をよぶために、フィッシャリーナに“ばんや”的な物を作りそこに、みんなみの里も移設し、海産物、農産物またそれを食べられる食堂を作り、観光客を呼ぶ大型施設をつくった方がいいと思う。そこに行けば鴨川の海の物、山の物が一度に食べられ、買う事が出来る様になれば、相当の収客及び利益が出ると思う。観光客がたくさん来る事によって、ホテル業、飲食業などが潤い、それに付随して建築業や他の業種も潤っていくと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川市横渚にこれからコンビニが出来るのがうれしい。住みやすい町づくりにするために、お店をたくさん駅付近に作り、にぎわってほしい。やっぱりお店があれば、人は戻って来るし、やってくる。遊園地への直行バスを走らせてほしい。鴨川市民は、交通の不便さから、なかなか遠出をしたがらないため、これからのより良い町づくりを応援しています。
まちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> お花の水やり etc 色々小さなボランティアで交流を増やす。木やお花をもっともっと町に増やす。公園を増やす。みんなが使えるミドリいっぱい。アンケートを色々またやってみる！御苦勞様です。良いデータがとれますように。
	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代（世帯）の支援も重要だと感じるが、そこばかりに公金が集中するのもバランスが悪いと思う。市民が安心して生活出来れば良いと思う。外に目を向けるのも大切だが、内側に目を向けて、少しずつでもいいのでより良い鴨川になって欲しい。ポテンシャルは充分ある（と思う）ので、市内外から鴨川って良いね！と言われる町づくりを心掛けて欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域を活性化するためには地域コミュニティの向上、開発等、やるべきことはたくさんあると思います。付加価値をつけるためにも利便性を重視した町づくりをして下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が「ずっと住みたい」と思わないのは、やっぱり気軽にみんなで遊んだり、お買い物したりできる場所がないからだと思います。学校の友人も、「鴨川で働いてみたいけど、この環境でずっと楽しく生活できる気がしない」という子が多いです。社会の目は高齢化に向いていて、それに合った社会や地域づくりを目指すのも大切だけど、今の小さい子がずっと住みたいと思うには、鴨川は違うと思います。移動手段が自転車しかない学生にとっては、楽しいと思える遊び場所は少ないです。しかし、細かく見てみると、高齢者が「居やすい」と思えるような場所は、結構あると、思っています。鴨川は急なカーブや細い路地が多くて、いつも危ないから、それも住み続けたくないと思う中の一部です。
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川合同祭のPRに力を入れて下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> 結婚や定住についての情報をオープンにする事で、何か興味を持つ人が増えるのではないかな。
	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川市の取り組みが、よく見えていないので、知りたいと思います。「自分の住む所は良い」というのが理想なので、自分からも働きかける場を作りたい。

交通環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便が良くない（都内に出る時、館山道のインターが遠い）。道路（市道）走りづらい。所によっては狭い。 定住を求めるのであれば、交通網の改善が必要。渋滞がひどい所には住みたくないです。鴨川市の市政に対する本気が全く感じられない。 色々な面で出来る限り、色々と支援してほしい。都内などへ行くのも、もっと交通の便が良くなれば、通勤などの範囲も広がると思う。母子家庭でも子どもを育てていけるように、もっともっと支援してほしい。母子家庭でも住みやすい町、住みたい町にしてほしい。
道路・歩道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川有料道路を無料化してください。 通学路で使う道が（主要道路）徒歩、自転車では危ない道が多く、整備してほしい。国道を自転車で走る中学生はかなりきわどいところ走っているなあと思います。長狭高校の所の歩道橋も穴だらけでボロボロ・・・ 地域性のものなのか、通園・通学を車で送迎している家庭が多いことに驚きました。スクールゾーンなのに、歩道がないに等しい場所も多く、子どもの安全を確保できるよう道路整備をお願いします。 私は車を持っていないが、鴨川市民になって4年が経つが、車を持っていないと本当に不便な町だと感じている。又、道路も整備されていないところが多く、ボコボコで雨の日は水たまりもひどく、歩くのも大変。狭いために車が行き交うところを歩くのも危険。でもそこしか歩くところもない。子育てしやすい環境を目指すのであれば、子どもが安全に歩ける道も必要なのではないか。 道があまり整備されていず、とくに徒歩の場合、歩道が狭すぎて怖い。対面ですれちがう時も、よけない人や自転車がほとんどです。（そういう教育・マナーなどはどうなっているのでしょうか？）整備が難しくても、お互いゆずり合うような社会であれば充分対応できるはずだと思います。人口が減少しても、ソフト面でできることはたくさんあるかと…。バスの路線図（詳しく記載されているもの）のようなものが欲しい。ネットでしか見られないので。 道路が狭く、子どもの通学路に歩道がないのが、事故につながりそうで心配です。
婚活の強化	<ul style="list-style-type: none"> 若い独身者のための婚活をもっと細かくわけて（犬好きさん、猫好きさん、アウトドア好き、読書好き、映画好き、料理好き e t c）など共通の話題から入っていけるようなものを企画してみてもいいでしょう。
保育環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川は気候も良く、生活するための買物も便利になってきたと思いますが、反面、中心地から離れると、道路事情が悪く、空き家、廃屋が見られます。実家などは、車がないと、困る生活をしています。空き家バンクなどがあると、わかりやすいと思いますし、移動販売の車などあれば、高齢者の方や、子育て中の方なども、安心して生活できるのではないのでしょうか？あと、子どもが病気になった時など、一時預かりしてもらえる場所があると、働くお母さん方は、安心かと思います。 女性が働くためにまず子どもを安心して預けられる所を設けてほしい。子どもが小さいと職探しの時点で限られてしまう。又、学校以外の保育・預かってくれる所、施設等も充実させてほしい。学童保育（高学年も含む）。 学校行事等、親が参加する事が多すぎて、仕事を持っていると大変なので、子どもを数人ほしいと思っても、ためらってしまう。PTAとか自由参加にしてほしい。強制しないでほしい。鴨川保育園の老朽化がひどい。もっときれいにしてほしい。駐車場も少ないし、送迎の時など大変である。中学校のように移転して、津波の心配しない場所にしてほしい。幼児はにげられない。中学生は走れるけど！！市役所をリフォームする前に保育園を先にリフォームして。こんなアンケートにお金をつぎこむなら、保育園をなおしてほしい。 病後児保育を行ってくれる施設があると助かる。病院、買物に行くのも全て車が必要。高齢者のために、送迎的な支援が充実してくれれば…と思います。 品川区の保育園や学童を見て来てほしい。誰か一人でもよいから現役で働いている人が。市のお金の問題があるかもしれないけど、見て知ってほしい。鴨川市は保育園を悪いものだと思っている。保育園の先生ですら。そんなことはない。誇りを持ってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが幼稚園に上がれば、親同士のつながりができ、お互い預けたり、話したりでかなり育児の大変さは軽くなります。0～3歳までの育児がとても大変でしたので、その支援が厚いと子どもを産み育てようと考えられる地域になると思います。働く親のための保育園の確保も必要ですが、在宅の母子のストレスもかなりのものです。特に転入者、核家族となると、体調が悪くても病院すら行きません。ちょっとしたストレス解消のためにも気軽に使える一時保育をお願いしたいです。民間施設で一時保育もはじめるようなので期待しています。選択肢は多い方が良いと思うので、1つ提案です。①支援センターでファミサポの方がみることが出来るようにする。子どもにとっては慣れた場所なので、預ける方も安心できます。あと②傾聴ボランティアの育成。支援センターへの応援←（君津市ではあるようです）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">保育環境の整備・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的と必要性を見直すことが、私は大切だと思っています。水道の検針は社員がするなど、その他の無駄を見直してほしい（外部への仕事依頼の金額を見直すなど）。観光の他にも力を入れてほしい。出産率を増やす他に鴨川に定住する人、したいと思う人を増やして欲しい。公園で放水をしてほしい。子育て広場を広げてほしい。増やしてほしい。ファミサポや一時保育は手順をふむ時間、期間が必要となる。信頼関係をこれから築く（人に預けなければならない）。支援センターなどでファミサポの人に見てもらえる様にしてほしい。一時保育できる場所を2、3ヶ所増やしてほしい。慣らし保育なしでも預かってもらえるようにしてほしい。急用があるため。支援センターを2、3ヶ所ふやしてほしい。一時預かり、昼寝できるようにしてほしい。PTA活動を見直してほしい。子育てに影響があります。プール当番のために小さな子どもだけを留守番させている家もあります。日頃の生活だけでも（宿題や持ち物確認や同意だけでも大変なので）。昔のように、外に出れば野球やサッカーができる訳ではありません（現状）。市民プールをなおして入れるようにしてほしい。委員として、子育て中の母親を数名入れて下さい。意見を吸い上げられたとしても、描く時にも当事者の現状や見解が必要だと思うので。是非当事者の気持ちと現状を把握していただけます様、よろしく申し上げます。館山市元気な広場のコーディネーターを招いていただきたい。子育て中の母親の現状、多くの母親のいろんな気持ちをご存知だからです。（母親の気持ちと現状を知った上で、計画しなければ根本的な解決が出来ない為） ・支援センターが行っていた誕生日会がなくなったのが残念でした。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">子育て支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川はいいところだと思っています。しっかりした雇用、子育て支援の充実を望みます。若者と高齢者が手を取り合って住んでいる市となるようにしてほしいです。 ・運動施設の充実や新しい設備など、いろいろなものを作ろうとしているようですが、一般市民にははっきりいって関係ない。税金の無駄づかいとしか思えません。もっと一般の人たちの生活に目を配り、寄り添っていくと何が必要で何がいらぬのか、どんな支援が必要かわかってくると思いますが…。実際、市営球場も体育センターも一般の人は後回しのよう？使いづらいと言っています。鴨川市の子育て支援が本当に子どもにとって幸せな支援になっていると思えません。親にとっては楽になり、いいことかもしれませんが、誰が子どもを育てていくのでしょうか。そんな風に育った子どもの心が心配です。 ・根本的に就労環境が大きく変わってしまったと思う。個々の人間が大切にされない様な現代では、家庭を持ったり、育児をしたり、当然のごとく困難極まりないと思う。働き手が社会の中で尊重され、人としての当り前の生活が確保されることで、その家族をいたわり、愛情がそそげるものだと思う。そして、しっかりと愛情を受けて育った子どもは、次の世代につなげていけると思う。実際、施策としてはどれも偏りがあってはならないと思うが、現代の負の連鎖が、少しずつでも解消していけるような、根っこの改善対策を望んでいます。 ・子ども達の学力向上の地域や学校教員支援 ・高齢化にともない、子どもへの支援が減らないよう、対策してほしいです。食の安全、安心は親の願いです。給食などの地産地消化、添加物や農薬の少ない食品の導入をお願いします。 ・育児支援に対しては、まだまだです。 ・3人目以降の出産祝い金を増やしてほしい。保育園の費用を安くしてほしい。

子育てに関する経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが欲しいと考えてはいますが、やはり1番心配なのは経済的なことです。子どもひとりひとりに充分なお金をかけ教育するのが理想ではありますが、現実はその甘くないと思います。経済的な援助に重点をおいた取り組みがなされることを期待しております。
	<ul style="list-style-type: none"> 田舎なのに土地やアパートの料金が安い。お店が少ないため若い人が住み続けにくい。また妊娠～出産までにも高額な医療費がかかり、その後の保育料も高く、子どもを多く持つ事を躊躇する原因となっている。3人目出産の祝金も少なく、他の自治体みたいに100万円くらいは出してもいいと思う。正社員として働くためには19時くらいまで預かってほしいが、地区によって違うため困る。高齢者ばかり優遇されているので未来を担う子ども達のためにももっと経済的支援が必要だと感じる。周りには2人の子どもを持つ夫婦は多いが、3人目となると経済的に無理と諦めてしまっている方が多い。妊娠～出産の支援をお願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭への援助をもう少し考えてほしい。仕事（養育費は支払われていない）をしなければ育てていけない為、親と同居をしているが、合算収入で計算されてしまうため、手当てを受けられない。住民票を別にし、同居しているにも関わらず、手当てを受けている人がいることを知り、とても不満。一生懸命働き、その税金でまかなわれている生活保護者、私たちよりよっぽど裕福な暮らしをしている様に見える。適当に働き、我慢せず好きなことをし、生活が苦しいから生活保護申請をする。その方が楽だからと・・・そんな話を聞くと、腹が立つ。自分たちでなんとか生活を切りつめている人と生活保護受給者の生活の質、命の価値の違いがあるように思う。税金の使い方をもっと考えて欲しいと強く願います。自分の生活に必死で、結婚など考えていられません。そんな問題は個人の考え方が強いと思いますので、アンケートにする内容でもないと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> こどもの健診など助成があると助かります。歯科検診等、定期的に実施してくれるとうれしいです。（助成があるとより助かります）保育園入園前のこども（同年齢）が集まりミニ遠足など他県で行われている話を聞き、いいなと思いました。保育園の園解放の日数ももう少しあったらと思います。（曜日指定等なかなか仕事の都合がつかず行けない状況です。）
	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川市は子育て分野への予算の配分が少なすぎる。子どもはその地域（市）の宝であって、もっと大切にしなければいけない。出産から育児までに係る費用は相当なものであって、皆出産をためらっている。（出産費用50～70万？出産一時金42万円では裕福な家でなくては出産に踏み切れず、また出産後もオムツをはじめ相当の出費がかかる。）⇒先進事例を参考に鴨川市独自の「子育て施策」を打ち出し、大々的にPRした方が良いと思います。（北海道福島町）出産祝金第1子5万、第2子20万円、第3子100万円（うち30%は町内商品券）⇒本市の第3子20万円は形骸化していて、知らない人も多く、意味をなしていないのでは。（埼玉県北本市）0歳児おむつ無料化事業。子からプレゼントされるクーポン券により、希望する紙おむつと交換できる。（市内ショップにて）⇒いたってシンプルですが、世のお母さんがたはこういうのがとってもありがたく、うれしかったりするものです。実際に北本市ではこの施策の評判は相当良いようです。地元商店もうるおう施策です！！
	<ul style="list-style-type: none"> とにかく経済支援。実家住まいの母子家庭は多いと思う。その子ども達が鴨川に帰って来てくれ、地域社会に貢献してくれるためには、子ども時代に鴨川に良い思い出がなければいけない。親の環境もそうだが、高校卒業までの子どもを取り巻く環境にも気を配ってあげてほしい。スポーツ少年団やスイミングなど（用具購入・初期費用）に補助金を出すとか、習い事の月謝に補助をするなど。経済的に苦しいと、子どもに学校+αをしてあげられない。経済格差が成長格差になってはならないと思う。
医療費助成の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの医療費の補助、助成は是非拡大していただきたい。（都内に住んでいた頃は、義務教育まで（中3まで）基本的に無償でした。）私も微力ながら、鴨川市の発展のため尽力したいと思います。お仕事本当にご苦労様です！
	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川は不便（交通や商業施設）なわりに、公共料金が安く、賃貸住宅の家賃が高い。せめてなにかとかかる子どもの医療費は中学校まで無料だったらいいのに…と思います。
	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育・障害児の施設をもっと充実させてほしい。受給券の年齢が低いので中3位までカバーしてほしい。学校の保護者の役割が多く、仕事を休まなければならない事が多い。母親の休みのほとんどが子どもの行事や通院等に使われ、休む時間がなく、体力的にも精神的にもきついと思う事がある。アンケートをとっても結局何もかわらない気がする。

公園や遊び場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、帰省した際に、「どんぐりハウス」（横浜市港南台北公園こどもログハウス）という所へ子どもを連れて行きました。木の温もりにあふれたログハウスの中は、様々な工夫がされていて、猛暑で熱くなった屋外の遊具でなかなか体を動かす遊びができなかった子どもがのびのびと元気よく遊んでいました。熱中症の心配なく体を動かして遊べる場所が鴨川にも欲しいと思いました。屋外の公園でも、館山の城山公園の様にアスレチックの様な木材でできた遊具があると、プラスチック製の遊具の様に熱くならず利用できると思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が自由に使える屋内遊技場をつくる。廃校になった校舎、体育館、などの活用。ゲームばかりしている子どもが増え、体力が年々低下している為。
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園に通っていない子が平日に遊べる、コミュニケーションが取れる所が、イベントを含め支援センターや市ではない団体が開くイベント以外ほぼない。ママ友とよく支援センター以外、公園以外に子どもを連れて遊びに行けるところがないね。と話しが出来ます。支援センターのイベントも数が少なく、増して欲しいです。夏は公園で遊べないので困っています。出産祝い金3人目から20万？は嬉しいですが3人目から20万だけではとても足りません。なので、3人目からもらえても現実的に考えられません。鴨川に住みたいと思えるのは、ここで育ったことだけです。それだけです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・問15でも書きましたが、子どもを遊ばせる場所が本当にないです。館山や南房総市でも同じくないので、小さな子どもを持つお母さん方は皆さん困っています。公園や室内で遊べる施設を造っていただきたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に鴨川は地元なので特に不満はありませんが、ムダに保健料やアパート代が高いかと思えますし、雨の日に子どもを連れて室内で遊べる場所が全く無くイヤです。最近鴨川市にはドラッグストアが4軒できますが、そんなに薬局って必要ですか？市民の為だとは思いますが、「子どもの為」という考えはないのでしょうか？是非雨でも晴れた日でも遊べるような所をつくってほしいです。というより子ども達の為につくって下さい。お願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が遊べる場所を増やす ・市民のための施設があればいいと思う。市営温泉やスポーツ施設、鴨川市民であれば安く利用できます、というものがなさすぎる。夏のプールも行ってみれば帰省などで他所から来た人が多い。
地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川に来て、1年と少し。慣れてくると、周りに友達がいなくて、孤独になる時があります。気づくと、主人としか話していない時もあります。実家も近いので行きますが、頻繁には行けません。仕事をしていれば、楽しくて気がまぎれますが、今妊娠中の為、ツワリもひどく家に閉じこもっている事が多いです。義両親は近くにいる、とても良くしてくださっていますが、実家のように、甘える事ができません。嫁いで来ている身で、あまり実家に頼ってばかりも主人や義両親に悪いと思ってしまいます。できれば鴨川にずっと居たいので、もう少し30代~40代で同じような境遇の人と交流を持ちたいです。これから、子どもも出産し、子育ても始まりますが、相談できる人がいなくて不安です。鴨川で安心して、子育てができるように、相談や同じ悩みを持っている人達との交流の場が、充実するように願っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を少しふやしてほしい！市県民税が高い！県外から来る、嫁、旦那など、友達ができづらい。子どもの検診などに行っても話す人がいない。市内の病院で1人子どもを産んでいるが、個室もいいと思うけど、大部屋もあっていいと思う！そー言うところで、友達をつくるのがいいと思う！子どもが多いほど仕事をみつけづらい！
	<ul style="list-style-type: none"> ・大山地区は高齢者が多く、高齢者が毎日のように草かりをしています。自宅の木が切れなくなってしまっている方も…。逆に、別荘もあり、移住者もいますが、意外にも地域の人とのかわりは少なく自治会にも入っていないことが多いような…。なので、互いに尊重しあえる為にも、草かり etc の手伝いに移住者の若い方が行くなどできたらいいのかなあ～。&、地域の祭り etc にかかるお金も年金から支払っている方が多く、移住者は祭りを楽しむが、他の面では…で「おいしいところどり」なのかなあ～と思ってしまいます。寄付金を募る etc 地元の人と移住者の“中間役”がいてくれるともう少し地域も活性するのかなあ～と思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・問24 関連。地域とのつながりや、自治活動は、大切なことではあるが、都市部に比べて多すぎる為、負担が大きいことがネックになり、地元に戻らない若年世代は多いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・悪い事がおきた場合は罰してもらいたいが、子どもを産むにも、育てるにも、勉強についても、もっと自由放任主義で（それぞれにあった道に進めばよい）昔の様に子どもの多い社会にしたい。皆がもう少し気楽にすごせる世の中にしたい。

ごみ処理について	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋の大きさについて、種類を増やしてほしいです。1人暮らしには大きすぎますが、夏場は生ごみを捨てない訳にもいかず、ごみ袋を無駄に使っているような状態です。ずっと住みたくなくなるかどうかは、一時的な支援や、限定された（既婚者、育児 e t c）対象者のみの支援では、それを必要としない人、しなくなった人には定住のメリットになりませんので、効果は限られるのではないのでしょうか。対象を絞ることはよいと思いますが、定住とは子どもから老後までということですよ。全ての人にとって、「ここにいたい」と思える風土、街づくりが効果的ではないのでしょうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「鴨川」に人を寄せる事も大切だと思いますが、この場所で生まれ育った人達にずっと鴨川にいたい、また戻って生活したいと思わせる「地」にしなければならないと思います。私を感じる鴨川は「ゴミが多い」事です。年に1度のゴミゼロでは、効果がないのでは…。2、3ヵ月に1度開催し、住民に「きれいに保つ」事を認識してもらおう。そうすると、必然的に子ども達も身についてくると思います。小学校や公園で平気でゴミを捨てる姿をみて、また、そこを素通りする人々を見ると、これからの鴨川は…。と落胆します。ご検討お願いします。このようなアンケートを配布して頂きありがとうございますございました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・都内から越えてきて、1番感じるのは、近所でどこもかしこもゴミを燃やしていて、臭いがきつい。基本、ゴミは収集してもらい、各自で燃やさないようにしてもらいたい。
税金	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたくなくなるのは“住みやすさ”だと思います。住みやすさは、家賃の安さやその他生活に関するお金が安い事だと思います。鴨川は家賃や生活にかかるお金がかかりすぎます。固定資産税や住民税が高すぎて、“ずっと住みたい”とは思えないです。私は子どもがいる家とない家の差があまりにありすぎると感じています。私の家は子どもが3人います。毎月ギリギリで生活しているのに、子どもがいない夫婦は悠々自適な生活です。未来の税金の財源を育てているのに、育てていない人達の方がゆとりがあるというのはなんとも不公平を感じます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川の企業は、市役所ほど収入がない。なのに、なぜか市の職員の収入が良すぎる。税金を納めている我々より格段に多い。市の職員の給与を鴨川の企業に合わせるか、市の職員を削減して税金を少なくして、市民の負担を軽くしてほしい。火曜日の夜7:00までの営業ではなく、市民のために土日も営業してほしい。鴨川より、賃金の高い市外に働きにいけるように、鴨川有料道路をこれから先もずっと無料化してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きの場合に、2人目の収入が税金で引かれて、実入りが少ないので、2人目の収入は無税にしてほしい（市町村特区制度などを用いて） ・税金が高いと思います。自営業なので年によって仕事の量が変わってくるので前年に売上が多く、翌年が少ない場合はきびしいです。税金を払うために働いている感じです。財源がないのであれば、議員さんや公務員を減らして下さい！
行政の姿勢について	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、働いて納税しています！鴨川市の職員、市議会議員の皆様もガンバッテいる様子は拝見します！ただ、人件費という面で、もう少し人数を減らしても良いと考えます！一市民として生まれ育った鴨川を、市が一生懸命に努力してわれわれ市民にもっとサービス展開を望みます！
	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の職員のリストラ、35歳以上の職員は能力給にすべき。我々の血税を有効に利用してくれることを望む。
	<ul style="list-style-type: none"> ・①警察が厳しくて飲み屋が少ない&遅くまで営業してない。→出会い、遊びの場が無い。→結局館山に行く。②市長、行政が何をやりたいのか分からない。市民に企画を求める前に、提案してほしい。③ふるさと回帰センターが土日休みで、都会の人が相談できないのに多額の報酬をもらっている。④鴨川の店は観光地なのに基本の挨拶もしない。⑤祭りのベテランの笛、太鼓ができる人達の演奏を録画した方がいい。郷土資料館の人間がすぐ撮らないと、無くなる。⑥就農相談しに行っても「分かりません」で終わる。⑦市議が何をやっているのかFBを見ても分からない。〇〇セレモニーですぐ帰っちゃう。⑧行政の情報は、スーパーやコンビニ等でバンバン流す。⑨移住者に対してほぼ全員が冷たい対応をしている。「よそ者」だから？保守的。⑩市長にはビジネスセンスが求められると思います。稼ぐ“市”になれない。元校長では無理。⑪市役所の人間はほとんどが「できません、難しい、分かりません」が口癖。

その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚→出産→子育て：地域の人々の知恵と情熱と経験を子育て環境にとり入れること→定住：貸家については安心してかりられるプラットホームとか持家については、供給体制の整備とか。一連の流れを継続して、継続して一貫した政策を転開する必要性を感じる。とりこぼさないこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は結婚や子育ての能力がない、向いていないと思う。同じ地域に暮らし、結婚したり、子どもを育てたりしてゆく人々を応援することならできるかも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメを使ったまちおこし、アニメを使ったふるさと納税。
	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川は良い所だと、口をそろえて言うが、本当か？他の地域と比べて、どこが良い所か？第三者的に、客観的に見ないと、判断を間違う。交通、経済、社会補償、生活どれをとっても鴨川は不便。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自立もできていないのに子育てなんてできません。
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所の方にアンケート配布はどうなのでしょう？結婚、子育て、仕事等、したくても出来ない現実があり、社会孤立と改めて、思い知らされている様に思います。中には精神疾患の方もいるので、不穏となる場合もあるので、対象から外して頂きたいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人達が生活していく上で非常に不便さを感じている人が多いことから、今時の若者の意見を取り入れた施策をすることが大切と感じる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、買い物難民に近いお年寄りが増えてきています。各小規模な（町内会くらいの）グループでのレンタル自動車のようなものの週2～3回、1回1時間くらいの買いもの支援があると良いと思います。
アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・問1での質問は個人を特定できるものになっています。今後のアンケートでは注意をされた方が良いかと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・問13の質問は、非常に答えづらい質問です。女性にとっては、年齢のこともあるし、ほしいけど産めない人もいるはず。設問に配慮のない質問だと思いました。このアンケートは、子どもがいる前提で、問われているので、子どももいない結婚もしていない私には、否定をされているように思えるアンケートでした。不快に思える部分が多くありました。個人的な意見ですが。
	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートは子どものいない方へはチョット失礼なのではないでしょうか？子どものいない人には答えにくいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらのアンケートをもとに、有効な税金の使い方を切に希望します。

Ⅲ 高校生、専門学校生及び大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査

1. 概要

1) 調査対象

【調査地域】 鴨川市全域

【調査対象】 市内の高校2年生、専門学校2年生、大学3年生の419名

【調査方法】 各学校に依頼し直接配布及び回収（一部郵送回収）によるアンケート調査

【調査期間】 平成27年7月、7月31日回収期限（最終回収日9月18日まで延長）

2) 配布・回収

【配布数】 419

【回収数】 341

【回収率】 81.4%

2. アンケートの構成

調査項目	内容	問
基本事項	・性別、年齢、出身地、居住地区	問1
進学・就職希望	・学校 ・学年 ・卒業後の居住地について ・卒業後の進路の意向（進学、就職等） ・（就職希望者）希望業種 ・（ 〃 ） 就職先の優先条件 ・（ 〃 ） 希望就業地（市内、県内、県外） ・（ 〃 ） 希望している仕事があったら鴨川市に住むか ・（創業・起業）希望業種・地域 ・（ 〃 ） 希望支援 ・（進学希望者）進学希望地（県内、県外） ・（ 〃 ） 就職先の優先条件 ・（ 〃 ） 希望している仕事があったら鴨川市に住むか	問2 問3 問4 問6 問7 問8 問9 問10 問11 問12 問13 問14 問15
定住意識	・将来的な鴨川市での定住意向 ・鴨川市の住みよさに関するイメージ ・定住促進のための効果的な支援策	問5 問16 問17
消費動向	・日常の生活圈・行動範囲 ・買回り品、最寄品の買い物動向	問18 問19
その他	・自由意見	

3. 集計結果

1) 結果の概要

○卒業後の進路について

- ・高校生は「大学への進学」が 39.0%と最も多いが、「就職」「専門学校等への進学」が、それぞれ 25.1%で続いている。専門学校生・大学生（以下、「大学生等」という）は「就職」が 92.2%を占めている。
- ・就職希望業種の中では「医療、福祉（保育園含む）」分野が 68.8%と突出しており、次いで、「宿泊業、飲食サービス業」が 25.9%、「公務」が 25.4%となっている。
- ・就職先の優先条件は、「収入が高い」が 67.7%で最も高く、次いで「やりがいがある」が 67.2%、「人間関係が良い」が 53.4%、「自分の能力が生かせる」が 30.2%となっている。

○卒業後の居住地等について

- ・卒業後の居住地の希望は、「鴨川市内」が 35.8%で、「千葉県内（本市以外）」が 34.3%となっている。特に大学生等においては、「鴨川市内」が 51.3%と突出している。居住地として本市を選ばない理由は、「就職・進学したい企業や学校が市内にないから」が 43.8%と最も多く、次いで「楽しめる場所や施設が少ないから」が 29.2%、「他の地域の方が生活するのに便利だから」が 23.7%となっている。
- ・卒業後に「就職」を希望する者の就業地の希望は、「決めていない」という者が 23.8%と最も多いが、決めている者の中では県外（東京等）が最も多くなっている。
- ・卒業後に「進学」を希望する者が、進学先卒業後に市内で希望する就職ができると仮定した場合は、本市に「住みたい」という者が 35.5%で「住みたくない」28.2%を上回っている。

○本市の居住環境について

- ・本市が住みやすいかの設問に対して、「どちらともいえない」が 37.8%と最も多いものの、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を加えると 32.6%となっており、「大変住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の 27.6%を上回っている。
- ・定住者を増加させるためには、「家を借りる際の家賃補助（期間限定）」が 38.7%と最も高く、次いで、「学校授業料支援」38.1%、「子どもの医療費補助」30.5%、「保育費支援」29.0%となっており、学生向けの支援と子育て世帯への支援が求められていることがわかる。

○日常的な行動範囲に関する現状

- ・「通学」「部活・サークル活動」「アルバイト」「最寄品の買物」については概ね本市内で用が足りているようであるが、「医療施設」については、近隣市まで行動範囲が広がられている。「遊ぶ場所」「買回品の買物」については、本市内で用が足りているほうが少なく、近隣市や千葉県外へも行動範囲が広がっている。
- ・「遊ぶ場所」「医療施設」「買回品の買物」については行動範囲が広がる一方、頻度が少なくなっている。
- ・「医療施設」「買物（最寄品、買回品とも）」の移動手段は「自家用車」6割程度を占めており、公共機関が利用されていない状況にある。

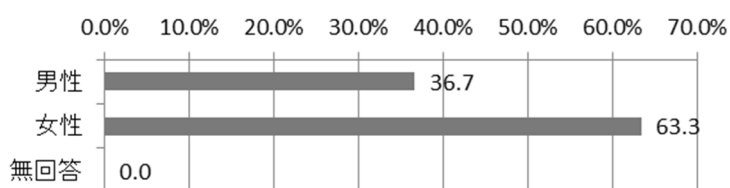
2) 集計結果

問1. あなたご自身のことについて、お答えください。

(1) 性別

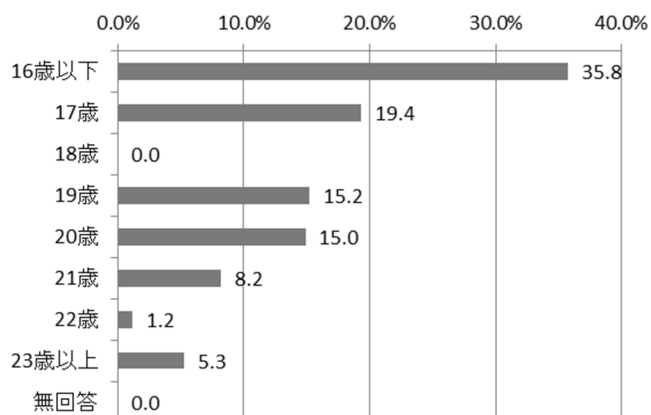
- ・高校生では男女比が同程度ですが、専門学校生と大学生（以下「大学生等」という）では「女性」が「男性」の約3.5倍となっています。

		全体		高校生		大学生等	
		件数	%	件数	%	件数	%
1	男性	125	36.7	91	48.7	34	22.1
2	女性	216	63.3	96	51.3	120	77.9
総数		341	100.0	187	100.0	154	100.0



(2) 年齢

	件数	%
1 16歳以下	122	35.8
2 17歳	66	19.4
3 18歳	0	0.0
4 19歳	52	15.2
5 20歳	51	15.0
6 21歳	28	8.2
7 22歳	4	1.2
8 23歳以上	18	5.3
無回答	0	0.0
総数	341	100.0



(3) 出身地

- ・出身地は、「千葉県内」が46.3%と最も多くなっています。

		全体		高校生		大学生等	
		件数	%	件数	%	件数	%
1	鴨川市内	102	29.9	80	42.8	22	14.3
2	千葉県内	158	46.3	93	49.7	65	42.2
3	千葉県外	75	22.0	10	5.3	65	42.2
無回答		6	1.8	4	2.1	2	1.3
総数		341	100.0	187	100.0	154	100.0



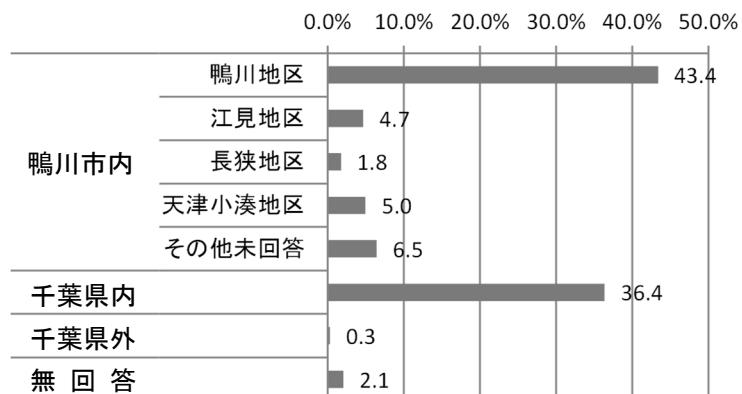
記載内容

千葉県内		千葉県外	
君津市	2	愛媛県	6
船橋市	1	東京都区部	2
いすみ市	1	群馬県	2
未記入	154	宮城県	2
		栃木県	1
		静岡県	1
		福島県	1
		北海道	1
		中国	3
		未記入	56

(4) 居住地区

- 現在の居住地は「鴨川市内」が最も多く、特に「鴨川地区」が43.4%と最も多くなっています。次いで、千葉県内が多くなっています。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 鴨川市内	209	61.3	88	46.8	121	79.1
鴨川地区	148	43.4	51	27.3	97	63.0
江見地区	16	4.7	12	6.4	4	2.6
長狭地区	6	1.8	6	3.2	0	0.0
天津小湊地区	17	5.0	15	8.0	2	1.3
不明	22	6.5	4	2.1	18	11.7
2 千葉県内	124	36.4	96	51.3	28	18.2
3 千葉県外	1	0.3	0	0.0	1	0.6
無回答	7	2.1	3	1.6	4	2.6
総数	341	100.0	187	100.0	154	100.0



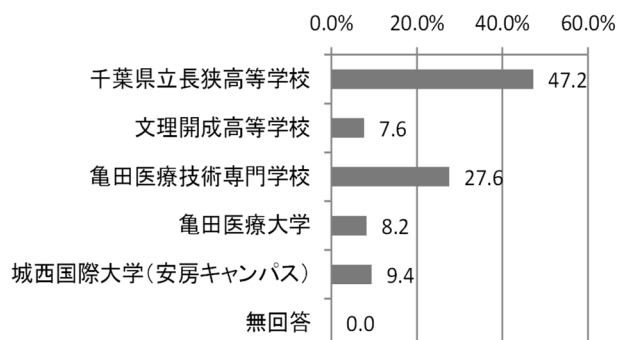
「千葉県内」の内容

- 君津市(2)、千葉市(1)、船橋市(1)、いすみ市(1)、未記入(119)

問2. 今の学校は、下記のいずれに該当しますか？【1つに〇】

・高校生が54.8%を占めています。

	件数	%
1 千葉県立長狭高等学校	161	47.2
2 文理開成高等学校	26	7.6
3 亀田医療技術専門学校	94	27.6
4 亀田医療大学	28	8.2
5 城西国際大学(安房キャンパス)	32	9.4
無回答	0	0.0
総数	341	100.0



問3. 今、何年生ですか？【1つに〇】

・学校経由で配布回収しているため、高校生や専門学校生は2年生、亀田医療大学は3年生、城西国際大学は3年生から回答を得ています。

	件数	%
高校生 2年生	187	54.8
専門学校生 2年生	94	27.6
大学生 3年生	60	17.6
総数	341	

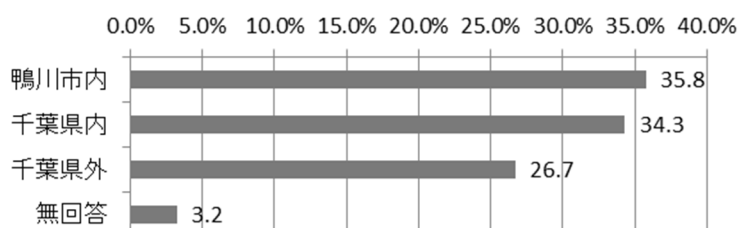
問4. 卒業後の希望する居住地についてお尋ねします。【1つに〇】

・卒業後の居住地の希望は、「鴨川市内」が35.8%と最も多くなっています。
 ・高校生では「千葉県内」が最も多く、大学生等では「鴨川市内」が最も多くなっています。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 鴨川市内	122	35.8	43	23.0	79	51.3
2 千葉県内	117	34.3	87	46.5	30	19.5
3 千葉県外	91	26.7	49	26.2	42	27.3
無回答	11	3.2	8	4.3	3	1.9
総数	341	100.0	187	100.0	154	100.0

記載内容

千葉県内		千葉県外	
千葉市	1	東京都	12
船橋市	1	神奈川県	2
君津市	1	愛媛県	2
未記入	114	未記入	75



問5. 問4で鴨川市を選ばなかった理由を次の中から選んでください。【あてはまるものすべてに○】

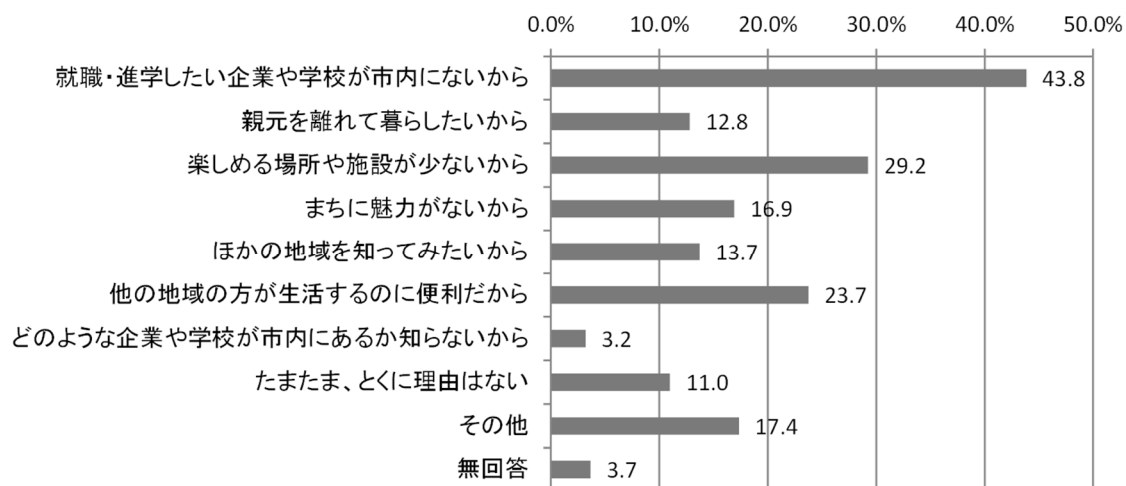
※問4で「2. 千葉県内」「3. 千葉県外」「無回答」と回答した方219名が対象

- ・鴨川市を選択しなかった理由は、「就職・進学したい企業や学校が市内にないから」が43.8%と最も多く、次いで「楽しめる場所や施設が少ないから」29.2%、「他の地域の方が生活するのに便利だから」23.7%となっています。

	件数	%
1 就職・進学したい企業や学校が市内にないから	96	43.8
2 親元を離れて暮らしたいから	28	12.8
3 楽しめる場所や施設が少ないから	64	29.2
4 まちに魅力がないから	37	16.9
5 ほかの地域を知ってみたいから	30	13.7
6 他の地域の方が生活するのに便利だから	52	23.7
7 どのような企業や学校が市内にあるか知らないから	7	3.2
8 たまたま、とくに理由はない	24	11.0
9 その他	38	17.4
無回答	8	3.7
総数	219	—

「その他」の内容

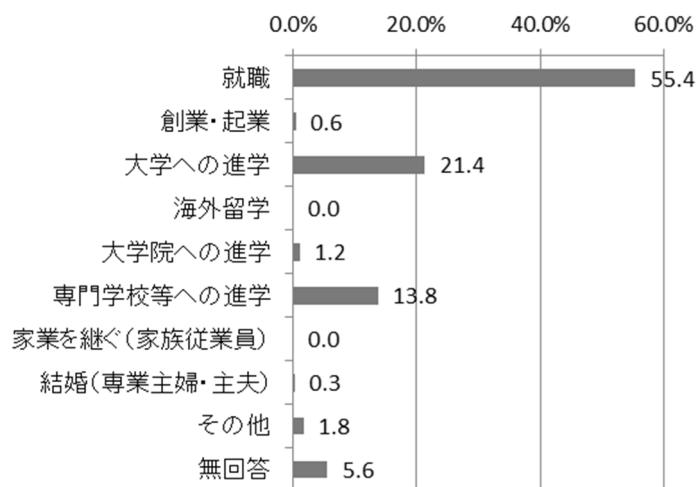
- ・やりたいことがある、実家に戻りたい、実家から働きに行きたいので、人があまり好きじゃないから



問6. 卒業後の進路希望は何ですか？【1つに〇】

- ・卒業後の進路希望は、「就職」が55.4%と最も多く、次いで「大学への進学」21.4%となっています。
- ・高校生では、「大学への進学」39.0%のほか、「就職」「専門学校等への進学」も25.1%を占めています。大学生等では「就職」が大半を占めています。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 就職	189	55.4	47	25.1	142	92.2
2 創業・起業	2	0.6	2	1.1	0	0.0
3 大学への進学	73	21.4	73	39.0	0	0.0
4 海外留学	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 大学院への進学	4	1.2	1	0.5	3	1.9
6 専門学校等への進学	47	13.8	47	25.1	0	0.0
7 家業を継ぐ(家族従業員)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8 結婚(専業主婦・主夫)	1	0.3	1	0.5	0	0.0
9 その他	6	1.8	6	3.2	0	0.0
無回答	19	5.6	10	5.3	9	5.8
総数	341	100.0	187	100.0	154	100.0



問7. あなたが就職を希望する業種は何ですか？【回答欄に第3希望まで番号を記入】

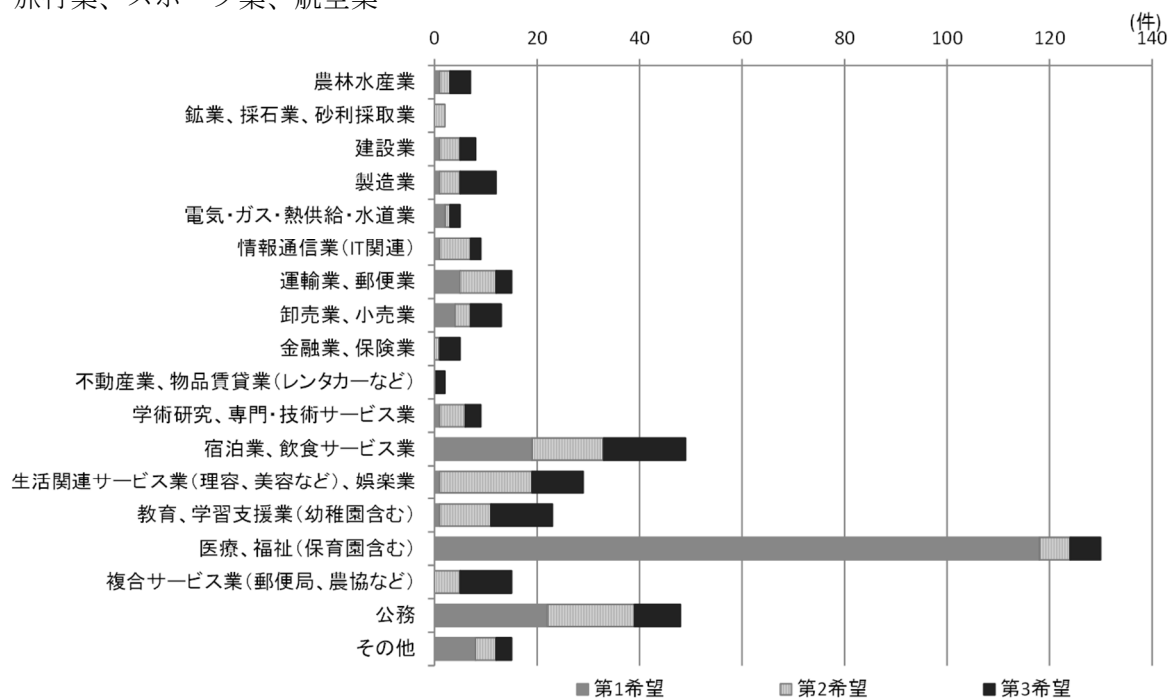
※問6で「1. 就職」と回答した方189名が対象

・希望する業種について、「医療、福祉（保育園含む）」が最も多く第1～3希望を合算すると68.8%を占めています。その次には、「宿泊業、飲食サービス業」25.9%、「公務」25.4%となっています。

全体	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
農林水産業	1	2	4	7	3.7
鉱業、採石業、砂利採取業	0	2	0	2	1.1
建設業	1	4	3	8	4.2
製造業	1	4	7	12	6.3
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1	2	5	2.6
情報通信業（IT関連）	1	6	2	9	4.8
運輸業、郵便業	5	7	3	15	7.9
卸売業、小売業	4	3	6	13	6.9
金融業、保険業	0	1	4	5	2.6
不動産業、物品賃貸業（レンタカーなど）	0	0	2	2	1.1
学術研究、専門・技術サービス業	1	5	3	9	4.8
宿泊業、飲食サービス業	19	14	16	49	25.9
生活関連サービス業（理容、美容など）、娯楽業	1	18	10	29	15.3
教育、学習支援業（幼稚園含む）	1	10	12	23	12.2
医療、福祉（保育園含む）	118	6	6	130	68.8
複合サービス業（郵便局、農協など）	0	5	10	15	7.9
公務	22	17	9	48	25.4
その他	8	4	3	15	7.9
無回答	4	80	87	171	90.5
総数	189	189	189	189	100.0

「その他」の内容

・旅行業、スポーツ業、航空業



高校生	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
農林水産業	0	1	1	2	4.3
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0.0
建設業	1	1	2	4	8.5
製造業	0	2	3	5	10.6
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1	1	4	8.5
情報通信業（IT関連）	1	1	1	3	6.4
運輸業、郵便業	3	3	1	7	14.9
卸売業、小売業	1	0	3	4	8.5
金融業、保険業	0	1	0	1	2.1
不動産業、物品賃貸業（レンタカーなど）	0	0	0	0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	1	1	1	3	6.4
宿泊業、飲食サービス業	4	2	7	13	27.7
生活関連サービス業（理容、美容など）、娯楽業	0	6	5	11	23.4
教育、学習支援業（幼稚園含む）	1	2	1	4	8.5
医療、福祉（保育園含む）	6	2	1	9	19.1
複合サービス業（郵便局、農協など）		2	2	4	8.5
公務	20	7	2	29	61.7
その他	4	2	0	6	12.8
無回答	3	13	16	32	68.1
総数	47	47	47	47	100.0

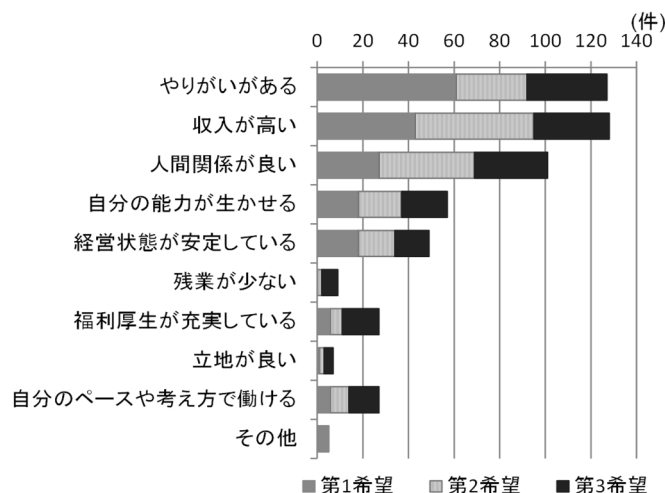
大学生等	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
農林水産業	1	1	3	5	3.5
鉱業、採石業、砂利採取業	0	2	0	2	1.4
建設業	0	3	1	4	2.8
製造業	1	2	4	7	4.9
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	1	1	0.7
情報通信業（IT関連）	0	5	1	6	4.2
運輸業、郵便業	2	4	2	8	5.6
卸売業、小売業	3	3	3	9	6.3
金融業、保険業	0	0	4	4	2.8
不動産業、物品賃貸業（レンタカーなど）	0	0	2	2	1.4
学術研究、専門・技術サービス業	0	4	2	6	4.2
宿泊業、飲食サービス業	15	12	9	36	25.4
生活関連サービス業（理容、美容など）、娯楽業	1	12	5	18	12.7
教育、学習支援業（幼稚園含む）	0	8	11	19	13.4
医療、福祉（保育園含む）	112	4	5	121	85.2
複合サービス業（郵便局、農協など）	0	3	8	11	7.7
公務	2	10	7	19	13.4
その他	4	2	3	9	6.3
無回答	1	67	71	139	97.9
総数	142	142	142	142	100.0

問8. 就職先を選ぶ際に、優先する条件は何ですか？【回答欄に第3希望まで番号を記入】

※問6で「1. 就職」と回答した方189名が対象

- ・就職先の優先条件は、「収入が高い」67.7%、「やりがいがある」67.2%、次いで「人間関係が良い」53.4%となっています。

全体	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
やりがいがある	61	31	35	127	67.2
収入が高い	43	52	33	128	67.7
人間関係が良い	27	42	32	101	53.4
自分の能力が活かせる	18	19	20	57	30.2
経営状態が安定している	18	16	15	49	25.9
残業が少ない	0	2	7	9	4.8
福利厚生が充実している	6	5	16	27	14.3
立地が良い	1	2	4	7	3.7
自分のペースや考え方で働ける	6	8	13	27	14.3
その他	5	0	0	5	2.6
無回答	4	12	14	30	15.9
総数	189	189	189	189	100.0



高校生	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
やりがいがある	15	6	8	29	61.7
収入が高い	6	15	9	30	63.8
人間関係が良い	6	9	7	22	46.8
自分の能力が活かせる	6	4	6	16	34.0
経営状態が安定している	11	7	3	21	44.7
残業が少ない	0	0	2	2	4.3
福利厚生が充実している	0	0	4	4	8.5
立地が良い	0	0	0	0	0.0
自分のペースや考え方で働ける	0	3	4	7	14.9
その他	1	0	0	1	2.1
無回答	2	3	4	9	19.1
総数	47	47	47	47	100.0

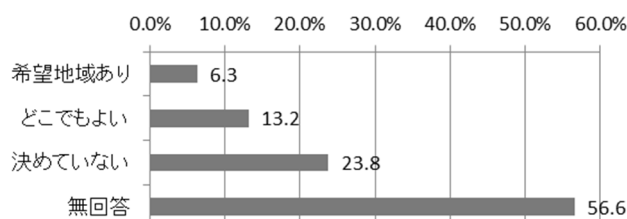
大学生等	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
やりがいがある	46	25	27	98	69.0
収入が高い	37	37	24	98	69.0
人間関係が良い	21	33	25	79	55.6
自分の能力が活かせる	12	15	14	41	28.9
経営状態が安定している	7	9	12	28	19.7
残業が少ない	0	2	5	7	4.9
福利厚生が充実している	6	5	12	23	16.2
立地が良い	1	2	4	7	4.9
自分のペースや考え方で働ける	6	5	9	20	14.1
その他	4	0	0	4	2.8
無回答	2	9	10	21	14.8
総数	142	142	142	142	100.0

問9. 就職を希望する地域はどこですか？【第3希望までご記入ください】

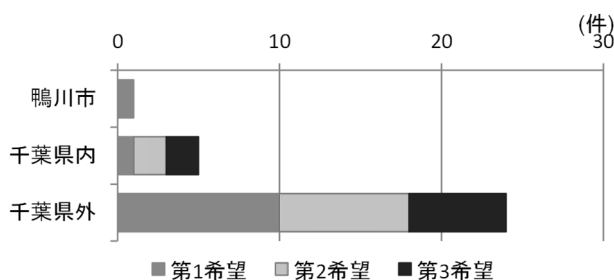
※問6で「1. 就職」と回答した方189名が対象

- ・就職先選定の希望地域については、特に決めていない者が多いことがわかります。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 希望地域あり	12	6.3	0	0.0	12	8.5
2 どこでもよい	25	13.2	10	21.3	15	10.6
3 決めていない	45	23.8	15	31.9	30	21.1
無回答	107	56.6	22	46.8	85	59.9
総数	189	100.0	47	100.0	142	100.0



全体＝大学生等	第1希望 (件数)	第2希望 (件数)	第3希望 (件数)	合計 (件数)	(%)
鴨川市	1	0	0	1	8.3%
千葉県内	1	2	2	5	41.7%
千葉県外	10	8	6	24	200.0%
無回答	0	2	4	6	50.0%
総数	12	12	12	12	100.0%

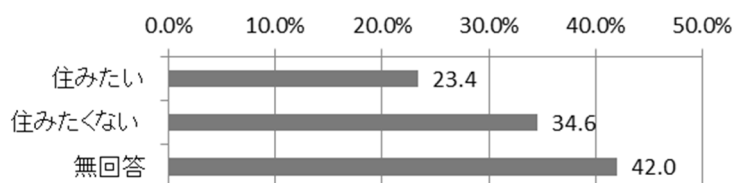


問 10. 市内であなたが希望している仕事ができとなった場合、市内に住みたいと思いますか？

※問 9 で鴨川市以外を希望した方 188 名が対象

- ・定住意向は、「住みたくない」34.6%が「住みたい」23.4%を上回っています。
- ・高校生も大学生等も同程度の割合で、「住みたくない」のほうが多くなっています。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 住みたい	44	23.4	11	23.4	33	23.4
2 住みたくない	65	34.6	16	34.0	49	34.8
無回答	79	42.0	20	42.6	59	41.8
総数	188	100.0	47	100.0	141	100.0



「その理由」の内容

住みたい理由
今住んでいるから
希望している仕事に就けるなら住みたい
住むにはいい環境だから
自然が豊かで静かで住みやすいから
便利だから
田舎ですので
環境もいいし、物価も安い

住みたくない理由
不便なので(3)
鴨川市が生活するうえで不便なため
立地が少し不便
あまり自分の役に立たないから
アクセスの悪さ、地元の人がしんどい
生活していて楽しく生きていける気がしないから
遊ぶところが少ない
なにもないから
融通が利かなさそう
人間関係が密すぎる
鴨川に住む理由がない
他の地域を知ってみたいから
地元が遠い
帰国

問 11. 創業・起業は、どこで、どのような業種をお考えになっていますか？

希望地域・業種と、それを選んだ理由をお書きください。

問 12. 創業・起業を進める上で、どんな支援があればよいと思いますか？

※「創業・起業」を選択した者は2名であるが、問 11、問 12 には回答していない。

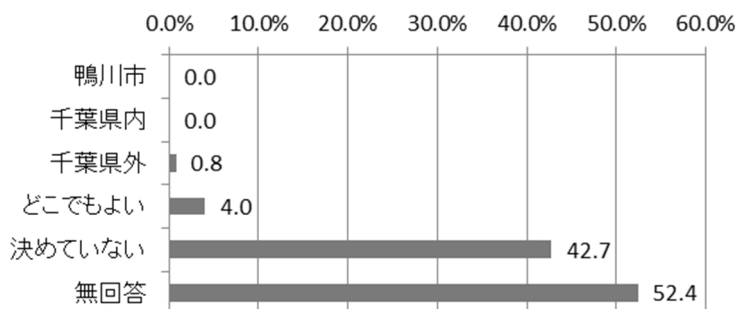
問 13. 進学を希望する地域、進学先卒業後の就職希望地はどこですか？

※問6で「3. 大学への進学」から「6. 専門学校等への進学」と回答した方 124 名が対象

- ・進学を希望する地域、進学先卒業後の就職希望地域とも、現時点で決めている者はほとんどいないことがわかります。

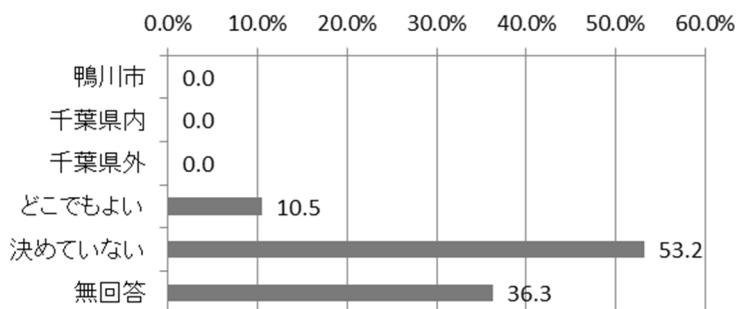
進学を希望する地域

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 鴨川市	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2 千葉県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3 千葉県外	1	0.8	0	0.0	1	33.3
4 どこでもよい	5	4.0	5	4.1	0	0.0
5 決めていない	53	42.7	52	43.0	1	33.3
無回答	65	52.4	64	52.9	1	33.3
総数	124	100.0	121	100.0	3	100.0



進学先卒業後の就職希望地域

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 鴨川市	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2 千葉県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3 千葉県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4 どこでもよい	13	10.5	13	10.7	0	0.0
5 決めていない	66	53.2	65	53.7	1	33.3
無回答	45	36.3	43	35.5	2	66.7
総数	124	100.0	121	100.0	3	100.0



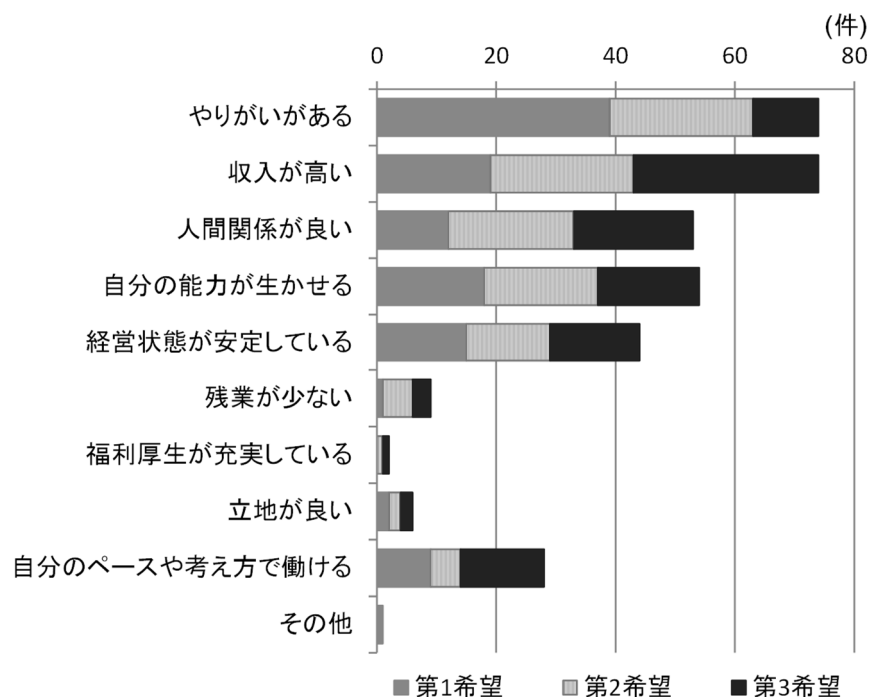
問 14. 進学先卒業後の就職先を選ぶ際に、優先する条件は何ですか？

【回答欄に第3希望まで番号を記入】

※問6で「3. 大学への進学」から「6. 専門学校等への進学」と回答した方124名が対象

・進学先卒業後の就職先選定の優先条件は、「収入が高い」59.7%、「やりがいがある」59.7%、次いで「自分の能力が活かせる」43.5%、「人間関係が良い」42.7%となっています。

全体	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
やりがいがある	39	24	11	74	59.7
収入が高い	19	24	31	74	59.7
人間関係が良い	12	21	20	53	42.7
自分の能力が活かせる	18	19	17	54	43.5
経営状態が安定している	15	14	15	44	35.5
残業が少ない	1	5	3	9	7.3
福利厚生が充実している	0	1	1	2	1.6
立地が良い	2	2	2	6	4.8
自分のペースや考え方で働ける	9	5	14	28	22.6
その他	1	0	0	1	0.8
無回答	8	9	10	27	21.8
総数	124	124	124	124	100.0



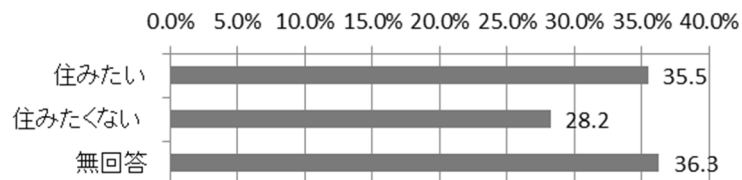
高校生	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
やりがいがある	39	24	10	73	60.3
収入が高い	18	24	31	73	60.3
人間関係が良い	12	20	20	52	43.0
自分の能力が活かせる	18	19	17	54	44.6
経営状態が安定している	15	14	15	44	36.4
残業が少ない	1	5	3	9	7.4
福利厚生が充実している	0	1	1	2	1.7
立地が良い	2	2	2	6	5.0
自分のペースや考え方で働ける	9	5	14	28	23.1
その他	1	0	0	1	0.8
無回答	6	7	8	21	17.4
総数	121	121	121	121	100.0

大学生等	第1希望	第2希望	第3希望	合計	
	件数	件数	件数	件数	%
やりがいがある	0	0	1	1	33.3
収入が高い	1	0	0	1	33.3
人間関係が良い	0	1	0	1	33.3
自分の能力が活かせる	0	0	0	0	0.0
経営状態が安定している	0	0	0	0	0.0
残業が少ない	0	0	0	0	0.0
福利厚生が充実している	0	0	0	0	0.0
立地が良い	0	0	0	0	0.0
自分のペースや考え方で働ける	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0.0
無回答	2	2	2	6	200.0
総数	3	3	3	3	100.0

問 15. 市内であなたが希望している仕事ができるとなった場合、市内に住みたいと思いますか？
【1つに〇】
※問 13 で鴨川市を希望しなかった方 124 名が対象

・本問の回答者はほとんどが高校生ですが、「住みたい」35.5%が「住みたくない」28.2%を上回っています。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 住みたい	44	35.5	43	35.5	1	33.3
2 住みたくない	35	28.2	35	28.9	0	0.0
無回答	45	36.3	43	35.5	2	66.7
総数	124	100.0	121	100.0	3	100.0

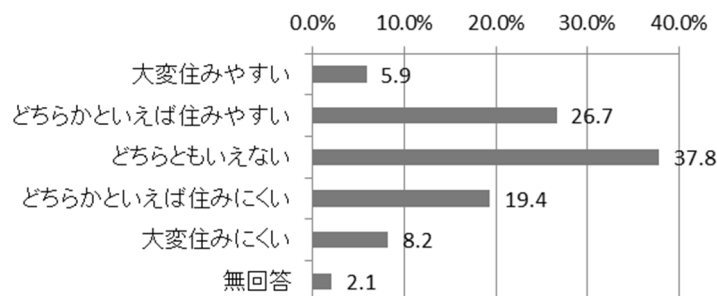


問 16. 鴨川市は住みよいところだと感じますか？【1つに○】

また、その理由もお書きください。

- ・住みやすさについては、「どちらともいえない」が最も多いものの、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を加えると 32.6%となっています。
- ・高校生は「住みやすい」と感じている者の割合が高く、大学生等は「住みにくい」と感じている者の割合が高くなっています。

		全体		高校生		大学生等	
		件数	%	件数	%	件数	%
1	大変住みやすい	20	5.9	13	7.0	7	4.5
2	どちらかといえば住みやすい	91	26.7	63	33.7	28	18.2
3	どちらともいえない	129	37.8	75	40.1	54	35.1
4	どちらかといえば住みにくい	66	19.4	21	11.2	45	29.2
5	大変住みにくい	28	8.2	9	4.8	19	12.3
	無回答	7	2.1	6	3.2	1	0.6
	総数	341	100.0	187	100.0	154	100.0



「その理由」の内容

住みやすい理由

- ・今まで横浜に住んでいましたが、買い物場所や駅が近いので生活は便利だと思う。
- ・都会過ぎない。
- ・自分の実家も鴨川市と同じようなので住みやすい。
- ・昔から住んでいて知り合い多く、助けてもらえ住みやすい。

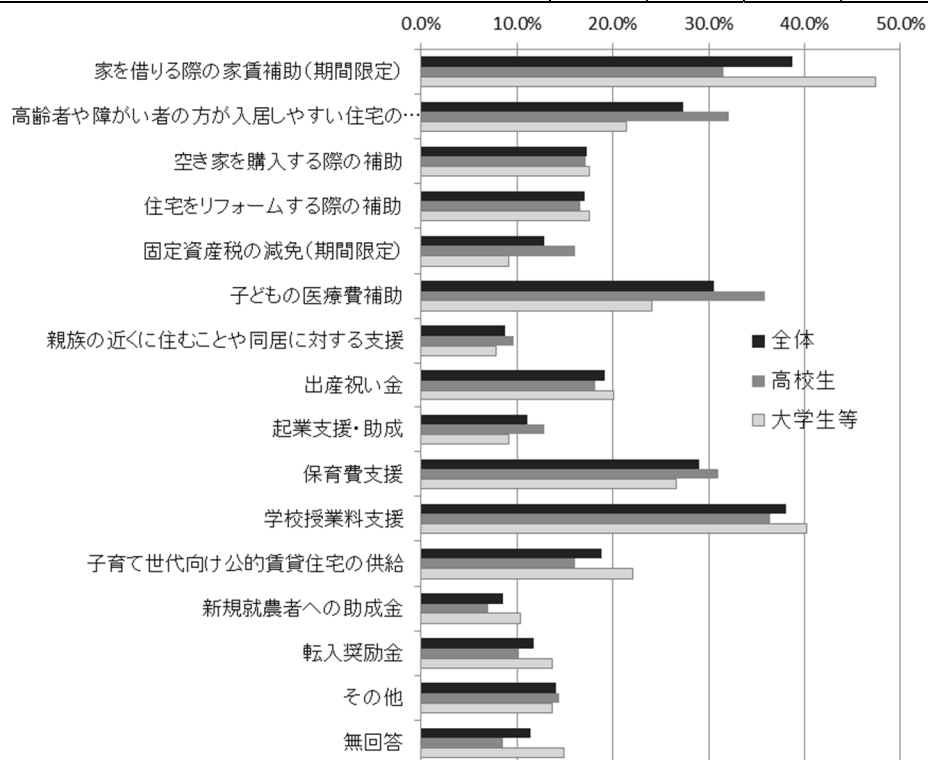
住みにくい理由

- ・不便（2）
- ・車がないと不便（2）
- ・他からのアクセスが悪く、いろいろしんどい。
- ・町全体としては住みやすいが、外に出るアクセスが少し不便である。
- ・都心から離れているため。
- ・交通手段の貧しさ。
- ・スーパーなど生活するのには不便ではないが、都市に出るのが不便で交通機関が高い。
- ・自然があってよいと思うが、住むには若い人は物足りないかもしれない。
- ・施設が少ない。
- ・利便性がない。
- ・大きな病院があるのは良いが、それ以外に何も無い。
- ・生活面で不便だから。
- ・ゆったり過ごすことができる時もあれば、駅周辺治安が悪かったりするときもある。
- ・観光地だからと言って、道を整備されているわけでもなく、買い物を楽しめたり、テーマパークがあるかと言われればないから。

問 17. 鴨川市に住みたくするために、あるいは、ずっと住み続けたくするために、効果的な支援はどれだと思いますか？【あてはまるものすべてに○】

- ・定住に向けた支援策については、「家を借りる際の家賃補助（期間限定）」が 38.7%と最も高く、次いで、「学校授業料支援」38.1%、「子どもの医療費補助」30.5%、「保育費支援」29.0%となっています。
- ・高校生は自宅住まいであるからか、「子どもの医療費補助」「保育費支援」「高齢者や障がい者の方が入居しやすい住宅の普及」が比較的高くなっており、大学生等では「家を借りる際の家賃補助（期間限定）」「学校授業料支援」への回答が集中していることがわかります。

	全体		高校生		大学生等	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 家を借りる際の家賃補助（期間限定）	132	38.7	59	31.6	73	47.4
2 高齢者や障がい者の方が入居しやすい住宅の普及	93	27.3	60	32.1	33	21.4
3 空き家を購入する際の補助	59	17.3	32	17.1	27	17.5
4 住宅をリフォームする際の補助	57	16.7	31	16.6	26	16.9
5 固定資産税の減免（期間限定）	44	12.9	30	16.0	14	9.1
6 子どもの医療費補助	104	30.5	67	35.8	37	24.0
7 親族の近くに住むことや同居に対する支援	30	8.8	18	9.6	12	7.8
8 出産祝い金	65	19.1	34	18.2	31	20.1
9 起業支援・助成	38	11.1	24	12.8	14	9.1
10 保育費支援	99	29.0	58	31.0	41	26.6
11 学校授業料支援	130	38.1	68	36.4	62	40.3
12 子育て世代向け公的賃貸住宅の供給	64	18.8	30	16.0	34	22.1
13 新規就農者への助成金	29	8.5	13	7.0	16	10.4
14 転入奨励金	40	11.7	19	10.2	21	13.6
15 その他	48	14.1	27	14.4	21	13.6
無回答	39	11.4	16	8.6	23	14.9
総数	341	100.0	187	100.0	154	100.0

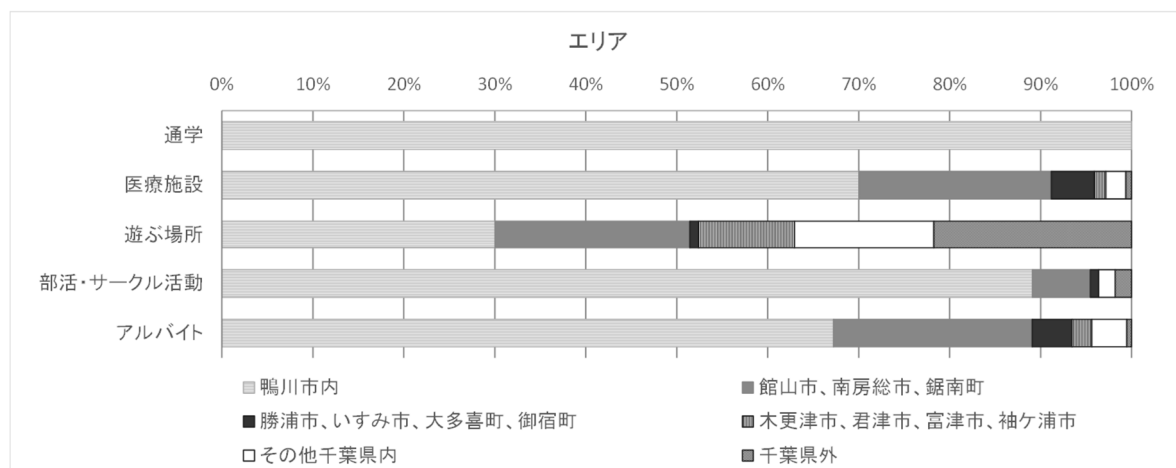


問 18. あなたの日常的な行動範囲についてお伺いします？【選択項目より1つずつ】

○エリアについて

・「通学」「部活・サークル活動」「アルバイト」については概ね鴨川市内で用が足りているようであるが、「医療施設」については、近隣市まで行動範囲が広がられています。「遊ぶ場所」については、本市内で用が足りているほうが少なく、近隣市や千葉県外へも行動範囲が広がっていることがわかります。

【エリア】全体	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
鴨川市内	334	222	94	196	123
館山市、南房総市、鋸南町	0	67	67	14	40
勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町	0	15	3	2	8
木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市	0	4	33	0	4
その他千葉県内	0	7	48	4	7
千葉県外	0	2	68	4	1
無回答	7	24	28	121	158
総数	341	341	341	341	341



※無回答を除いてグラフを作成

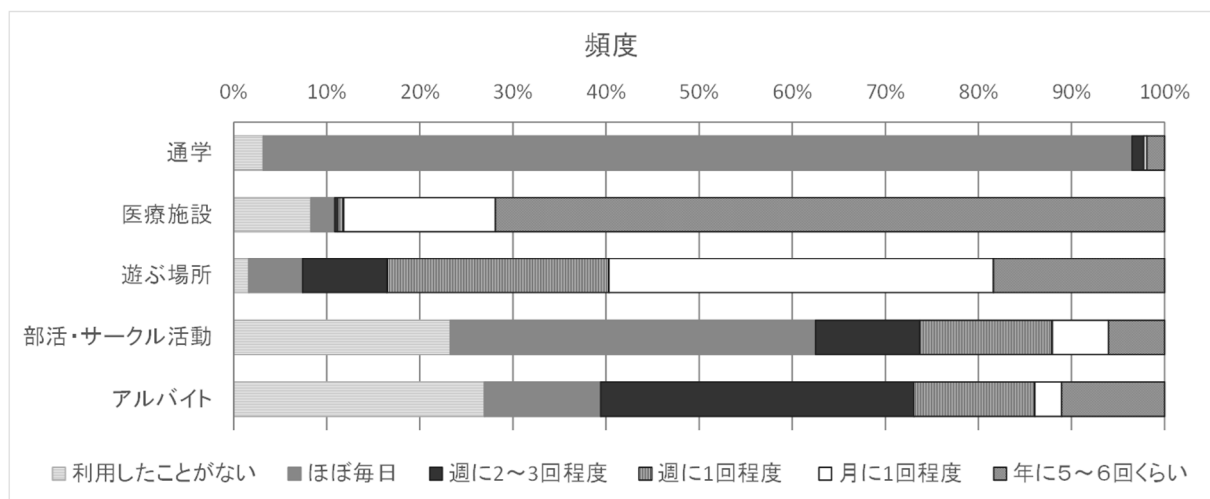
【エリア】高校生	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
鴨川市内	187	106	68	138	44
館山市、南房総市、鋸南町	0	58	56	10	30
勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町	0	12	2	1	3
木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市	0	0	10	0	0
その他千葉県内	0	1	20	0	1
千葉県外	0	1	22	2	1
無回答	0	9	9	36	108
総数	187	187	187	187	187

【エリア】 大学生等	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
鴨川市内	147	116	26	58	79
館山市、南房総市、鋸南町	0	9	11	4	10
勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町	0	3	1	1	5
木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市	0	4	23	0	4
その他千葉県内	0	6	28	4	6
千葉県外	0	1	46	2	0
無回答	7	15	19	85	50
総数	154	154	154	154	154

○頻度について

・「通学」はほぼ毎日であるが、次いで頻度が高いのは「部活・サークル活動」「アルバイト」となっています。「遊ぶ場所」「医療施設」については行動範囲が広がる一方、頻度が少なくなっています。

【頻度】 全体	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
利用したことがない	10	26	5	54	56
ほぼ毎日	294	8	18	91	26
週に2~3回程度	4	1	28	26	70
週に1回程度	0	2	74	33	27
月に1回程度	1	51	128	14	6
年に5~6回くらい	6	225	57	14	23
無回答	26	28	31	109	133
総数	341	341	341	341	341



※無回答を除いてグラフを作成

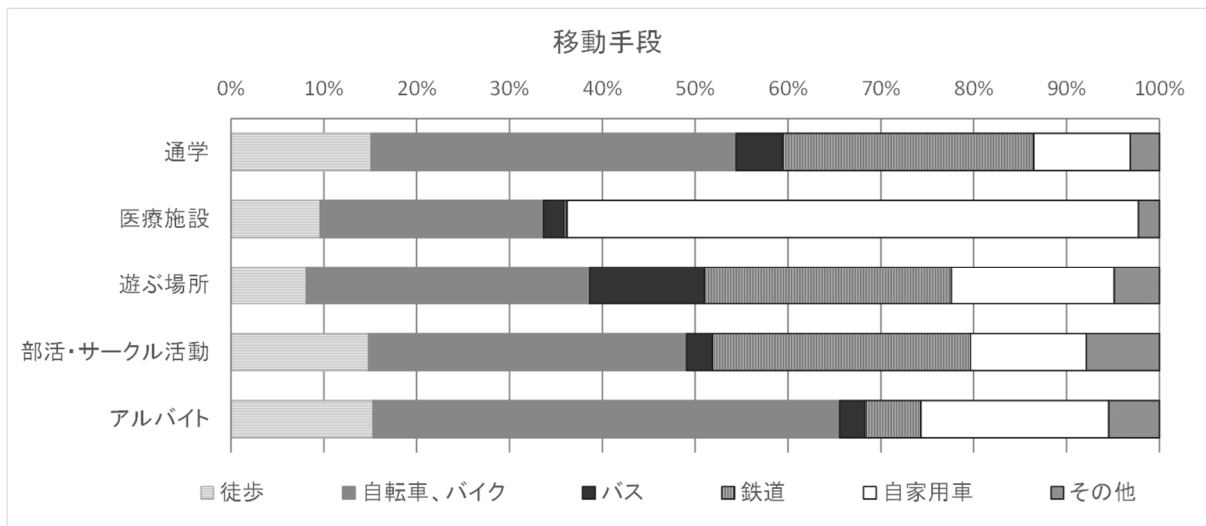
【頻度】 高校生	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
利用したことがない	4	4	3	19	41
ほぼ毎日	170	2	13	83	6
週に2~3回程度	2	1	16	16	28
週に1回程度	0	1	35	22	5
月に1回程度	0	26	76	10	2
年に5~6回くらい	3	144	34	5	17
無回答	8	9	10	32	88
総数	187	187	187	187	187

【頻度】 大学生等	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
利用したことがない	6	22	2	35	15
ほぼ毎日	124	6	5	8	20
週に2~3回程度	2	0	12	10	42
週に1回程度	0	1	39	11	22
月に1回程度	1	25	52	4	4
年に5~6回くらい	3	81	23	9	6
無回答	18	19	21	77	45
総数	154	154	154	154	154

○移動手段について

- ・「アルバイト」の移動手段は「徒歩」「自転車・バイク」で6割を超えています。その次に多いのは自家用車となっています。「通学」「部活・サークル活動」の移動手段は「徒歩」「自転車・バイク」で5割程度となっています。その次は鉄道となっています。
- ・「遊ぶ場所」の移動手段は、「自転車・バイク」「鉄道」が多く、次いで、「自家用車」となっています。
- ・「医療施設」の移動手段は「自家用車」6割を占めており、公共機関が利用されていない状況にあることがわかります。

【移動手段】 全体	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
徒歩	48	30	25	32	28
自転車、バイク	125	75	94	74	92
バス	16	7	38	6	5
鉄道	86	1	82	60	11
自家用車	33	192	54	27	37
その他	10	7	15	17	10
無回答	23	29	33	125	158
総数	341	341	341	341	341



※無回答を除いてグラフを作成

	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
【移動手段】 高校生					
徒歩	6	22	2	35	15
自転車、バイク	124	6	5	8	20
バス	2	0	12	10	42
鉄道	0	1	39	11	22
自家用車	1	25	52	4	4
その他	3	81	23	9	6
無回答	18	19	21	77	45
総数	187	187	187	187	187

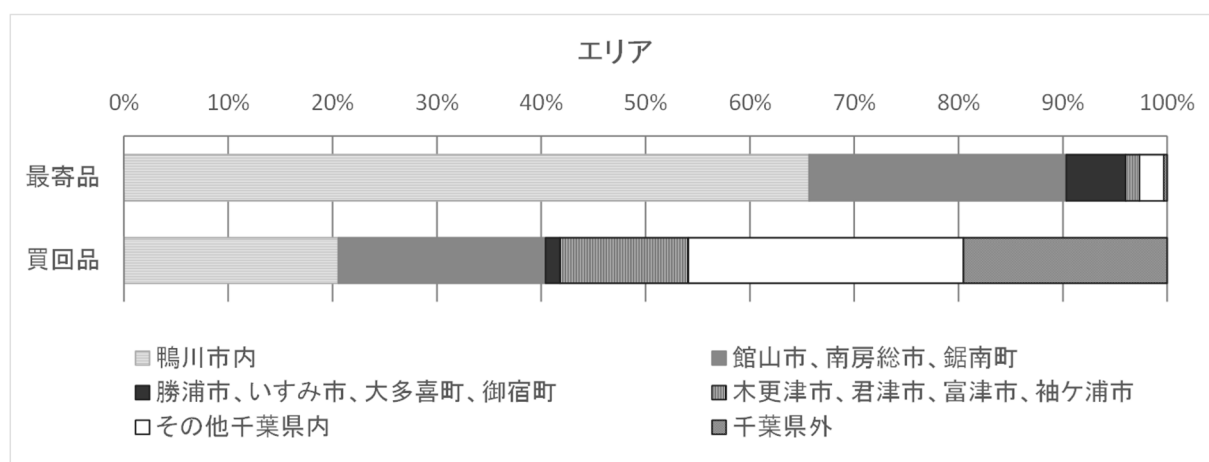
	通学	医療施設	遊ぶ場所	部活・サークル活動	アルバイト
【移動手段】 大学生等					
徒歩	36	24	5	8	15
自転車、バイク	63	55	24	27	48
バス	7	5	29	2	5
鉄道	7	1	27	4	5
自家用車	25	43	39	17	26
その他	2	6	9	9	6
無回答	14	20	21	87	49
総数	154	154	154	154	154

問 19. あなたの日常的な買い物についてお伺いします？問 18 の選択項目から1つ選び、ご記入ください。

○エリア

- ・最寄品は、本市内及び近隣市で概ね用が足りていることがわかります。
- ・買回品は、本市内及び近隣市は 54.1%となっています。「千葉県外」は 19.5%となっています。

	全体		高校生		大学生等	
	最寄品	買回品	最寄品	買回品	最寄品	買回品
鴨川市内	197	60	89	31	108	29
館山市、南房総市、鋸南町	74	58	61	50	13	8
勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町	17	4	14	2	3	2
木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市	4	36	0	17	4	19
その他千葉県内	7	77	1	42	6	35
千葉県外	1	57	1	19	0	38
無回答	41	49	21	26	20	23
総数	341	341	187	187	154	154

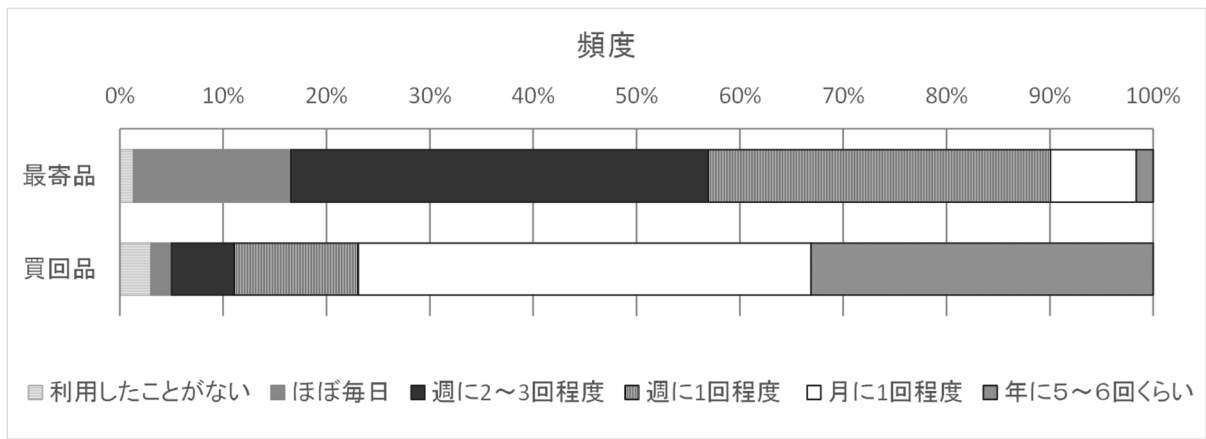


※無回答を除いてグラフを作成

○頻度

- ・最寄品は、「週に1回程度」以上買い物する人が 88.7%となっています。
- ・買回品は、「月に1回程度」買い物に行く人が 43.8%で最も多く、次いで「年に5～6回くらい」が 33.1%となっています。

	全体		高校生		大学生等	
	最寄品	買回品	最寄品	買回品	最寄品	買回品
利用したことがない	4	9	2	2	2	7
ほぼ毎日	46	6	30	3	16	3
週に2～3回程度	122	18	63	8	59	10
週に1回程度	100	36	51	17	49	19
月に1回程度	25	131	16	72	9	59
年に5～6回くらい	5	99	5	63	0	36
無回答	39	42	20	22	19	20
総数	341	341	187	187	154	154

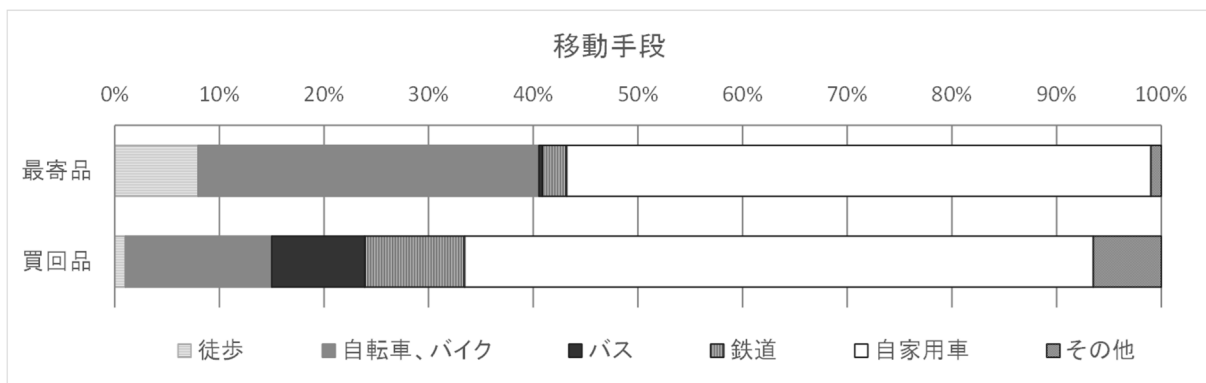


※無回答を除いてグラフを作成

○移動手段

- ・最寄品、買回品ともに、「自家用車」が6割程度を占めています。車が日常的に使われていることがわかります。

	全体		高校生		大学生等	
	最寄品	買回品	最寄品	買回品	最寄品	買回品
徒歩	24	3	11	3	13	0
自転車、バイク	98	41	31	16	67	25
バス	1	26	1	4	0	22
鉄道	7	28	5	10	2	18
自家用車	168	176	120	125	48	51
その他	3	19	0	6	3	13
無回答	40	48	19	23	21	25
総数	341	341	187	187	154	154



※無回答を除いてグラフを作成

若者が定住しやすい まちになるための「アイデア」をお聞かせください。

回答者数は少ないものの、定住するために交通手段の充実、家賃等への支援、人が集まる拠点施設の整備について、意見が挙げられています。また、地域のコミュニティが強すぎると、他所から来る人がなじみにくいとの意見が寄せられています。

「アイデア」の内容

- ・学生割引が使えるようにしたり、スクールバスが欲しい。
- ・東京までの交通の無料化
- ・交通手段を増やす。アルバイトを増やす。学生アパートの値段。
- ・まず、家賃が高いことに問題があると思う。
- ・大きなショッピングセンターは必要だと思う
- ・地元の色が強すぎて、少ししんどい気がする。学校でも呑み屋やアルバイトでも地元の人が強い立場にあるのは理解は少しできるが、度を越えているところがあり、早く鴨川を出たいと思っている。なかにはすごくいい人もたくさんいます。

IV 市民意識調査からの希望出生率の分析

結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査結果より、国の算定式に基づく鴨川市における希望出生率を算出すると以下の通り、1.73 人となる。これは国で示している希望出生率 1.83 より少なくなっている。

希望出生率 = {既婚者の希望出生率（有配偶者割合 × 希望子ども数） + 独身者の希望出生率（独身者割合 × 結婚を希望する独身者割合 × 希望子ども数）} × 離死別等影響係数（0.938）より

鴨川市民の希望出生率 = $(0.486 \times 2.25 + 0.514 \times 0.652 \times 2.25) \times 0.938 = \underline{1.73}$

【参考】国の希望出生率 = $(0.34 \times 2.07 + 0.66 \times 0.89 \times 2.12) \times 0.938 = \underline{1.83}$

◆算定データ

▼平成 22 年国勢調査より

	総数 (配偶関係)	未婚	有配偶	死別	離別	不詳
15～19 歳	1,402	1,394	7	-	-	1
15 歳	317					
16 歳	285					
17 歳	321					
18 歳	255					
19 歳	224	472	7			
20～24 歳	1,403	1,275	110	-	14	4
25～29 歳	1,641	1,100	504	2	31	4
30～34 歳	1,846	745	1,016	2	75	8
35～39 歳	2,155	705	1,313	5	128	4
40～44 歳	2,009	487	1,339	18	159	6
45～49 歳	1,824	381	1,219	24	195	5
計	11,357	5,165	5,508	51	602	32
不詳按分	11,357	5,179	5,523	51	604	-

・有配偶者割合 = 有配偶 / 総数 = 5,523 人 ÷ 11,357 人 = 0.486

・独身者割合 = (未婚 + 死別 + 離別) / 総数 = 5,834 人 ÷ 11,357 人 = 0.514

▼アンケート調査結果より

- ・希望子ども数 = 2.25 人
- ・結婚を希望する独身者割合 = 65.2%（早目に結婚したい + 時期にはとられていないがいずれ結婚したい）

■合計特殊出生率とアンケート調査結果の検証

- ・合計特殊出生率は現在、鴨川市では1.45である。一方でアンケート調査結果における現在の子ども数は1.10人となっている。
- ・合計特殊出生率とアンケート調査結果の関係で、現実的な子ども数を補正すると、次の通りとなる。

項目	アンケート結果	合計特殊出生率	比率	現状補正出生率
現在の子ども数	1.10	1.45	1.318	
現実的な子ども数	1.94		1.318	2.56

■アンケート調査を反映した目標出生率

- ・以上の希望出生率、現状補正出生率の平均をとると、2.1となる。

$$\text{目標出生率} = (\text{希望出生率} + \text{補正出生率}) / 2 = (1.73 + 2.56) / 2 = 2.14$$

1. 結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査票

**結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等
市民アンケート調査**

市民のみなさまには、平素から市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

現在、わが国では、人口減少が始まっており、今後は、さらなる人口減少が予想されています。このままでは、未来を担う子どもの数が減り、国の活力が低下してしまうおそれがあります。鞆川市においても、今後、さらに人口が減少していくと見込まれていることから、現在、人口を増やすための取り組みを検討しています。特に、子どもが増えることは、人口増加に大きな効果をもたらすため、結婚・出産・子育てや定住に関する取り組みを重点的に考えていくことが大切です。

そのため、このアンケートにより、結婚・出産・子育てや定住に関する意識を明らかにし、今後の取り組みの検討に役立てたいと考えています。

集計結果は、統計的に処理し公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。 びび、みなさまの率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の運営をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成27年7月 鞆川市

ご記入にあたってのお願い

- ご記入にあたっては、封書の宛名の方がお答えください。ただし、ご本人のご回答が難しい場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
- 回答の記入は、直接このアンケート調査票にボールペンや濃い鉛筆でしっかりとご記入願います。
- 「その他」や給添の項目では、所定の欄に数字や具体的な内容を記入してください。

回答期限・返送方法

○ご記入いただいた調査票は、**8月4日(火)**までに、**回封の返信用封筒**に入れ、ポストに投函してください(切手は不要です)。

【お問合せ先】

鞆川市 企画政策課 地域戦略係 滝口、太田
〒296-8601 千葉県鞆川市横溝 1450
Tel. 04-7093-7828 fax 04-7093-7851

あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1. あなたご自身のことについて、お答えください。該当する番号に○印をつけてください。

性別	1. 男性 2. 女性
年齢	1. (歳) ※直族、年齢をご記入ください 2. 千葉県内 (市区町村) 3. 千葉県外 (都道府県)
出身地	鞆川地区 (1. 田原地区 2. 西条地区 3. 東条地区 4. 鞆川地区) 江島地区 (5. 江島地区 6. 太海地区 7. 曾呂地区) 長狭地区 (8. 大山地区 9. 吉尾地区 10. 基基地区) 天津小湊地区 (11. 天津地区 12. 小湊地区)
住まいの地区	1. 持ち家 (一戸建て) 2. 持ち家 (分譲マンション) 3. 借家 (一戸建て) 4. 民間賃貸住宅 (アパート、賃貸マンション) 5. 公的賃貸住宅 (県営住宅、市営住宅等) 6. 会社の寮や社宅 7. その他 ()
居住形態	1. 正社員、正社員の職員 2. 無職、専業主婦 3. 学生 4. 自営業主、家族従業者 5. 派遣・嘱託・契約社員 6. パート・アルバイト
就業状態	1. 農林水産業 2. 会社員、会社役員 3. 公務員、団体職員 4. 自営業(商店・工場・家族従業者含む) 5. 専門職(医師・弁護士・税理士等) 6. 自由業(作家・芸術家等) 7. パート・アルバイト 8. 家事(主婦・主夫) 9. 学生 10. 無職 11. その他 ()
職種	1. 農林水産業 2. 会社員、会社役員 3. 公務員、団体職員 4. 自営業(商店・工場・家族従業者含む) 5. 専門職(医師・弁護士・税理士等) 6. 自由業(作家・芸術家等) 7. パート・アルバイト 8. 家事(主婦・主夫) 9. 学生 10. 無職 11. その他 ()
通勤・通学先	1. 鞆川市内 2. 千葉県内 (市区町村) 3. 千葉県外 (都道府県)
ご家族の構成は	1. ひとり暮らし世帯 2. 一世代世帯(夫婦のみ) 3. 二世帯世帯(親・子) 4. 三世帯世帯(親・子・孫) 5. 四世代世帯(親・子・孫・曾孫) 6. その他()

結婚についてお尋ねします。

問2. あなたは「結婚」していますか？【1つに○】

1. 未婚 2. 以前、結婚していた 3. 既婚又は近々結婚の予定がある
- 問3. 問4、問5、問6、問7、問8の質問にお答えください
- 問7. 問8の質問にお答えください

問3～問6は、問2で「1.未婚」、「2.以前、結婚していた」と回答した方にお尋ねします。

問3. 現在、交際されている方はいらっしゃいますか？【1つに○】

1. いる。 2. いない

問4. 「結婚」についてのあなたのお気持ちをお聞かせください。【1つに○】

1. 早めに結婚したい 問5へ
2. 時期にはとらわれないがいずれ結婚したい 問6へ
3. 結婚したいができない 問6へ
4. 結婚したくない

問5. 問4で、「1. 早めに結婚したい」、「2. 時期にはとらわれないがいずれ結婚したい」と回答した方にお尋ねします。何歳ぐらいで結婚したいですか？その年齢をお書きください。

【希望する結婚年齢】

歳ぐらいで結婚したい

問6. 問4で、「3. 結婚したいができない」、「4. 結婚したくない」と回答した方にお尋ねします。その理由は何ですか？【主なものを3つまでに○】

1. 理想の相手にまだめぐり会わない 2. 職場や周囲に未婚の異性がない
3. 自分や相手にまだ惹きあわない 4. 異性にめぐり会う機会（場）がない
5. 安定した仕事についていない 6. 金銭的な余裕がない
7. 仕事が多く、時間（休み）がとれない 8. やりたいことや打ち込みたいことがある
9. 結婚生活に希望を見出せない 10. 必要性を感じない
11. 仕事（学業）に専念したい 12. 異性とうまくつきあえない
13. 自由や気楽さを失いたくない 14. 親の介護などにより、結婚する状況にない
15. その他（ ）

問7～問8は、問2で「3. 既婚又は近々結婚の予定がある」と回答した方にお尋ねします。

問7. 今のパートナーはどこで知り合いましたか？【1つに○】

1. 職場や仕事で 2. 幼なじみ・隣人 3. サークル・クラブ・習い事で
4. 学校で 5. 身合い結婚 6. 友人や兄弟姉妹を通じて
7. アルバイト先で 8. 断先や街なかで 9. インターネットを通じて
10. 結婚相談所などの結婚情報サービス 11. その他（ ）

問8. 今のパートナーと結婚を決めたきっかけは何ですか？【主なものを3つまでに○】

1. 友人の影響 2. 転勤など転居することになったから
3. 両親などが雰囲気になり安心させたから 4. そろそろ結婚する年齢だと感じたから
5. 一人でいることに不安があったから 6. 経済力がついたらから
7. 仕事で挫折して落ち込んでいたから 8. 子どもが欲しかったから
9. 相手が結婚を望んでいたから 10. 理想と照えるパートナーだったから
11. 結婚しないほうが不自然だと思ったから 12. ずっと独身はいやだと思ったから
13. 理由は特にない 14. その他（ ）

出産・子育てについてお尋ねします。

問9は、すべての方にお尋ねします。

問9. 理想とする子どもの数は何人ですか？【1つに○】

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上 6. いなくてもいい

問10. の質問にお答えください

問10. 子どもを欲しいと思う理由は何か？【主なものを3つまでに○】

1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから
2. 子どもを持つと周囲から認められるから
3. 子どもがいると生活が楽しく豊かになるから
4. 子どもは老後の支えとなるから
5. 子どもは社会の支えとなるから
6. 子どもは夫婦関係を安定させるから
7. 好きな人の子どもを持ちたいから
8. パートナーや親が望むから
9. 子どもが好きだから
10. その他（ ）

問11. いなくてもいいと思う理由は何ですか？【主なものを3つまでに○】

1. 子どもが嫌いだから
2. 子育てが大変だから
3. 子どもを育てるのは大変だから
4. 経済的に大変だから
5. 子育てに自信がないから
6. 夫婦だけの生活を大切にしたいから
7. 仕事と子育ての両立が難しいから
8. 子どもを取り巻く社会環境がよくないから
9. 将来が不安だから
10. その他（ ）

2. 高校生、専門学校生及び大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査票

高校生、専門学校生及び大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査の協力をお願い

学生・生徒の皆様には、将来への希望を胸に日々、学業に励んでいることと拝察いたします。また、この鴨川市を修学の地に選んでいただいたことに、感謝を申し上げます。さて、現在、わが国では人口減少がはじまっており、今後は、今以上に人口が減少していくことが予想されています。このままでは、未来を担う子どもたちの数が減り、国の活力が低下してしまつておそれがあります。

鴨川市においても人口減少が見込まれており、今後は、若者の定住対策等、人口を増やすための取り組みを重点的に考えていくことが大切です。そのため、このアンケートにより、卒業後の進路や就職に関する皆様のお考えなどを把握し、今後の取り組みの検討に役立てたいと考えています。

集計結果は、統計的に処理し公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。ぜひ、みなさまの率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成27年7月 鴨川市

ご記入にあたってのお願い

- 回答の記入は、直接このアンケート調査票にボールペンや濃い鉛筆でしっかりとご記入願います。
- 「その他」や記述の項目では、所定の欄に数字や具体的な内容を記入してください。

回答期限・送付方法

○ご記入いただいた調査票は、先生に渡してください。

【お問合せ先】

鴨川市 企画政策課 地域戦略係 濱口、大田
〒296-8601 千葉県鴨川市横濱 1450
Tel. 04-7093-7828 fax 04-7093-7851

あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1. あなたご自身のことについて、お答えください。該当する番号に○印をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. (歳) ※直接、年齢をご記入ください	
出身地	1. 鴨川市内 (市区町村)	2. 千葉県内 (市区町村)
	3. 千葉県外 (市区町村)	都道府県
お住まいの地区	1. 鴨川市内 (1. 田原地区 2. 西条地区 3. 東条地区 4. 鴨川地区)	
	(5. 江島地区 6. 本海地区 7. 曾呂地区)	
	(8. 大山地区 9. 吉尾地区 10. 主基地区)	
	(11. 天津小湊地区 12. 小湊地区)	
	2. 千葉県内 (市区町村)	都道府県
	3. 千葉県外 (市区町村)	都道府県

問2. 今の学校は、下記のいずれに該当しますか？【1つに○】

1. 千葉県立厚狭高等学校
2. 文理開成高等学校
3. 龜田医療技術専門学校
4. 龜田医療大学
5. 城西国際大学 (安房キャンパス)

問3. 今、何年生ですか？【1つに○】

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生
5. その他 ()

卒業後の居住地についてお尋ねします。

問4. 卒業後の希望する居住地についてお尋ねします。【1つに○】

1. 鴨川市内 (市区町村)
2. 千葉県内 (市区町村)
3. 千葉県外 (市区町村)

問5. 問4の希望する居住地に「鴨川市内」と回答しなかつた方にお尋ねします

問5. 鴨川市を選ばなかつた理由を次の理由の中から選んでください。【あてはまるものすべてに○】

1. 就職・進学したい企業や学校が市内にないから
2. 親元を離れて暮らしたいから
3. 楽しめる場所や施設が少ないから
4. まちの魅力がないから
5. ほかの地域を知ってみたいから
6. 他地域のほうが生活するのに便利だから
7. どのような企業や学校が市内にあるか知らないから
8. たまたま、とくに理由は無い
9. その他 ()

【その理由をお書きください】

卒業後の進路についてお尋ねします。

問6. 卒業後の進路希望は何ですか？【1つに○】

1. 就職	⇒問 7へ
2. 創業・起業	⇒問 11へ
3. 大学への進学	
4. 海外留学	
5. 大学院への進学	⇒問 13へ
6. 専門学校等への進学	
7. 家業を継ぐ(家族従業員)	
8. 結婚(専業主婦・主夫)	
9. その他()	⇒問 16へ

問7～問10は、問6で「1. 就職」と回答した方にお尋ねします。

問7. あなたが就職を希望する業種は何ですか？【回答欄に第3希望まで番号を記入】

回答欄	第1希望	第2希望	第3希望
1. 農林水産業	2. 鉱業、採石業、砂利採取業		
3. 建設業	4. 製造業		
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	6. 情報通信業 (IT関連)		
7. 運輸業、郵便業	8. 卸売業、小売業		
9. 金融業、保険業	10. 不動産業、物品賃貸業 (レジャーなど)		
11. 学術研究、専門・技術サービス業	12. 宿泊業、飲食サービス業		
13. 生活関連サービス業(理容、美容など)、娯楽業	14. 教育、学習支援業 (幼保連携等)		
15. 医療、福祉 (保育施設等)	16. 複合サービス業 (郵便局、農協など)		
17. 公務	18. その他()		

問8. 就職先を選ぶ際に、優先する条件は何ですか？【回答欄に第3希望まで番号を記入】

回答欄	第1希望	第2希望	第3希望
1. やりがいがある			
3. 人間関係が良い			
5. 経営状態が安定している			
7. 福利厚生が充実している			
9. 自分のペースや考え方で働ける			
10. その他()			
【その他ご意見を書きください】			

問9. 就職を希望する地域はどこですか？【第3希望までご記入ください】

1. 第1希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
2. 第2希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
3. 第3希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
4. どこでもよい		
5. 決めていない		

問10は、問9の希望する地域に「鶴川市」と回答しなかった方にお尋ねします。

問10. 市内であなただけ希望している仕事ができるようになった場合、市内に住みたいと思いますか？
【1つに○】

1. 生みたい	2. 住みたくない
【その理由を書きください】	

問11～問12は、問6で「2. 創業・起業」と回答した方にお尋ねします。

問11. 創業・起業は、どこで、どのような業種をお考えになっていますか？
希望地域・業種と、それを選んだ理由をお書きください。

希望地域	()	都 道 府 県	市 区 町 村
業種			
地域・業種を選んだ理由			

問12. 創業・起業を進める上で、どんな支援があればよいと思いますか？

【支援の内容をお書きください】(例えば、起業セミナーの開催、空き店舗の提供など・・・)

問 13～問 15 は、問6で「3. 大学への進学、4. 海外留学、5. 大学院への進学、6. 専門学校等への進学」と回答した方にお尋ねします。

問 13. 進学を希望する地域、進学先卒業後の就職希望地はどこですか？
【第3希望までご記入ください】

進学を希望する地域	都 道 府 県	市 区 町 村
1. 第1希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
2. 第2希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
3. 第3希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
4. どこでもよい		
5. 決めていない		
進学先卒業後の就職希望地		
1. 第1希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
2. 第2希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
3. 第3希望：()	都 道 府 県	市 区 町 村
4. どこでもよい		
5. 決めていない		

問 14. 進学先卒業後の就職先を選ぶ際に、優先する条件は何ですか？【回答欄に第3希望まで番号を記入】

回答欄	第1希望	第2希望	第3希望
1. やりがいがある			
2. 収入が高い			
3. 人間関係が良い			
4. 自分の能力が活かせる			
5. 経営状態が安定している			
6. 残業が少ない			
7. 福利厚生が充実している			
8. 立地が良い			
9. 自分のペースや考え方で働ける			
10. その他 ()			
【その他ご意見をお書きください】			

問 15 は、問 13 の「進学先卒業後の就職希望地」に「鶴川市」と回答しなかった方にお尋ねします

問 15. 市内でああなたが希望している仕事ができなくなった場合、市内に住みたいと思えますか？
【1つに○】

1. 住みたい	2. 住みたくない
【その理由をお書きください】	

今後の住まい方についてお尋ねします。

問 16～問 17 は、すべての方にお尋ねします。

問 16. 鶴川市に住みたいと感じますか？【1つに○】
また、その理由もお書きください。

1. 大変住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい	5. 大変住みにくい	
【理由】		

問 17. 鶴川市に住みたくなるために、あるいは、ずっと住み続けたいするために、効果的な支援はどれだと思いますか？【あてはまるものすべてに○】

1. 家を借りる際の家賃補助（期間限定）	4. 住宅をリフォームする際の補助
2. 高齢者や障がい者の方が入居しやすい住宅の普及	5. 空き家を購入する際の補助
3. 固定資産税の減免（期間限定）	6. 子どもの医療費補助
7. 親族の近くに住むことや同居に対する支援	8. 出産祝い金
9. 起業支援・助成	10. 保育費支援
11. 学校授業料支援	12. 子育て世代向け公的賃貸住宅の供給
13. 新築就業者への助成金	14. 転入奨励金
15. その他 ()	

